B1WY-4321-03

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-2110 ページプリンタ

取扱説明書

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書はお読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。
富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
ESC/Pは、セイコーエプソン㈱の登録商標です。
VP-1000/3000は、セイコーエプソン㈱の商標です。
PC-98シリーズ、PC-9821シリーズは、日本電気㈱の商標です。
IBM PC/AT互換機は、米国International Buisiness Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

● VCCI適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

●電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

●国際エネルギースタープログラムについて

この装置は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合しております。
国際エネルギースタープログラムはコンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。
対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

●本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタ XL-2110 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

2001 年 4 月

本文中の略語について

Microsoft ® Windows ® Millennium Edition は、本文中ではWindows Me と表記しています。
Microsoft ® Windows ® 98 は、本文中では Windows 98 と表記しています。
Microsoft ® Windows ® 95 は、本文中では Windows 95 と表記しています。
Microsoft ® Windows ® Version 3.1 は、本文中では Windows 3.1 と表記しています。
Microsoft ® Windows ® 2000 Professional および Microsoft ® Windows ® 2000 Server は、本文中では Windows 2000 と表記しています。
Microsoft ® Windows NT ® Workstation Version 4.0 および Microsoft ® Windows NT ® Server Version 4.0 は、本文中では Windows NT4.0 と表記しています。

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項があることを告げるものです。 記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。 記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。 記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

◆プリンタ設置および移動時のご注意

プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。
感電・火災・故障の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。
感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグは、交流 100V、15A 専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。本定格電源は 100V、6A となっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。
火災の原因となります。

延長コードは、定格 (125V、15A)未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。
異常な発熱や火災の原因となります。

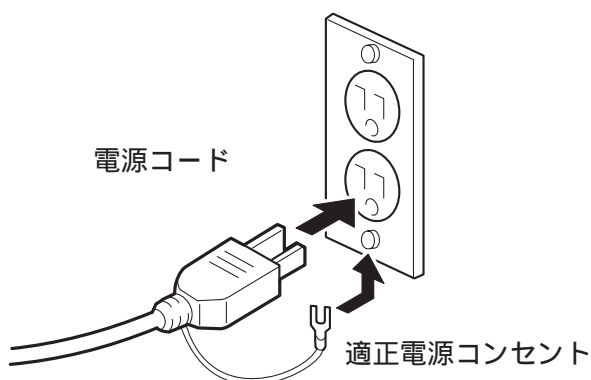
次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

梱包に使用しているビニール袋はお子さまが口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
窒息の原因となります。

風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。
感電・火災の原因となります。

電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。アース接続できない場合は、「ハードウェア修理相談センター」（172ページ）にご連絡ください。

・電源コンセントのアース線
・銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
・接地工事（第３種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。

プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け／取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
火災や感電または故障の原因となります。

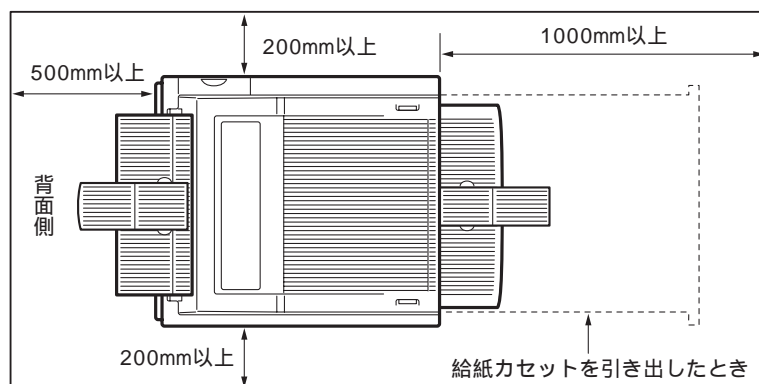
近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。
入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

⚠ 注 意

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。
高温によりカバーなどが加熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災・故障の原因となることがあります。

プリンタの背面には通風口があります。プリンタは壁から500mm以上離して設置してください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

プリンタに空調などの風が直接当たらない場所に設置してください。
風が当たると、プリンタ内部の空気の流れが変わり、火災・故障の原因となることがあります。

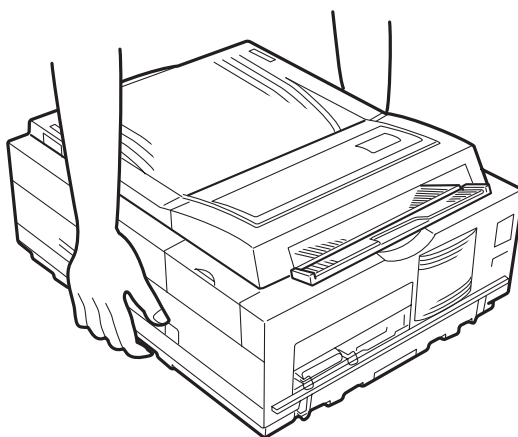
プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、設置時は、プリンタの足全体が乗る大きさの平らな場所に置いてください。
スペースが確保されないと、熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタは、重さ約21kg（フルオプション、消耗品と用紙を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。
プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

⚠ 注意

プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。
プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約9.5kgあります。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタの正面を体の方に向け、底面に手を入れてしっかりと持ってください。
落下によりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。
作業は足元に十分注意して行ってください。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

◆プリンタ使用時のご注意

⚠ 警告

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。
重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用しますと、火災・感電の原因となります。修理は、「ハードウェア修理相談センター」（172 ページ）にご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。
故障の修理は、「ハードウェア修理相談センター」（172 ページ）にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。
火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

警告

ネジで固定されているカバーやパネルなどは、絶対に開けないでください。内部の点検、修理は「ハードウェア修理相談センター」（172 ページ）にご連絡ください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したコネクタカバー等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が消えるのを確認して、「ハードウェア修理相談センター」（172 ページ）に修理をご依頼ください。お客さま自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「ハードウェア修理相談センター」（172 ページ）にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「ハードウェア修理相談センター」（172 ページ）にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。
プラグが変形し、火災の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。
プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。
紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、「ハードウェア修理相談センター」（172 ページ）にご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。
けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。
けがの原因となることがあります。

⚠ 注 意

１カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。
・電源プラグが電源コンセントにしっかり差しこまれていますか。
・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありませんか。
・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
・電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。
・アース線は取り付けられていますか。
なお、異常がある場合は、「ハードウェア修理相談センター」(172 ページ)までご連絡ください。

長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、感電の原因となることがあります。

用紙排出部のローラーが作動しているとき作動部には触れないでください。
指をはさみけがをする原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合には、定着器周辺は、電源スイッチを切ってから１時間は手を触れないでください。
高温になっているため、やけどの原因となることがあります。

◆プロセスカートリッジ／トナーカートリッジの取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジやトナーカートリッジを火中に投入しないでください。
火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みのプロセスカートリッジやトナーカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

トナーは目や口に入らないように注意してください。
プロセスカートリッジやトナーカートリッジの交換時などに、トナーが手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

プロセスカートリッジやトナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

プロセスカートリッジ・トナーカートリッジは純正品を使用してください。
純正品以外のプロセスカートリッジまたはトナーカートリッジを使用すると、感光ドラムやプリンタ本体に障害が発生することがあります。

本書の構成

本書では、本プリンタをお使いになる前の準備、日常の操作のしかた、日常の保守のしかた、設定値の変えかた、点検のしかたや診断機能、および用紙などについて説明します。

本書の構成は、次のとおりです。

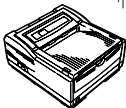
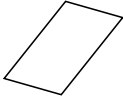
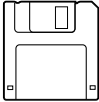
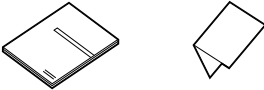
目　次	内　容
第１章 お使いになる前に	構成品の内容、本プリンタの特長、各部の名称と機能、オペレータパネルの機能、オプション品およびサプライ品について説明します。
第２章 用紙について	本プリンタで使用する用紙について、使用できる用紙サイズ、使用できる用紙、使用できない用紙、用紙保管上の注意について説明します。
第３章 プリンタの設置	本プリンタの設置条件および設置のしかた、トナーカートリッジの取り付けかた、用紙のセットのしかた、用紙排出面の切り替えかた、電源コードの接続方法、電源の投入および切断のしかた、メニュー設定一覧の印刷方法などについて説明します。
第４章 パソコンからの印刷	パソコンとの接続方法と、プリンタドライバ（Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 3.1 、Windows 2000およびWindows NT4.0）のインストールのしかたと印刷のしかた、および ESC/Pモードからの印刷のしかたについて説明します。
第５章 日常のメンテナンス	用紙の補給、トナーカートリッジおよびプロセスカートリッジの交換、プリンタの清掃のしかたなどについて説明します。
第６章 設定値を変える	本プリンタがもっているいろいろな設定機能の変更のしかたを説明します。
第７章 こんなときには	アラームが表示されたとき、紙づまりになったとき、印刷品質が低下したとき、用紙に異常がでたとき、故障かと思われるときなどの対処のしかた、およびＨＥＸダンプ印刷のしかたについて説明します。
第８章 オプションの取り付け	オプション（拡張給紙ユニットおよび給紙トレイ）の取り付けかたについて説明します。
付　録	プリンタの仕様、ESC/Pコマンド一覧、ESC/Pキャラクタコード一覧、JIS第一／第二水準漢字表、アプリケーションソフトおよびアフターサービスについて記載します。

目　次

第1章　お使いになる前に

この章では、製品の確認、本プリンタのオペレータパネルや各部の名称と機能、オプション品およびサプライ品の紹介などについて説明します。

製品の確認

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。
梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。

お願い

本プリンタには、パソコン本体とのプリンタ接続ケーブルは添付されていません。パソコン本体のケーブルか、別売りのプリンタ接続ケーブルをお使いください。「プリンタケーブル」（８ページ）

●梱包されている製品

本プリンタには次のものが梱包されています。
プリンタ本体には、プロセスカートリッジと標準給紙カセットが既にセットされています。

お願い

- 梱包箱や緩衝材は捨てずに保管し、プリンタを輸送するときにご利用ください。
- 輸送の際は、トナーカートリッジを付けたままプロセスカートリッジをポリエチレン袋（黒）に入れ、プリンタ本体にセットした状態で輸送してください。この処理をせずにプリンタを輸送すると、プロセスカートリッジからトナーがこぼれ、プリンタ内部を汚すおそれがあります。

本プリンタの特長

本プリンタの主な特長は、以下のとおりです。

◆ 12枚／分（Ａ４）、1200dpi（垂直方向）の高品位印刷

オフィスでもっとも需要の高いＡ４サイズを最大12枚／分の快適スピードで印刷します。しかも解像度は600×1200dpi相当で高品位出力を実現。文字も図形も美しく鮮明です。（ESC/Pモードでの解像度は最高600dpiです。）

◆ Windows Me/98/95/3.1日本語版およびWindows NT4.0/2000日本語版に対応

Windowsプリンタドライバを標準添付。Windows搭載のパソコンに幅広く対応し、WYSIWYG*を実現。

◆ ESC/Pモードでドットプリンタをエミュレート

ドットプリンタをエミュレートするESC/Pモードを標準装備。今までのソフト資産をムダにしません。しかも、明朝体とゴシック体の２種類の漢字フォントを内蔵しています。

◆多彩な給紙機能

世界最小クラスの大きさながら、用紙カセットによる250枚の連続給紙を標準サポート。しかも、用紙カセットはＡ４～Ａ６まで幅広い用紙サイズに対応するユニバーサルカセット方式を採用しています。さらに、オプションの給紙機構を取り付けると次のような多彩な給紙機能を提供します。

- 500枚の連続給紙が可能な拡張給紙ユニット
- はがき・ＯＨＰシートなど特殊紙を連続給紙する給紙トレイ

◆小型・軽量、省電力、オゾンフリー

12枚／分（Ａ４）クラスでは最小の省スペース設計、デスクの上にゆとりをもって置けるコンパクトさです。また、待機時の電力消費を抑える節電モードやオゾンフリープロセスなど使う人に優しい設計です。

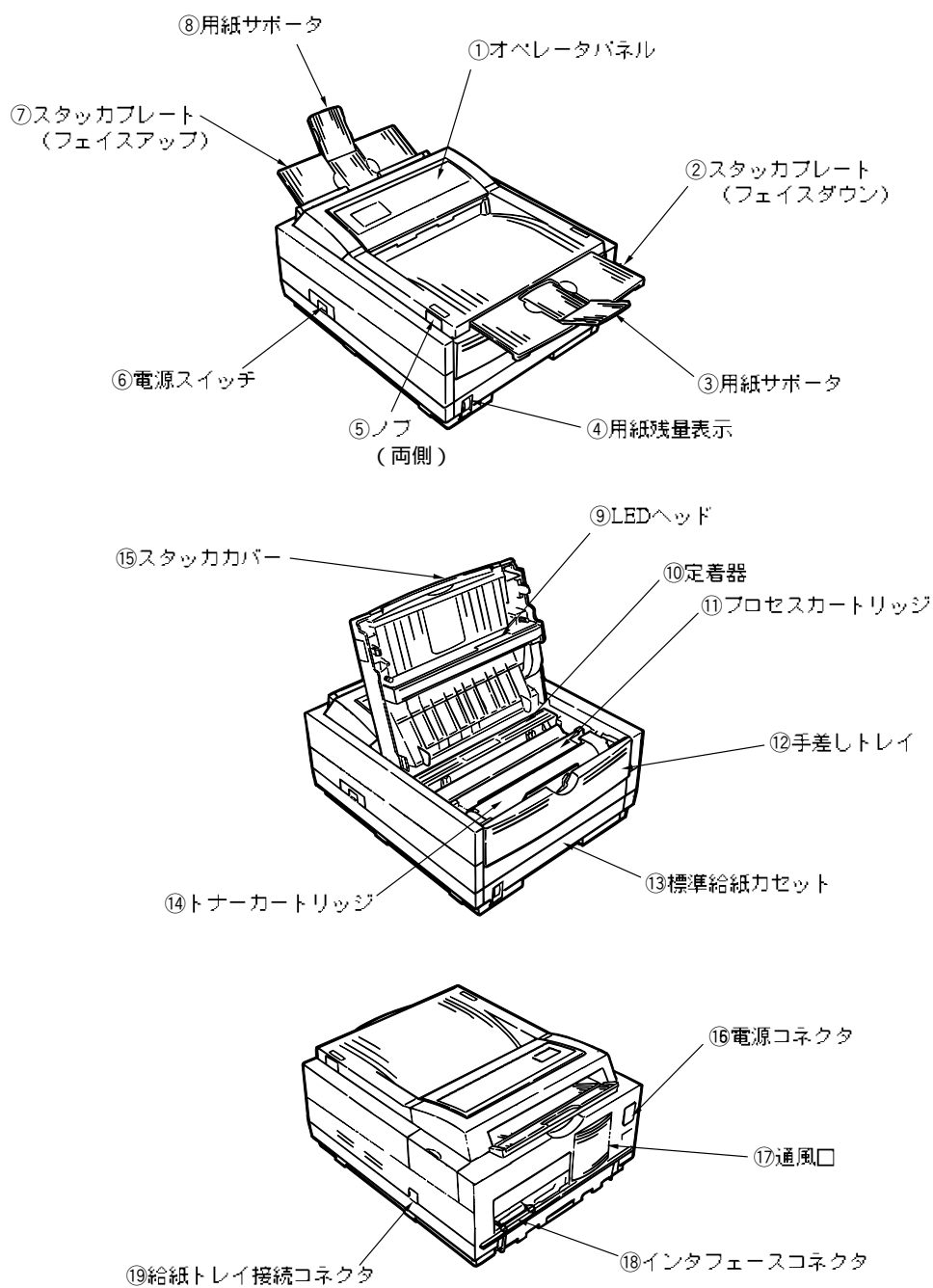
◆自動解像度調整機能

プリンタ標準搭載のメモリで印刷できない複雑なデータでも、オートマティックフォールダウン機能により自動的にプリンタの解像度を調整して印刷します。

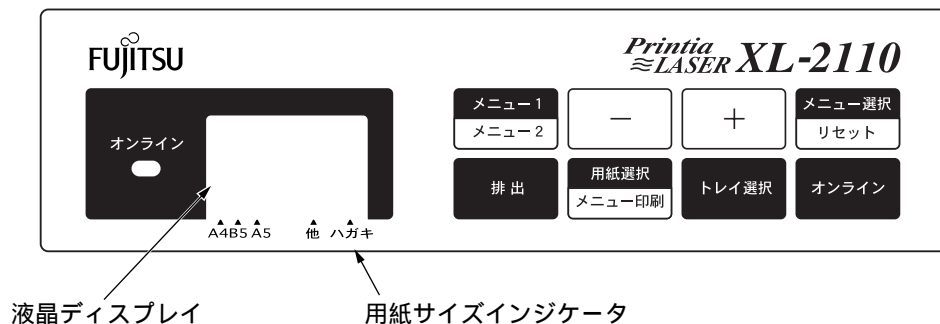
* WYSIWYG ……What You See Is What You Getの略。パソコンの画面上で作成した通りの印刷出力を手にすることができるというデスクトップパブリッシングの基本要素。

各部の名称と機能

本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

◆各部の名称

◆各部の機能

番号	各部の名称	おもな機能
①	オペレータパネル	本プリンタを操作するのに必要な、ランプやスイッチがあります。
②	スタッカプレート（フェイスダウン）	排出された用紙を受けます。印刷面を下にして排紙させるときに使用します。
③	用紙サポータ	
④	用紙残量表示	トレイ内の用紙の量を表示します。
⑤	ノブ（両側）	スタッカカバーを開けるためのノブです。
⑥	電源スイッチ	電源の投入、切断を行います。
⑦	スタッカプレート（フェイスアップ）	排出された用紙を受けます。用紙の印刷面を上にして排出させるときや、はがきなどの厚紙を使うときに使用します。
⑧	用紙サポータ	
⑨	ＬＥＤヘッド	感光ドラムに印刷する文字を書き込みます。
⑩	定着器	トナーを熱で用紙に定着させます。
⑪	プロセスカートリッジ	感光ドラムに書き込まれた文字にトナーを付着させます。プロセスカートリッジは消耗品です。
⑫	手差しトレイ	手差し印刷をするときに、用紙を差し込みます。
⑬	標準給紙カセット	印刷する用紙をセットします。
⑭	トナーカートリッジ	印刷に必要なトナーが入っています。 中のトナーがなくなったら、トナーカートリッジを交換します。トナーカートリッジは消耗品です。
⑮	スタッカカバー	プリンタ内を保護しています。また、印刷面を下にして排出された用紙を受けます。
⑯	電源コネクタ	電源コードを接続するためのコネクタです。
⑰	通風口	プリンタ内を冷却するための通風口です。
⑱	インタフェースコネクタ	パソコンを接続するためのコネクタです。
⑲	給紙トレイ接続コネクタ	オプション品の給紙トレイを接続するためのコネクタです。

オペレータパネルの機能

●オンラインランプ（緑）
点灯：データが受信できる状態です。
点滅：受信したデータの処理をしています。またエラーが発生したときも点滅します。
消灯：オフライン状態です。プリンタの設定を変更できます。

●用紙サイズインジケータ
液晶ディスプレイ下段のアンダラインの位置が、現在プリンタに設定されている用紙サイズになります。

●液晶ディスプレイ
プリンタの状態や障害が発生したときの内容を表示します。１行８文字で２行に表示されます。

●メニュー１／メニュー２
プリンタをメニューモードにします。オフラインのときスイッチを短く押すとレベル１メニューモードになります。２秒以上押すとレベル２メニューモードになります。

●−
メニューモードで設定内容を逆順に表示します。

●＋
メニューモードで設定内容を正順に表示します。

●メニュー選択／リセット
メニューモードで短く押すと液晶ディスプレイに表示されている内容を選択します。オフラインのとき２秒以上押すとプリンタ内部に残っているデータを消去します。また復旧可能なエラー状態を解除します。

●排出

オフラインのときプリンタ内部に残っているデータを強制的に印刷します。手差し用紙を排出します。手差し要求時に押すと標準カセットから印刷します。

●用紙選択／メニュー印刷

オフラインのとき短く押すと用紙サイズを設定するモードに入ります。オフラインのとき２秒以上押すとメニューの内容を印刷します。

●トレイ選択

オフラインのとき給紙するトレイを設定するモードに入ります。

●オンライン

オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。

●ガイド●

プリンタ内に未印刷データがあるときは、リセットを行うまで設定内容の変更は反映されません。

オプション品

本プリンタでは、以下のオプション品を用意しています。これらの品物については、本プリンタの購入元、または「富士通パーソナル製品に関するお問い合せ窓口」へご相談のうえ、必要に応じてお買い求めください。

●給紙装置

品　　名	型　　名	備　　考
拡張給紙ユニット	XL-EF50J1	給紙カセット（500枚）増設用 拡張給紙カセット１個添付
給紙トレイ	FMLBP102FT	手差し口の自動給紙用

- 拡張給紙ユニット
  下段の給紙カセットとして増設し、上段と下段から給紙できるようにするためのオプション品です。上段と下段には、異なるサイズの用紙でも、同じサイズの用紙でもセットすることができます。（「使用できる用紙サイズ」（12ページ）参照）
- 給紙トレイ
  はがき、ＯＨＰシートなどの特殊紙を自動で給紙できるようにするためのオプション品です。（「使用できる用紙サイズ」（12ページ）参照）

●プリンタケーブル

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

お願い

- 完全にシールドされたIEEE std1284-1994適合の双方向パラレルプリンタケーブルを使用してください。
- ケーブルの長さは1.5メートル以下のものをお使いください。

なお、本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。別売りケーブルは以下のものが用意されています。

ご使用のパソコン		プリンタケーブル
富士通	FMVシリーズ	FMV-CBL712
	GRAN POWER 5000シリーズ	FMS-CBL711
	FMRシリーズ　ディスクトップタイプ	FM60-711
	FMRシリーズ　CARDタイプ	FM50N711G
	FMRシリーズ　ノートブックタイプ	FM50N713G
	FMR TOWNS　シリーズ	FM60-711
NEC	PC-9821シリーズ	XL-CBL981（*1） （36ﾋﾟﾝﾊｰﾌﾋﾟｯﾁｺﾈｸﾀ）
その他	各社AT互換機パソコン	FMV-CBL712

（*1）36ピンハーフピッチ以外のコネクタを持つPC-98シリーズは、NEC製の専用ケーブルをご使用ください。

●プリンタ LAN アダプタ

品　　名	型　　名	内　　容
プリンタLANアダプタ	FM-LNA100/ FM-LNA110	100BASE-TX/10BASE-Tに対応したLANアダプタです。 Netware3.1XJ/4.1 Windows Me/98/95 Windows 2000 Windows NT4.0に対応します。

●プリンタ USB ケーブル

品　　名	型　　名	内　　容
プリンタUSBケーブル	FMV-CBL721	本プリンタをパソコンのUSBインタフェースに接続して使用するためのケーブルです。USBからパラレルインタフェースへの変換を行います。 USBに対応し、Windows Me、Windows 98またはWindows 95 OSR2.5以降を搭載したパソコンに接続可能です。

サプライ用品

サプライ用品として、本プリンタに適した様々な用紙と、トナーカートリッジ、プロセスカートリッジを用意しています。これらの品物については、本プリンタの購入元、または富士通コワーコ（174 ページ）へご相談ください。
本プリンタでは PPC 用紙および普通紙を使用できますが、一般の市販品には本プリンタに適さないものもあります。より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

商品名		商品番号	寿命	備考	
推奨用紙	オフィス用紙W　Ａ４	0411610	──	500枚×５冊／１ケース	
	オフィス用紙W　Ａ５	0411630	──		
	オフィス用紙W　Ｂ５	0411640	──		
	オフィス用紙W　レター	0411660	──		
	再生オフィス用紙　Ａ４	0414312	──		
	再生オフィス用紙　Ｂ５	0414342	──		
トナーカートリッジLB105		0876110	約 2,000枚	有効期限：１年	注１
プロセスカートリッジLB105		0876410	約20,000枚	有効期限：１年	注２
LB105 給紙カセット (250枚)		0876310	──	本体添付と同一	
LB105 給紙カセット (500枚)		0876320	──	拡張給紙ユニット添付と同一	

注１　トナーカートリッジの寿命は、Ａ４用紙で有効画像面積比率５％以下のときの値です。ただし、新しいプロセスカートリッジに最初にセットしたときは、寿命は約 1,000 枚程度になることがあります。

注２　プロセスカートリッジの寿命はＡ４用紙を 12 枚／分のスピードで連続印字したときの値です。ただし、１枚印字等の間欠印字を行ったときは、約 10,000 枚程度になることがあります。

●使用済みトナーカートリッジおよびプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みトナーカートリッジおよびプロセスカートリッジを無償で回収しております。
下記の『エコ受付センター』までご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』
フリーダイヤル：0120-30-0693
平日　8:40 〜 12:00 および 13:00 〜 17:30
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

第２章　用紙について

この章では、本プリンタで使用できる用紙／使用できない用紙、および用紙保管上の注意について説明します。

◆使用できる用紙サイズ

本プリンタは、標準給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）、給紙トレイ（オプション）、手差しトレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。

○：使用できる　　×：使用できない

用紙の種類		寸　法	用紙の厚さ	トレイ１ (標準カセット)	トレイ２ (拡張給紙ユニット)	ＭＰＦ (給紙トレイ)	テサシ (手差し)
普通紙	Ａ４	210×297(mm)	連量 55～75kg (64～87g/m²)	○	○	○	○
	Ａ５	148×210(mm)		○	○	○	○
	Ａ６	105×148(mm)		○	×	○	○
	Ｂ５	182×257(mm)		○	○	○	○
	フリー	フリーサイズ		○	○	○	○
	レター (LETTER)	215.9×279.4(mm) (8.5×11インチ)		○	○	○	○
	エグゼクティブ (EXECUTIVE)	184.15×266.7(mm) (7.25×10.5インチ)		○	○	○	○
はがき	はがき	100×148(mm)	官製はがき 163kg (190g/m²)	×	×	○	○
	往復はがき	148×200(mm)		×	×	○	○
厚　紙		—	連量 75～90kg (87～105g/m²)	×	×	○	○

フリーサイズの寸法：トレイ２以外……長辺148～297mm、短辺90～215.9mm*1
：トレイ２…………長辺210～297mm、短辺148～215.9mm*1
*1：プリンタのメニュー設定（ESC/Pモード）では短辺は最大216mmです。

●ガイド●

- 給紙トレイ（オプション）をプリンタドライバやプリンタのメニュー設定ではMPF（マルチパーパスフィーダ）と表示します。
- OHPシートとラベル紙は、MPFとテサシで使用できます。

◆使用できる用紙

●普通紙

本プリンタでは、ＰＰＣ用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本プリンタに適さないものもありますので、できるだけサプライ用品をご使用ください。サプライ用品の詳細は、「サプライ用品」(10 ページ）を参照してください。

用紙の重量は、64 〜 87g/m^2 のものをお使いください。

お願い

- 用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。市販のものの中には、本プリンタに適さないものがあります。
- Ａ５より小さい用紙は、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上に向けて排紙する」（40 ページ）参照）

●特殊紙

本プリンタでは、以下の用紙が使用できます。印刷品質は、普通紙より劣ることがあります。

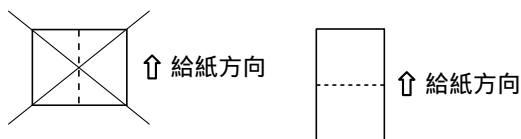
お願い

用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。市販のものの中には、本プリンタに適さないものがあります。

●はがき

官製はがきをご使用ください。
往復はがきの場合は、官製の往復はがきで折り目のないものをご使用ください。

お願い

- 給紙カセットからは給紙できません。手差しまたは給紙トレイ（オプション）をお使いください。また、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上に向けて排紙する」（40 ページ）参照）
- 用紙サイズの設定は「はがき」「往復はがき」のいずれかでお使いください。他の用紙サイズを設定すると、印刷品位が著しく低下することがあります。
- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- はがきは反りがないものをご使用ください。 2 mm 以上の反りがあるときは、反りを修正してからセットしてください。
- 切手の貼ってあるはがきは、使用できません。
- Windows でご使用の場合は、プリンタドライバの用紙厚の設定を「より厚い紙」にしてお使いください。
- ESC/P でご使用の場合は、プリンタのレベル１メニュー設定でヨウシアツの設定を「ヨリアツイカミ」にしてお使いください。
- 往復はがきをご使用のときは、給紙方向に注意してください。

●ＯＨＰフィルム

厚さ 0.08mm ～ 0.11mm のレーザプリンタ用ＯＨＰフィルムをご使用ください。

お願い

- 給紙カセットからは給紙できません。手差しまたは給紙トレイ（オプション）をお使いください。また、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上に向けて排紙する」（40 ページ）参照）
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- Windows でご使用の場合は、プリンタドライバの用紙厚の設定を「OHP シート」にしてお使いください。
- ESC/P でご使用の場合は、プリンタのレベル１メニュー設定でヨウシアツの設定を「OHP」にしてお使いください。

●ラベル紙

厚さ 0.1 ～ 0.15mm のレーザプリンタ用ラベル紙で、紙質は普通紙と同等のものをご使用ください。

お願い

- 給紙カセットからは給紙できません。手差しまたは給紙トレイ（オプション）をお使いください。また、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上に向けて排紙する」（40ページ）参照）
- Windows でご使用の場合は、プリンタドライバの用紙厚の設定を「より厚い紙」にしてお使いください。
- ESC/P でご使用の場合は、プリンタのレベル１メニュー設定でヨウシアツの設定を「ヨリアツイカミ」にしてお使いください。

●プレプリント紙、カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクが耐熱性で、190℃でも変質しなく、紙質は普通紙と同等のものをご使用ください。

お願い

印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。

位置精度　　Ａ４サイズで±２ mm 程度
用紙の傾き　100mm 当たり±１ mm 程度
画像の伸縮　100mm 当たり±１ mm 程度

●厚紙

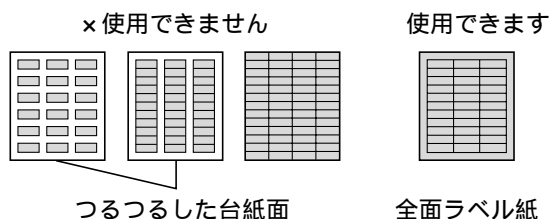
連量 75 ～ 90kg (87 ～ 105g/m^2）の用紙をご使用ください。

お願い

- 給紙カセットからは給紙できません。手差しまたは給紙トレイ（オプション）をお使いください。また、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上に向けて排紙する」（40ページ）参照）
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
- Windows でご使用の場合は、プリンタドライバの用紙厚の設定を「厚い紙」にしてお使いください。
- ESC/P でご使用の場合は、プリンタのレベル１メニュー設定でヨウシアツの設定を「アツイカミ」にしてお使いください。

◆使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

- 厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- 湿っている用紙や、濡れている用紙
- 一度印刷された用紙
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
- 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙
- 静電気で密着している用紙
- 長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- 表面を加工、または特殊なコーティングをした用紙（感熱紙、カーボン紙など）
- オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190℃以上の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- 190℃以下の熱で溶けたり、変質する用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙
- 台紙全体がラベルで覆われていない、または用紙端までカットラインのあるラベル用紙

◆用紙保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態で保管してください。

用紙は次のような場所に保管してください。

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所。
- 平らなパレットの上。
- 温度 20℃、湿度 50％RH の環境。

次のような場所は避けてください。

- 床の上に直接置く。
- 直射日光の当たる場所。
- 外壁の内側の近く。
- 段差や、曲がりのある場所。
- 静電気が発生するところ。
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ。
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば。

長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。
用紙を長期間保管するときは、次の配慮をしてください。

- 開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む。
- 長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセット等から用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む。

●ガイド●

長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

第3章　プリンタの設置

この章では、本プリンタの設置条件および設置のしかた、トナーカートリッジの取り付けかた、用紙セットのしかた、用紙排出面の切り替えかた、電源コードの接続と電源の投入／切断のしかた、メニュー設定一覧の印刷のしかたについて説明します。

設置条件

本プリンタを最良の状態でご使用いただくため、以下に説明する電源の条件や動作環境を満足する場所に設置してください。

◆電源の条件

電源の条件や電源との接続には、以下の条件を守ってください。

●電源の条件

電源は次の条件に適合するものを使用してください。

- 交流（ＡＣ）100 V ± 10 V
- 電源周波数　50Hz または 60Hz ± 1 Hz

電源が不安定な場合は、電圧調整器などをご使用ください。

お願い

本プリンタの最大消費電力は、約 550Wです。電源容量に十分余裕があることを確認してください。

●電源との接続

電源との接続に際しては、次の点にご注意ください。

- 本プリンタと同じコンセントに他の電気製品を接続しないでください。
  特に、空調機、複写機、シュレッダーなどと接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかトランスをご使用ください。
- 電源コードが踏まれない場所に設置し、電源コードの上に物を置かないでください。
- 延長コードを使用する場合は、15 A以上のものを使ってください。

◆動作環境

設置に際しては、「プリンタ設置および移動時のご注意」(ⅱページ）をお読みください。

●温度および湿度

動作環境として、次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。

- 周囲温度：10 ～ 32℃
- 周囲湿度：20 ～ 80％RH (相対湿度)

冬季には、結露しないようご注意ください。

●動作環境に関する注意事項

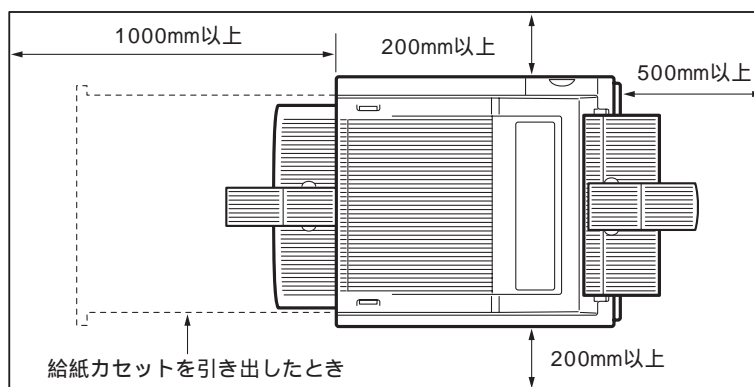
周囲温度や周囲湿度を満足するとともに、次の点にもご注意ください。

- 周囲湿度が 30％以下の場所に設置する場合は、静電気を防止するため加湿器または静電気防止マットなどをご使用ください。
- 周囲温度の急激な変化によって、プリンタ内部に結露することがあります。結露のときは、プリンタが周囲の温度になじむまで１時間以上放置して水滴がなくなったことを確認の上電源を入れてください。

◆設置スペースと寸法

設置に際しては、スムーズに操作ができるよう、プリンタのまわりに十分スペースをとってください。本プリンタに必要なスペースと寸法について以下で説明します。

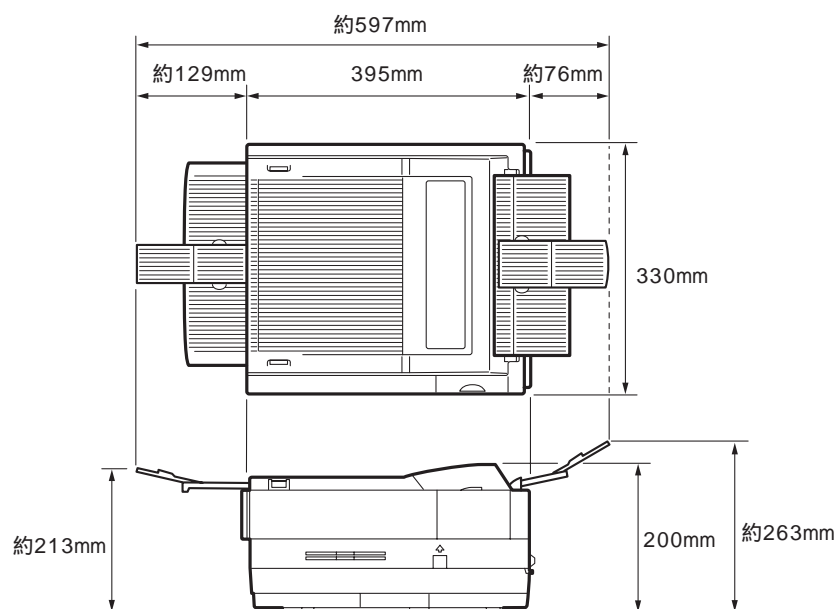
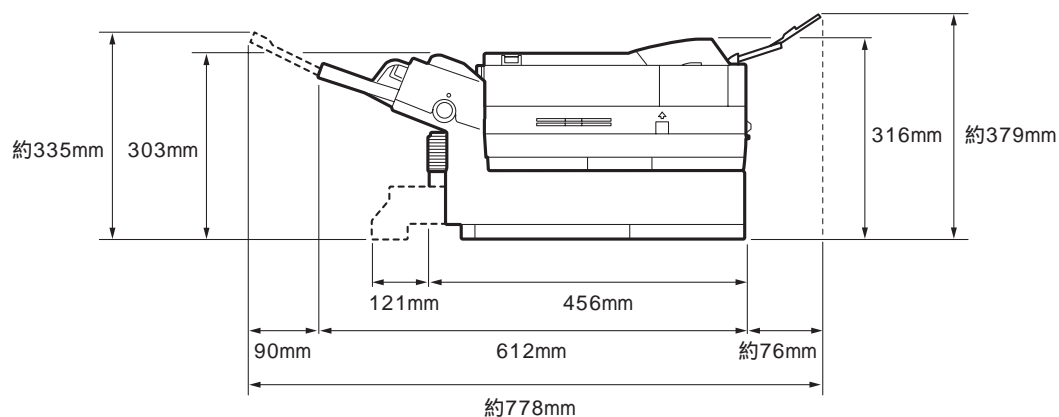
●設置スペース

操作に必要なスペースは下図のとおりです。給紙カセットを引き出した場合のスペースを示しています。また、設置する台は、プリンタの足全体が十分にのる大きさのものを準備してください。

お願い

プリンタは、傾きが２°以下となるように、平坦なところに設置してください。印刷がかすれるなどの印刷不良の原因となります。

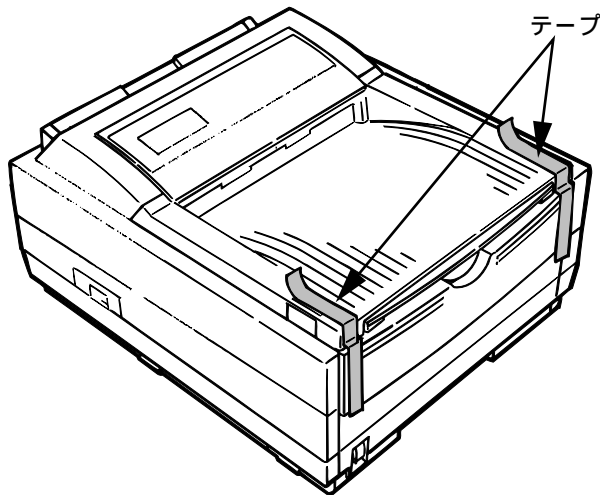
●プリンタの寸法

標準構成とフル構成のオプション品を付けたときの寸法を示します。設置の際の参考にしてください。

●標準装備の場合

●給紙トレイと拡張給紙ユニットを装着した場合

プリンタの設置のしかた

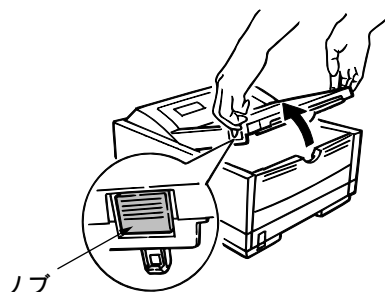
◆梱包材の取り外し

本プリンタには、下図に示すような梱包材が付いています。
本プリンタを使用する前に、梱包材のテープをはがします。

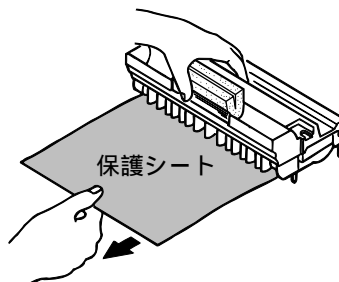
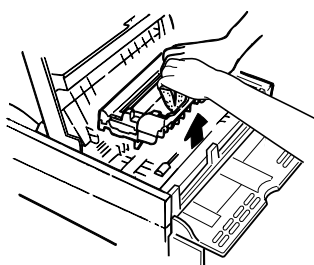
⚠注意	故　障　梱包材を付けたままプリンタを使用すると、故障の原因になります。

◆トナーカートリッジの取り付けかた

本プリンタには、トナーカートリッジが1個添付されています。
本プリンタを使用する前に、必ず取り付けてください。

❶ スタッカカバーを開ける

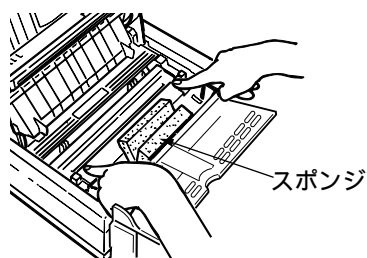
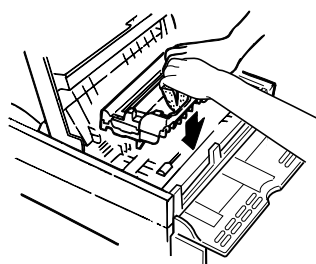
① スタッカカバー両側のノブを押し、ロックを外します。
② そのまま静かに持ち上げて開きます。

❷ プロセスカートリッジを取り出す

① 手差しトレイを開きます。
② プロセスカートリッジを落とさないよう両手で持ち、静かに取り出します。
③ 平らなテーブルの上に置き、保護シートを引き抜きます。

お願い

- プロセスカートリッジを取り出すときは、傾けず水平に取り出してください。
- プロセスカートリッジは光に対して非常に敏感です。取り扱いには、次の点に注意してください。
  - 直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明りの下でも5分以上は放置しないでください。
  - 感光ドラム（緑の筒）は非常に傷つきやすいため、絶対に手を触れないでください。

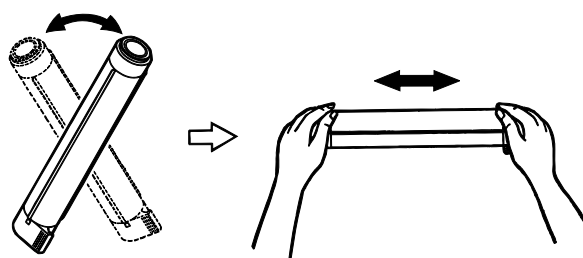
❸ プロセスカートリッジをセットする

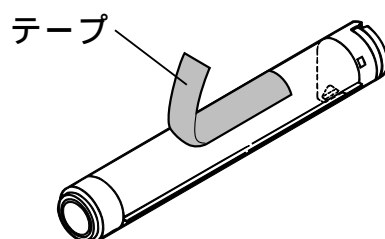
① プロセスカートリッジを落とさないよう両手で持ち、プリンタに静かに載せます。
② プロセスカートリッジ上面の「PUSH」と書かれた部分（2ヵ所）を指で押します。
③ プロセスカートリッジからスポンジを取り外します。
④ 手差しトレイを閉じます。

お願い

プロセスカートリッジをセットするときは、傾けず水平に入れてください。

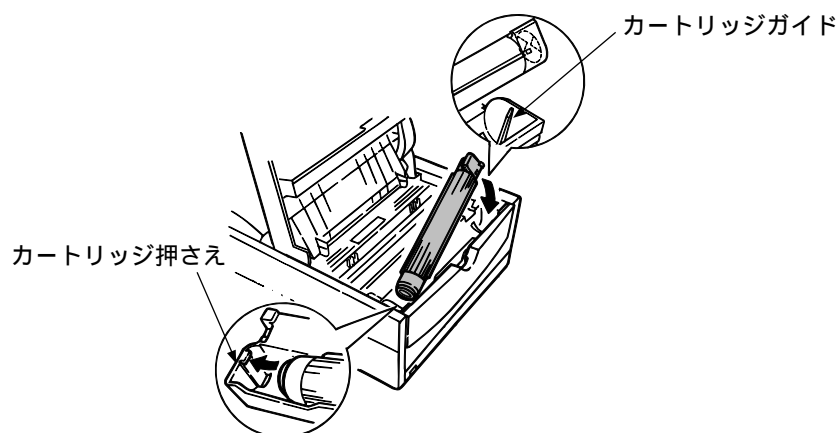
❹ トナーカートリッジを用意する

① 包装袋を開けてトナーカートリッジを取り出します。
② トナーカートリッジを図のように、縦と横にしてそれぞれ数回振ります。

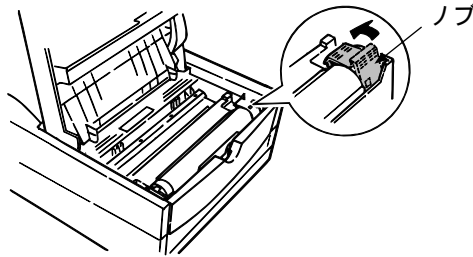
お願い

この操作は、トナーの状態を均一にするために必要です。必ず行ってください。トナーの状態が均一になっていないと、印字品質が低下することがあります。

③　トナーカートリッジを水平にし、テープをゆっくりはがします。

❺　トナーカートリッジをプロセスカートリッジにセットする

①　テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの左側のガイドをプロセスカートリッジのカートリッジ押さえの下に入れます。

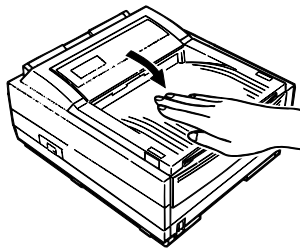
②　トナーカートリッジ右側のガイド溝をプロセスカートリッジのカートリッジガイドに合わせ、しっかりと押し込みます。

❻　トナーカートリッジの右側のノブを回す

トナーカートリッジの右側のノブを矢印方向へ、いっぱいに止まるまで回します。

お願い

トナーカートリッジをきちんと固定してください。きちんと固定されていないと、印字品質が低下することがあります。

❼　スタッカカバーを閉じる

スタッカカバーの中央を、『カチッ』と音がしてロックされるまで押し下げます。両側のノブがロックされたか、確認してください。

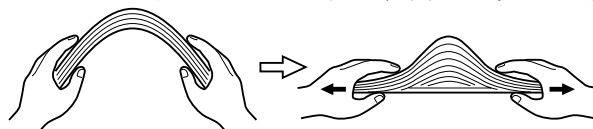
●ガイド●

トナーカートリッジの交換または取り付け後に、「トナーロー」または「トナーコウカン」表示が消えないことがありますが、故障ではありません。この場合、スタッカカバーの開閉を行い、プリンタのモータが動作後、「トナーロー」または「トナーコウカン」の表示が消えることをご確認ください。

5～6回、スタッカカバーの開閉を行い、プリンタのモータが動作しても、「トナーロー」または「トナーコウカン」表示が消えないときは、トナーカートリッジをセットし直してください。

用紙のセットのしかた

用紙をセットする方法について説明します。

●ガイド●

給紙カセットや給紙トレイに用紙をセットする前に、図のように用紙をさばいてください。

◆給紙口と用紙の種類との対応

本プリンタは、給紙カセットや手差しトレイ、オプション品の給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。以下に、給紙口ごとに用紙の種類との対応を示します。
本プリンタで使用できる用紙の詳細については、「第２章　用紙について」（11ページ）をご覧ください。

●給紙カセット

給紙カセットには普通紙を使います。様々なサイズの用紙をセットできます。
給紙カセットの用紙積載可能枚数は、重量が64g/m² の用紙の場合です。

用紙の種類	用紙サイズ	給紙カセットの種類
普　通　紙	Ａ４、Ｂ５、Ａ５、レター、エグゼクティブ	標準給紙カセット：250枚 拡張給紙カセット：500枚
	Ａ６：105 × 148mm	標準給紙カセット：250枚
	フリー：190×148mm～215.9×297mm*1	
	フリー：148×210mm～215.9×297mm*1	拡張給紙カセット：500枚

●手差しトレイ／給紙トレイ（オプション品）

手差しトレイと給紙トレイ（オプション品）に使用できる用紙の種類を示します。
なお、手差しトレイでは、１枚ごとの手差し印刷になります。

用紙の種類	用紙サイズ	用紙の重量
普通紙（定型）	A4、A5、A6、B5、レター、エグゼクティブ	64～ 87g/m²
普通紙（フリー）	90×148mm～215.9×297mm*1	64～ 87g/m²
厚紙、官製はがき	90×148mm～215.9×297mm*1 (官製はがき～Ａ４サイズ相当)	64～ 104g/m²

（給紙トレイは64g/m² の用紙の場合、100枚セットできます。官製はがきの場合、50枚セットできます。）

●ガイド●

選択されている給紙口が「用紙なし」になった場合は、オフラインとなり他の給紙カセット、給紙トレイに用紙があっても印刷できません。（ただし、手差しトレイからの印刷は可能です）
選択されている給紙口に用紙を補給すると、プリンタはオンライン状態になります。

*1：プリンタのメニュー設定（ESC/P モード）では短辺は最大216mmです。

◆給紙カセットへの用紙のセット

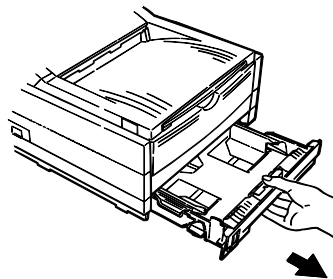
給紙カセットに、用紙をセットする方法を説明します。

お願い

- 用紙は、印刷する面を下にしてセットしてください。
- 用紙ガイドは、用紙との間に隙間ができないようにセットしてください。
  また、用紙が曲がるほど、用紙ガイドを強く押しつけないでください。
- 指定した位置を越えて用紙をセットしないでください。
- 厚紙や、ＯＨＰフィルム、ラベル紙などの特殊紙は使えません。
- 給紙カセットを差し込むときは、あまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中は、給紙カセットを引き出さないでください。
- 拡張給紙ユニットを使って、下段カセットから給紙しているときは、拡張給紙ユニットのフロントカバーを開けないでください。
- 給紙カセットの用紙は、完全になくなってから、補充してください。
- Ａ５より小さい用紙の場合は、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。
  （「印刷面を上にむけて排紙する」（40ページ）参照）

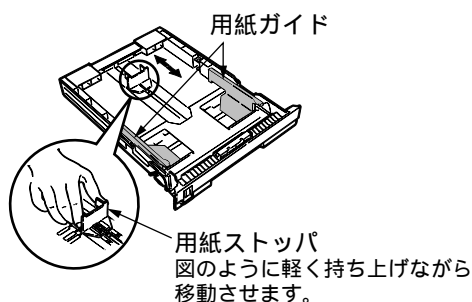
●標準給紙カセットに用紙をセットする

標準給紙カセットへの用紙のセットは、以下の手順で行います。

❶　取っ手を持って標準給紙カセットを引き出す

●ガイド●

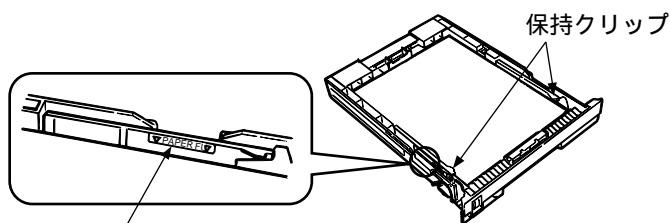
拡張給紙ユニットを取り付けてあるときに、標準給紙カセットに用紙をセットする場合は、まず拡張給紙ユニットのフロントカバーを開けて操作してください。

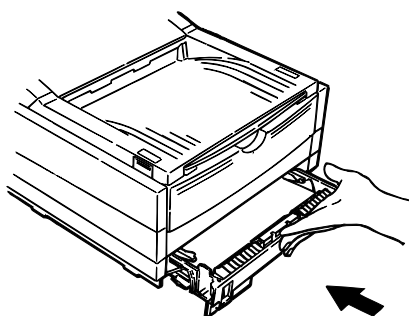
❷　用紙ガイドをセットする

標準給紙カセット内部の用紙ガイドと用紙ストッパを、使用する用紙サイズに合わせてセットします。用紙ストッパは、後ろ側を軽く持ち上げるようにしながら動かします。

❸　標準給紙カセットに用紙をセットする

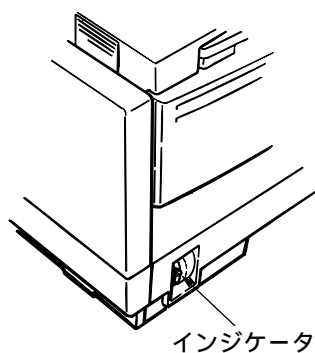
印刷面を下にしてセットしてください。

用紙の束が用紙ガイドの保持クリップに押さえられるようにセットしてください。

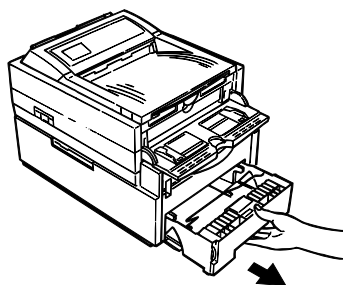
用紙ガイドの「PAPER FULL」表示ラインまで用紙をセットできます。(64g/m² の用紙の場合、約250枚セットできます)

❹　標準給紙カセットをプリンタに差し込む

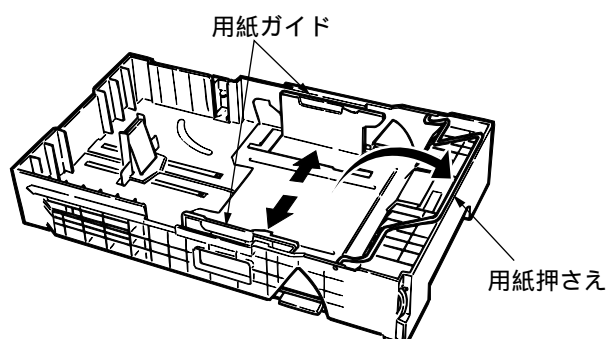
標準給紙カセットがストップする位置まで押し込むと、「カチッ」と音がしてロックされます。

拡張給紙ユニットを取り付けてあるときは、拡張給紙ユニットのフロントカバーを閉じます。

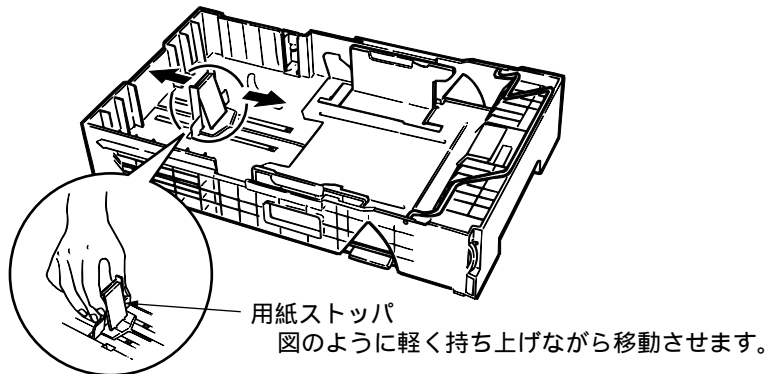
●ガイド●

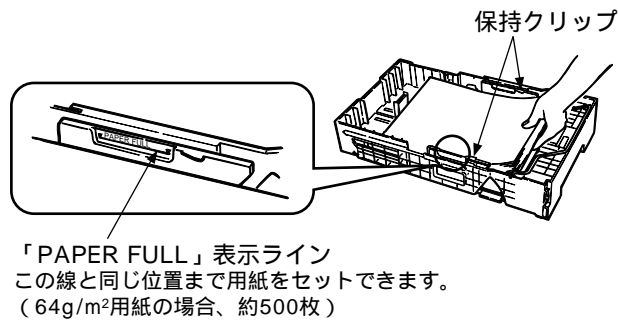
給紙カセット内の用紙量は、カセット前面にあるインジケータ（赤）で確認することができます。インジケータが下にさがるほど用紙量が少ないことを示します。

●拡張給紙カセットに用紙をセットする

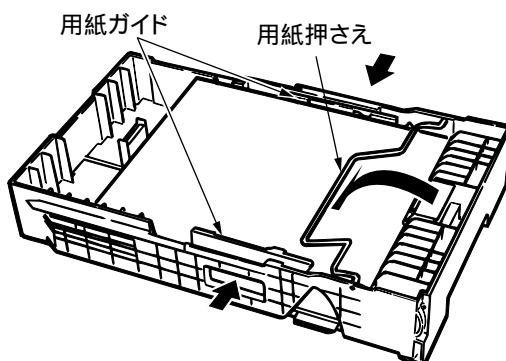
拡張給紙カセットを使用するときは、拡張給紙ユニット（オプション品）が必要です。
拡張給紙カセットへの用紙のセットは、以下の手順で行います。

❶　取っ手を持って拡張給紙カセットを引き出す

❷　用紙ガイドをいっぱいに開く

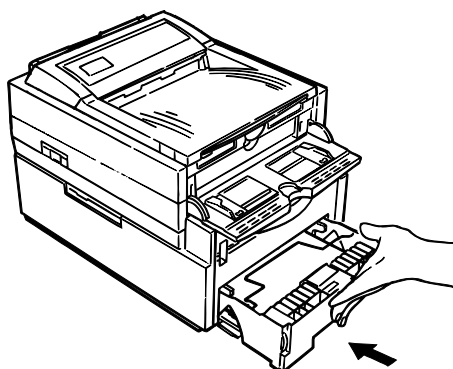
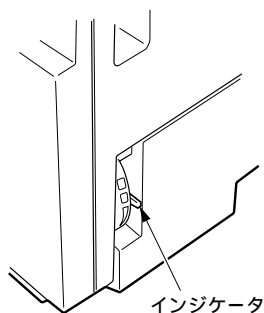
拡張給紙カセット内部の用紙ガイドの下の方を内側から押し広げていっぱいに開き、用紙押さえを上げます。

❸　用紙ストッパをセットする

拡張給紙カセット内部の用紙ストッパを、使用する用紙サイズに合わせてセットします。用紙ストッパは、後ろ側を軽く持ち上げるようにしながら動かします。

❹　拡張給紙カセットに用紙をセットする

印刷面を下にしてセットしてください。用紙の束が、用紙ガイドの保持クリップに押さえられるようにセットしてください。用紙ガイドの「PAPER FULL」表示ラインまで用紙をセットできます。(64g/m² の用紙の場合、約 500 枚セットできます。)

❺　用紙ガイドを用紙幅にセットする

拡張給紙カセット内部の用紙ガイドを横に空いている穴から用紙に突き当たるまで押して、用紙幅に合わせます。用紙押さえを戻します。

❻　拡張給紙カセットを拡張給紙ユニットに差し込む

拡張給紙カセットを、拡張給紙ユニットの給紙カセット取り付け口にゆっくりと差し込み、カチッという音がしてロックされるまで押し込みます。

●ガイド●

給紙カセット内の用紙量は、カセット前面にあるインジケータ（赤）で確認することができます。インジケータが下にさがるほど用紙量が少ないことを示します。

◆手差しトレイおよび給紙トレイへの用紙のセット

手差しトレイおよび給紙トレイには、様々な種類の用紙をセットすることができます。ここでは、用紙をセットする方法を説明します。

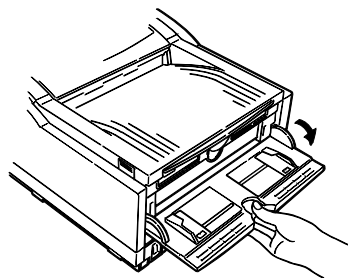
お願い

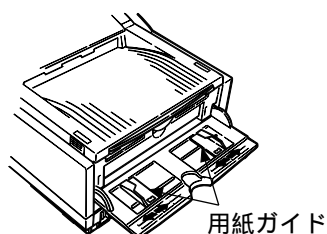
- 用紙は、印刷する面を上にしてセットしてください。
- 用紙ガイドは、用紙との間に隙間ができないようにセットしてください。
また、用紙が曲がるほど、用紙ガイドを強く押しつけないでください。
- 用紙はまっすぐにセットしてください。
- 90 × 148 mm以下の用紙は使えません。
- 手差しトレイや給紙トレイの上には、印刷する用紙以外のものを置かないでください。
- 手差しトレイや給紙トレイを上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- A５より小さい用紙や、厚紙、OHP フィルム、ラベル紙、はがき等の特殊紙に印刷するときは、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上に向けて排紙する」（40ページ）参照）

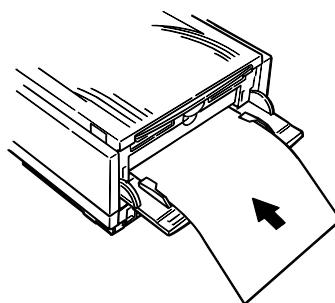
●手差しトレイに用紙をセットする

手差しトレイへの用紙のセットは、以下の手順で行います。

❶　手差しトレイを開く

手差しトレイの上部の取っ手を持って、手差しトレイを開いていっぱいに倒します。

❷ 用紙ガイドを調節する

使用する用紙のサイズに合わせて、用紙ガイドの位置を調節します。

❸ 用紙を差し込む

用紙の先端が突き当たるまで、用紙ガイドに沿って用紙を差し込みます。
用紙は、自動的に約 2 cm 吸入されて、固定されます。

●ガイド●

セットした用紙は、「排出」スイッチを押すと排出されます。

❹ 次の用紙をセットする

印刷が終了し、次のページの印刷起動が行われると、液晶ディスプレイに〔テサシ××ヨウシセット〕と表示されますので、次に印刷する用紙をセットしてください。

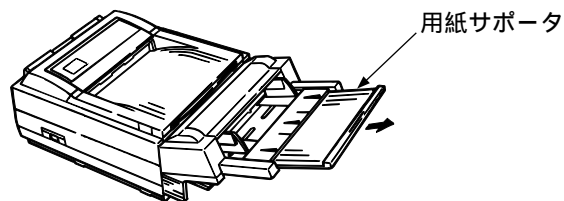
テサシ ××ヨウシセット

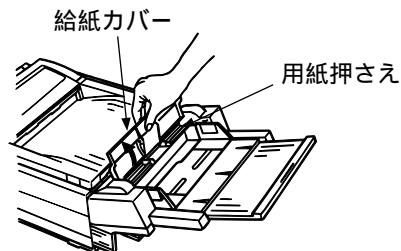
××＝用紙サイズ

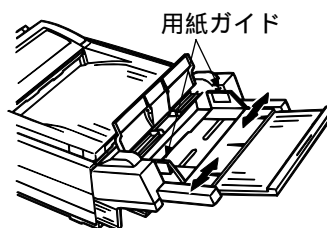
●給紙トレイに用紙をセットする

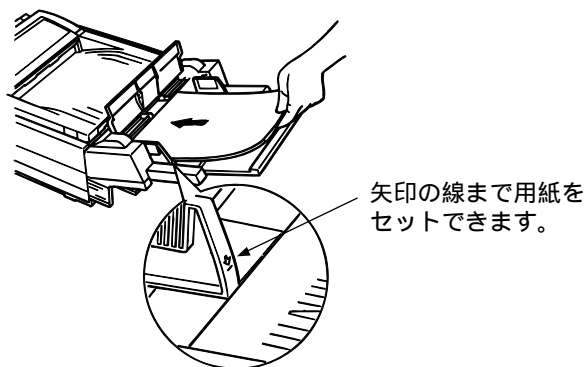
給紙トレイへの用紙のセットは、以下の手順で行います。

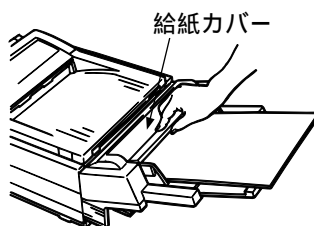
❶　用紙サポータを引き出す

Ａ５サイズ（148 × 210 mm）よりも大きな用紙をセットするときは、用紙サポータをいっぱいに引き出します。

❷　給紙カバーを開く

給紙カバーをいっぱいに開き、用紙押さえを上げます。(用紙押さえは、給紙カバーと連動して動きます。)

❸　用紙ガイドを調節する

使用する用紙に合わせて、用紙ガイドの位置を調節します。

❹ 用紙を差し込む

先端が突き当たるまで、用紙ガイドに沿って用紙を差し込みます。
（64g/m² の用紙の場合、約100枚セットできます。官製はがきの場合、約50枚セットできます。）

❺ 給紙カバーを閉じる

給紙カバーを閉じ、用紙押さえを下げます。（用紙押さえは、給紙カバーと連動して動きます。）

用紙排出面の切り替え

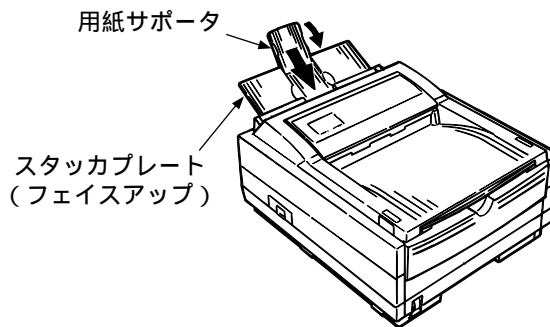
用紙の排出面を切り替える方法について説明します。

◆印刷面を下に向けて排紙する

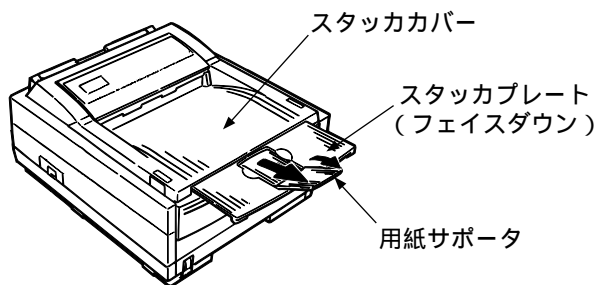
普通紙への印刷時は、印刷面を下にして排出します。印刷した順に重ねて取り出すことができます。

お願い

A５より小さい用紙や厚紙、OHP フィルム、ラベル紙、はがきなどの特殊紙に印刷するときは、印刷面を下に向けて排出しないでください。紙づまりの原因になります。

❶ 用紙サポータを倒し、スタッカプレート（フェイスアップ）を押し込みます。

❷ スタッカプレート（フェイスダウン）を引き出し、用紙サポータを起こします。

プリンタの上部（スタッカカバー）が用紙受けになります。

お願い

- 印刷中にスタッカプレート（フェイスアップ）を引き出したり、押し込んだりしないでください。紙づまりの原因になります。
- 印刷面を下に向けて排紙するときは、必ずスタッカプレート（フェイスアップ）を押し込んでください。

◆印刷面を上に向けて排紙する

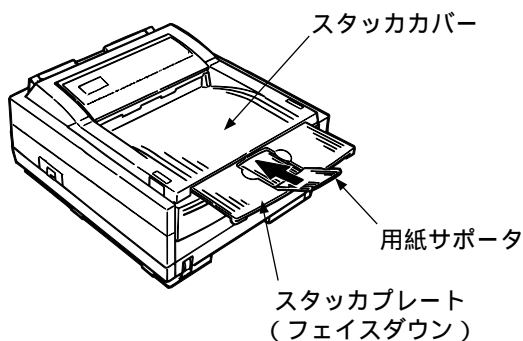
ＯＨＰフィルムやラベル紙などの特殊紙、厚手の用紙、官製はがきなどに印刷するときは、印刷面を上にして排紙します。用紙が曲がらずにまっすぐなまま、排出できます。

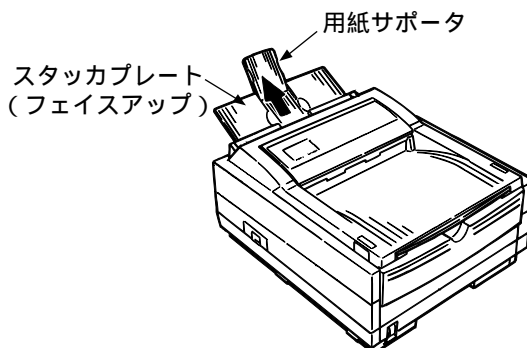
お願い

薄手の用紙や、普通紙でもＡ５より小さいものは、印刷面を上にむけて排出してください。紙づまりを予防できます。

---

❶ 用紙サポータを倒し、スタッカプレート（フェイスダウン）を押し込みます。

---

❷ スタッカプレート（フェイスアップ）を引き出し、用紙サポータを起こします。
これが用紙受けになります。

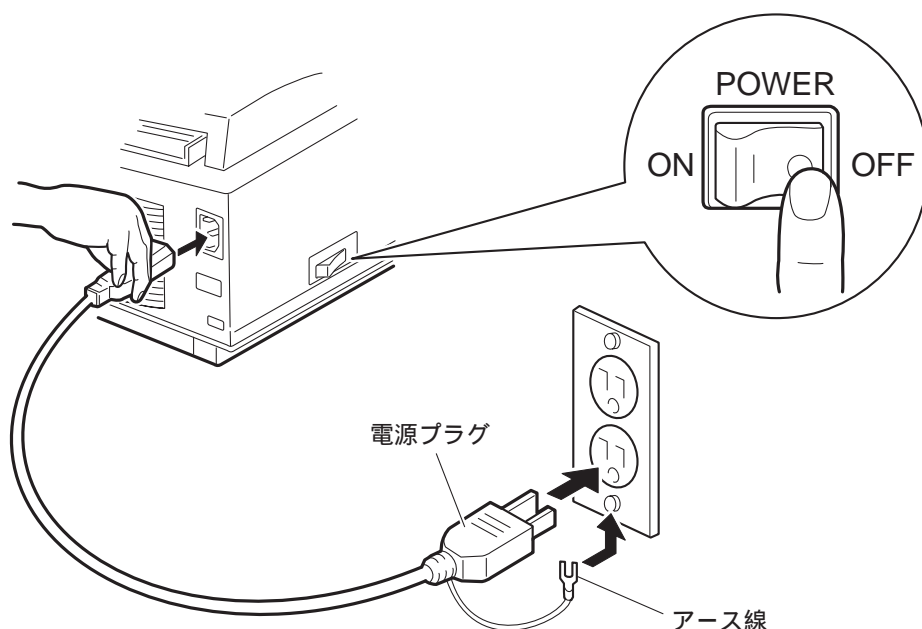
お願い

印刷中にスタッカプレート（フェイスアップ）を押し込んだり、引き出したりしないでください。紙づまりの原因になります。

電源コードの接続

本プリンタの電圧定格値は、交流100Vです。
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。プリンタの定格電圧が、使用するコンセントの電圧と一致するか確認してください。

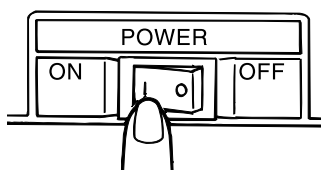
⚠警告

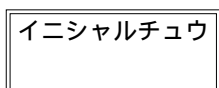
感　電　電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをＯＦＦ（○側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。
火　災　電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。
感　電　危険ですので次の箇所には絶対に接続しないでください。
・ガス管（火災や爆発の危険があります）
・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です）
・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目をはたしません）

電源の切断を確認し、電源コードを接続します。
①　電源スイッチがＯＦＦ（○側）になっていることを確認します。
②　電源コードをプリンタ後側面にあるコネクタに差し込みます。
③　電源プラグから出ているアース線をアース端子に取り付け、電源プラグを交流100Vのコンセントに差し込みます。

電源の投入と切断

プリンタの設置と接続が終わったら、電源を入れます。
以下に、電源の入れかたと切りかたを説明します。

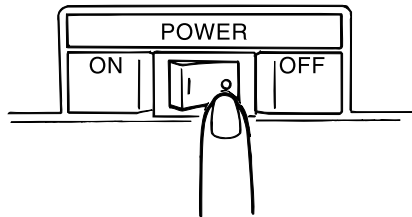
◆電源を入れる

電源スイッチをＯＮ（｜側）にします。電源が入ります。

初期化、ウォームアップが開始され、液晶ディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

表示	説明
■■■■■■■■ ■■■■■■■■	オペレータパネルのチェックを行っています。
h	
イニシャルチュウ	プリンタ本体のチェックと初期化を行っています。
h	
オンライン ＥＳＣ／Ｐ	オンライン状態になります。

お願い

電源を入れても「オンライン」表示にならないときは、第７章「こんなときには」(127ページ）をお読みください。

◆電源を切る

電源を切るときは、電源スイッチをＯＦＦ（○側）に倒します。電源が切断され、オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が消えます。

お願い

印刷中には電源を切らないでください。もし、電源を切ってしまったときは、スタッカカバーを開けて用紙がプリンタ内に残っていないことを確認してください。

メニューの内容を印刷する

プリンタ内部に記憶されているメニュー設定の一覧表を印刷します。
メニュー印刷は、現在選択されている給紙口の用紙に印刷されます。

お願い

メニュー印刷を行うときは、必ずＡ４の用紙を使用してください。
Ａ４以外の用紙でメニュー印刷を行うと、全てのメニュー項目が印刷できないことがあります。

オンライン

オフライン
ＥＳＣ／Ｐ

①　「オンライン」スイッチを押し、〔オフライン〕を表示します。

用紙選択
メニュー印刷

２秒以上

メニュー
インサツチュウ

②　「メニュー印刷」スイッチを２秒以上押します。
メニュー印刷をはじめます。

オンライン

オンライン
ＥＳＣ／Ｐ

③　印刷が終わったら「オンライン」スイッチを押し、〔オンライン〕表示に戻します。

「メニュー印刷」は、次のようなフォーマットで印刷されます。

＜メニュー印刷例＞

メニュー設定内容の印刷結果は、次のようになります。（縮小率50%）

XL-2110 PAGE PRINTER

```
Program ROM: F/W 01.26  C746  Font 00.24  ENG 02.14  MSG L00.25,P00.27
             ESC/P 00.29  HD 00.07
             CAP_PU 02.30
Memory     : 4M Bytes Installed    REC BUFF 20KB
Page Count : 0000
```

オペレータパネルメニュー設定
レベル-1

カテゴリ	アイテム	出荷時設定	ユーザ設定
共通			
トレイ選択	手差し印刷	未指定	未指定
	給紙トレイ	トレイ1	トレイ1
	自動トレイ切り替え	無効	無効
用紙サイズ	トレイ1	A4 サイズ	A4 サイズ
	トレイ2	A4 サイズ	A4 サイズ
	手差し	A4 サイズ	A4 サイズ
	MPF	A4 サイズ	A4 サイズ
	フリー用紙横サイズ	210 mm	210 mm
	フリー用紙縦サイズ	297 mm	297 mm
用紙厚	トレイ1	普通紙	普通紙
	トレイ2	普通紙	普通紙
	手差し	普通紙	普通紙
	MPF	普通紙	普通紙
用紙サイズチェック	用紙サイズチェック	無効	無効
コピー枚数	コピー枚数	1	1
ESC/P エミュレーション			
フォント & シンボルセット	漢字書体選択	自動選択	自動選択
	ANK書体選択	自動選択	自動選択
	ANKコード表	カタカナ	カタカナ
	ANKゼロ書体選択	0	0
ページレイアウト1	縮小印刷	等倍	等倍
	頭出し位置	8.5mm	8.5mm
	右マージン	用紙幅	用紙幅
	CR機能	CRのみ	CRのみ
	自動復改機能	CR + LF	CR + LF
共通			
ページレイアウト2	印刷方向	縦	縦

レベル-2

カテゴリ	アイテム	出荷時設定	ユーザ設定
プリントモード	解像度	600dpi	600dpi
オートオペレーション	エラー解除	オフ	オフ
	タイムアウト印刷	90 秒	90 秒
印刷濃度	印刷濃度	0	0
パワーセーブ	パワーセーブ	8 分	8 分
トナー エラー動作	トナー エラー	継続	継続
トナーセーブ	トナーセーブ	無効	無効
セントロインタフェース	データ送信速度	高速	高速
	双方向セントロ	有効	有効
	I-PRIME機能	データクリア	データクリア

- F／W 01.26と表示される部分の数字は変わることがあります。
- メニュー設定の内容によっては、表示されない項目があります。

第 4 章　パソコンからの印刷

この章では、パソコンとの接続のしかた、Windows 用プリンタドライバ（Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 3.1、Windows 2000、Windows NT4.0）のインストールのしかたと印刷のしかた、ESC/P モードからの印刷のしかたなどについて説明します。

プリンタドライバの動作環境

● Windows Me

Windows Me 日本語版の動作する PC/AT 互換機で、次の条件を満たすもの。

CPU	Pentium 150MHz 以上（推奨　Pentium 166MHz 以上）
メモリ	32MB 以上（推奨　64MB 以上）
ハードディスク	20MB 以上の空き容量
接続ポート	IEEE1284 に準拠した双方向パラレルポート

● Windows 98/95

Windows 98 日本語版、Windows 95 日本語版の動作する PC/AT 互換機で、次の条件を満たすもの。

CPU	i486DX2 66MHz 以上（推奨　Pentium 133MHz 以上）
メモリ	16MB 以上（推奨　32MB 以上）
ハードディスク	16MB 以上の空き容量
接続ポート	IEEE1284 に準拠した双方向パラレルポート

● Windows 3.1

Windows 3.1 日本語版エンハンスモードの動作する PC/AT 互換機で、次の条件を満たすもの。

CPU	i486DX2 66MHz 以上（推奨　Pentium 133MHz 以上）
メモリ	8MB 以上（推奨　16MB 以上）
ハードディスク	16MB 以上の空き容量
接続ポート	IEEE1284 に準拠した双方向パラレルポート

● Windows 2000

Windows 2000 Professional 日本語版または Windows 2000 Server 日本語版の動作する PC/AT 互換機で、次の条件を満たすもの。

CPU	Pentium 133MHz 以上（推奨　Pentium 166MHz 以上）
メモリ	32MB 以上（推奨　64MB 以上）
仮想メモリ	32MB 以上の空き容量
ハードディスク	20MB 以上の空き容量
接続ポート	IEEE1284 に準拠した双方向パラレルポート

● Windows NT4.0

Windows NT Server4.0 日本語版または Windows NT Workstation4.0 日本語版の動作する PC/AT 互換機で、次の条件を満たすもの。

CPU	Pentium 90MHz 以上（推奨　Pentium 133MHz 以上）
メモリ	32MB 以上（推奨　64MB 以上）
仮想メモリ	32MB 以上の空き容量
ハードディスク	20MB 以上の空き容量
接続ポート	IEEE1284 に準拠した双方向パラレルポート

お願い

次のような場合、本プリンタが正常に動作しないことがあるので、ご注意ください。

- 日本語版以外の Windows Me/98/95/3.1、Windows 2000/NT4.0では動作しません。
- MS-DOS および Windowsの DOS プロンプトでは動作しません。
- WIN-OS/2および Windows NT 3.5/3.51では動作しません。
- Windows 2000/NT4.0は、ARC 互換 RISCベースのプロセッサ（MIPSR シリーズ、Alpha、PowerPC™ など）のシステムには対応していません。
- 双方向通信に対応したプリンタと同一ポートを共存して使用することはできません。次のプリンタとは、共存できません。

  ＝ Microsoft Windows Printing System に対応したプリンタ＝
  ＝カラーインクジェットプリンタ＝
  XJ-300, XJ-330, XJ-350, XJ-500, XJ-550, XJ-600, XJ-610, XJ-700, XJ-800
  ＝カラースキャナ＆プリンタ＝
  XJS-400
  ＝イメージプロセッサ＝
  IA-3000
- パラレルポートが ECP モードになっていると、正常に動作しない場合があります。ECP モードになっている場合は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧の上、他のモードへ変更してご使用ください。
- プリンタ切替器に接続していると、正常に印刷できない場合があります。このような場合は、プリンタ切替器をはずしてご使用ください。

●ガイド●

- フロッピードライブの表記について
  本書では、フロッピードライブ名は、A：＿＿を例にしています。通常、フロッピードライブは、PC/AT 互換機（DOS/V、PC98-NX）では A：＿＿になっています。お使いのパソコンのフロッピードライブをご確認の上、入力してください。
- Windows画面の図について
  ・Windows Me/98/95/3.1/2000/NT4.0共通の画面は、基本的に Windows 98 の画面を例にしています。
  ・お使いの OS（Windows Me/98/95/3.1/2000/NT4.0）によって、画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。

パソコンと接続する

本プリンタは IEEE 1284 準拠のパラレルインタフェースを標準装備しています。パラレルインタフェースにパソコンを接続する方法について説明します。
接続ケーブルについては、次の制約があります。
・パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
・ケーブルの長さは、1.5 メートル以下のものをお使いください。

⚠警告

感　電　プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

⚠注意

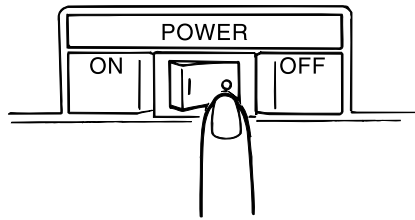
故　障　ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。特に接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。
誤った接続状態で使用すると、本プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

お願い

本プリンタには、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。（「プリンタケーブル」８ページ参照）

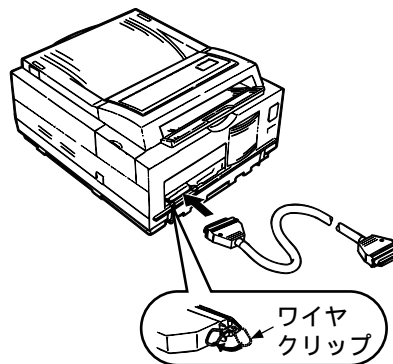
プリンタケーブルの接続は以下の手順で行います。

❶ プリンタとパソコンの電源の切断を確認する

電源スイッチがＯＦＦ（○側）になっていることを確認します。

お願い

プリンタケーブルを接続するときは、必ずパソコンの電源も切ってください。

❷ プリンタケーブルを接続する

プリンタケーブルをプリンタ背面下部のコネクタに差し込み、コネクタ両端のワイヤクリップで固定します。

❸ プリンタケーブルのもう一方のコネクタをパソコンのプリンタコネクタに接続する

パソコン側への接続は、パソコン側の取扱説明書を参照してください。

Windows Me から印刷する

●プリンタドライバの動作環境

Windows Me 日本語版の動作するパーソナルコンピュータ

IBM PC/AT 互換機、PC-9821 シリーズで IEEE1284 に準拠した双方向パラレルポートをサポートしている機種

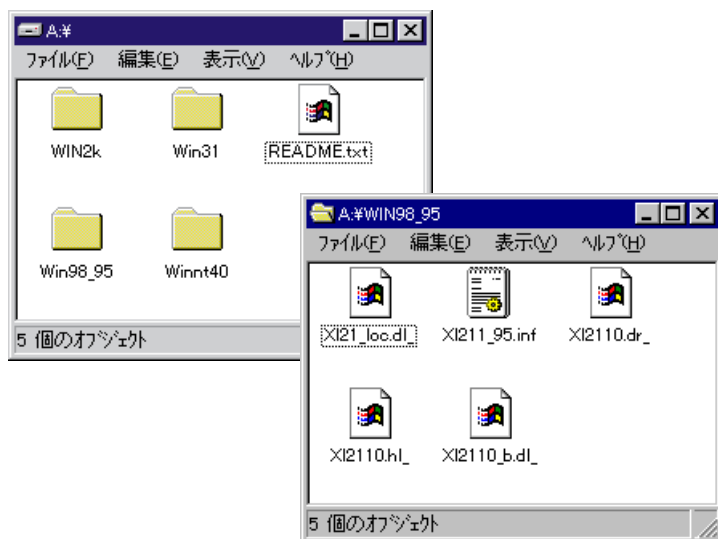
Pentium 150MHz/RAM 32MB 以上

ハードディスクの空き 20MB 以上（スプールに使用）

快適な印刷環境を得るために、Pentium 166MHz 以上 /RAM 64MB 以上を推奨します。

●ガイド●

Windows Me 英語版では動作しません。

●プリンタドライバディスクの構成

●ガイド●

- README.TXT には、プリンタドライバを使用する上で、最新の注意事項が記述されています。インストール前に必ずお読みください。
- 拡張子が .dll、.drv のファイルは隠しファイルになっているため、ウィンドウに表示されない場合があります。

◆プリンタドライバをインストールする

説明の中では、フロッピィディスクドライブは、A：ドライブを例に、インストールするものとします。

お願い

- 『プリンタ』フォルダに『XL-2110』がすでに登録されている場合は、『XL-2110』のアイコンを右クリックし、『削除』を行ってからセットアップしてください。
- すでに Windows Meが起動している場合は、再起動してください。

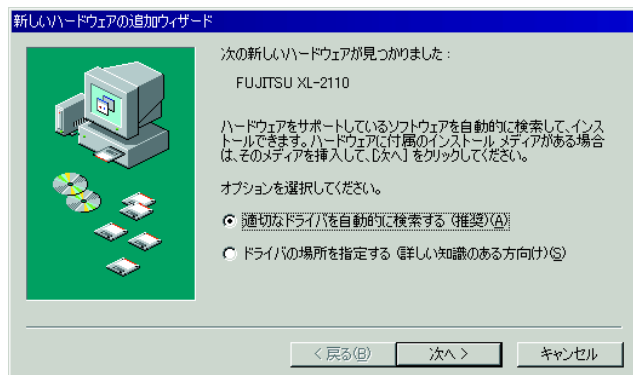
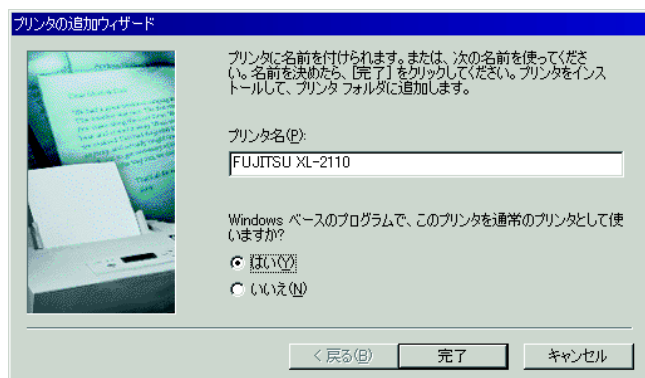
❶ プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源をオンにしてから、Windows Me を起動します。

❷ 新しいハードウェアが検出されます。

お願い

- 新しいハードウェアが検出されない場合は、『プリンタの追加ウィザード』からセットアップしてください。『マイコンピュータ』→『コントロールパネル』→『プリンタ』→『プリンタの追加』アイコンをダブルクリックして、画面の指示に従ってセットアップを進めてください。
- 出力ポートは LPT1 を選択してください。COM ポートはサポートしていません。

❸ プリンタドライバをインストールします。

① 『新しいハードウェアの追加ウィザード』ダイアログが表示されたら、検出されたハードウェアが XL-2110 であることを確認してください。

② プリンタドライバディスクをセットし、『適切なドライバを自動的に検索する（推奨）』を選択して、『次へ』をクリックします。

❹ 以降、プリンタウィザードの指示に従って設定をします。

① プリンタの名前を設定し、『はい』をクリックします。

② 『完了』をクリックします。

③ 『完了』をクリックします。

❺ インストールが終了すると、プリンタのアイコンが表示されます。

◆印刷条件を設定する

❶　用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法を設定します。

使用する用紙サイズなどの設定は、『マイコンピュータ』→『コントロールパネル』→『プリンタ』→『XL-2110』アイコンを右クリックし、『プロパティ』で設定します。詳細は、プリンタドライバの機能（89 ページ）を参照します。

●ガイド●

- 設定は、Windows での設定が優先され、プリンタのオペレータパネルの設定は無視されます。
- アプリケーションによっては、アプリケーションでの設定が、プリンタドライバの設定より優先されることがあります。
- アプリケーションで表示される『用紙設定』の項目は、アプリケーションによって異なる場合があります。各アプリケーションのマニュアルの印刷方法の項目を参照してください。
- 性能向上のために、プリンタドライバの機能の一部が変更されることがあります。詳細はオンラインヘルプをご覧ください。
- プリンタドライバで設定した用紙サイズと、プリンタにセットされている用紙サイズは、必ず同じサイズにしてください。

注）バージョンアップなどにより、プリンタドライバの内容と本書の記載が異なる場合があります。

❷ Windows Meから印刷します。
印刷方法はアプリケーションによって異なります。
詳しくは、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

●ガイド●

- ギザギザのないきれいな文字を印刷するために、MS 明朝、MS ゴシックなどの True Type アウトラインフォントを指定してください。
- Windows からの印刷を中止した直後に DOS のアプリケーションからの印刷を行おうとすると、ESC/P による印刷が正常に行えない場合があります。このような場合にはプリンタの電源を入れ直してください。

Windows 98 から印刷する

●プリンタドライバの動作環境

Windows 98 日本語版の動作するパーソナルコンピュータ

IBM PC/AT 互換機、PC-9821 シリーズで IEEE1284 に準拠した双方向パラレルポートをサポートしている機種

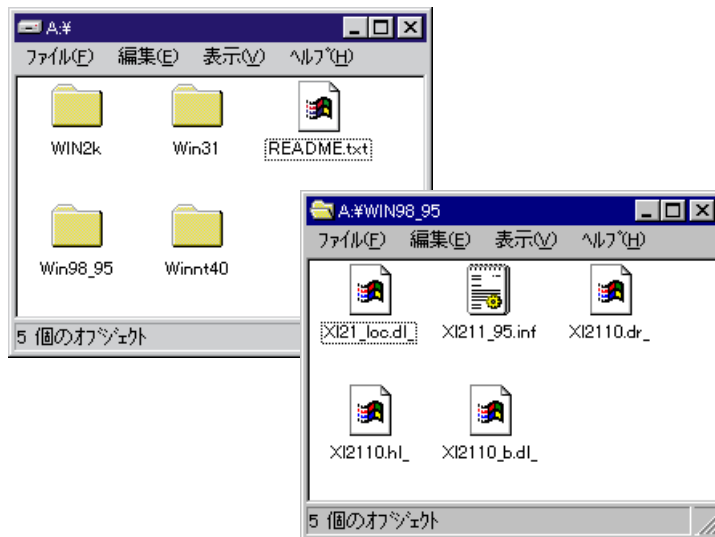
486DX2　66MHz/RAM　16MB 以上

ハードディスクの空き 16MB 以上（スプールに使用）

快適な印刷環境を得るために、Pentium 133MHz 以上 /RAM 32MB 以上を推奨します。

●ガイド●

Windows 98英語版では動作しません。

●プリンタドライバディスクの構成

●ガイド●

- README.TXT には、プリンタドライバを使用する上で、最新の注意事項が記述されています。インストール前に必ずお読みください。
- 拡張子が .dll、.drv のファイルは隠しファイルになっているため、ウィンドウに表示されない場合があります。

◆プリンタドライバをインストールする

説明の中では、フロッピィディスクドライブは、A：ドライブを例に、インストールするものとします。

お願い

- 『プリンタ』フォルダに『XL-2110』がすでに登録されている場合は、『XL-2110』のアイコンを右クリックし、『削除』を行ってからセットアップしてください。
- すでにWindows 98が起動している場合は、再起動してください。

❶ プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源をオンにしてから、Windows 98を起動します。

❷ 新しいハードウェアが検出されます。

お願い

- 新しいハードウェアが検出されない場合は、『プリンタの追加ウィザード』からセットアップしてください。『マイコンピュータ』→『プリンタ』→『プリンタの追加』アイコンをダブルクリックして、画面の指示に従ってセットアップを進めてください。
- 出力ポートはLPT1を選択してください。COMポートはサポートしていません。

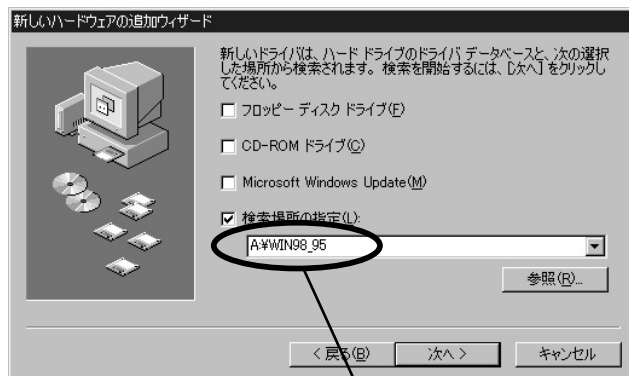
❸ プリンタドライバをインストールします。

① 『新しいハードウェアの追加ウィザード』ダイアログが表示されたら、『次へ』をクリックします。

② 『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨)』を選択し、『次へ』をクリックします。

③ プリンタドライバディスクをセットし、『検索場所の指定』をチェックし、「A:\WIN98_95」と入力して、『 次へ』をクリックします。

●ガイド●

NEC Windowsではフロッピードライブが B:¥ の場合があります。

❹　以降、プリンタウィザードの指示に従って設定をします。
　① プリンタの名前を設定し、『はい』をクリックします。
　② 『完了』をクリックします。

　③ 『完了』をクリックします。

❺　インストールが終了すると、プリンタのアイコンが表示されます。

◆印刷条件を設定する

❶　用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法を設定します。

使用する用紙サイズなどの設定は、『マイコンピュータ』→『プリンタ』→『XL-2110』アイコンを右クリックし、『プロパティ』で設定します。

詳細は、プリンタドライバの機能（89 ページ）を参照します。

●ガイド●

- 設定は、Windows での設定が優先され、プリンタのオペレータパネルの設定は無視されます。
- アプリケーションによっては、アプリケーションでの設定が、プリンタドライバの設定より優先されることがあります。
- アプリケーションで表示される『用紙設定』の項目は、アプリケーションによって異なる場合があります。各アプリケーションのマニュアルの印刷方法の項目を参照してください。
- 性能向上のために、プリンタドライバの機能の一部が変更されることがあります。詳細はオンラインヘルプをご覧ください。
- プリンタドライバで設定した用紙サイズと、プリンタにセットされている用紙サイズは、必ず同じサイズにしてください。

注）バージョンアップなどにより、プリンタドライバの内容と本書の記載が異なる場合があります。

❷ Windows 98から印刷します。
印刷方法はアプリケーションによって異なります。
詳しくは、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

●ガイド●

- ギザギザのないきれいな文字を印刷するために、MS 明朝、MS ゴシックなどの True Type アウトラインフォントを指定してください。
- Windows からの印刷を中止した直後に DOS のアプリケーションからの印刷を行おうとすると、ESC/P による印刷が正常に行えない場合があります。このような場合にはプリンタの電源を入れ直してください。

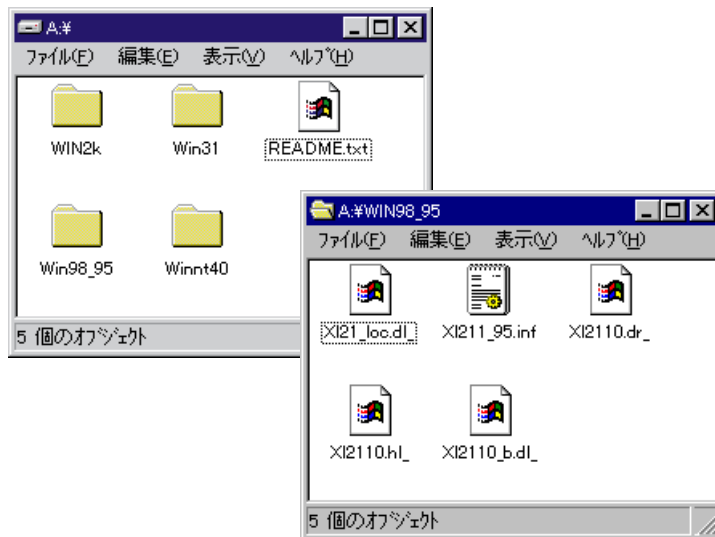
Windows 95 から印刷する

●プリンタドライバの動作環境

Windows 95 日本語版の動作するパーソナルコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC-9821 シリーズで IEEE1284 に準拠した双方向パラレルポートをサポートしている機種
486DX2 66MHz/RAM 16MB 以上
ハードディスクの空き 16MB 以上（スプールに使用）
快適な印刷環境を得るために、Pentium 133MHz 以上 /RAM 32MB 以上を推奨します。

●ガイド●

Windows 95英語版では動作しません。

●プリンタドライバディスクの構成

●ガイド●

- README.TXTには、プリンタドライバを使用する上で、最新の注意事項が記述されています。インストール前に必ずお読みください。
- 拡張子が .dll、.drv のファイルは隠しファイルになっているため、ウィンドウに表示されない場合があります。

◆プリンタドライバをインストールする

説明の中では、フロッピィディスクドライブは、A：ドライブを例に、インストールするものとします。

お願い

- 『プリンタ』フォルダに『XL-2110』がすでに登録されている場合は、『XL-2110』のアイコンを右クリックし、『削除』を行ってからセットアップしてください。
- すでにWindows 95が起動している場合は、再起動してください。

❶ プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源をオンにしてから、Windows 95を起動します。

❷ 新しいハードウェアが検出されます。

お願い

- 新しいハードウェアが検出されない場合は、『プリンタの追加ウィザード』からセットアップしてください。『マイコンピュータ』→『プリンタ』→『プリンタの追加』アイコンをダブルクリックして、画面の指示に従ってセットアップを進めてください。
- 出力ポートはLPT1を選択してください。COMポートはサポートしていません。

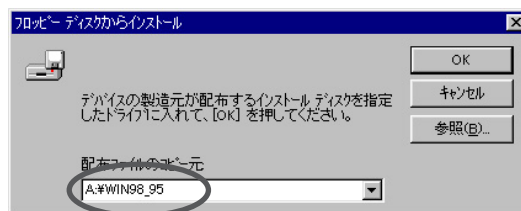
❸ プリンタドライバをインストールします。
次の画面が表示されている場合は①　に進みます。

次の画面が表示されている場合は ③ に進みます。

① 『新しいハードウェア』ダイアログが表示されたら、『ハードウェアの製造元が提供するドライバ』を選択し、『OK』をクリックします。

② プリンタドライバディスクをセットし、配布ファイルのコピー元に「A:\WIN98_95」と入力して、『OK』をクリックします。

●ガイド●

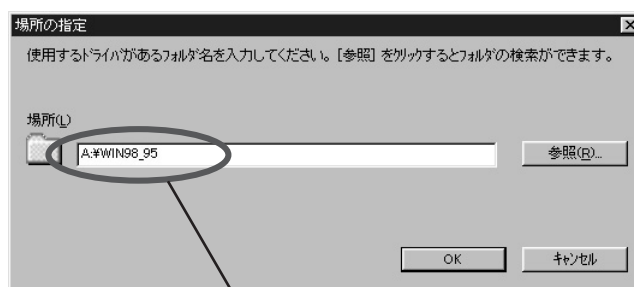
NEC Windows ではフロッピードライブが B:¥ の場合があります。

❹ に進んでください。

③『デバイスドライバウィザード』ダイアログが表示されたら、『次へ』をクリックします。

④　プリンタドライバディスクをセットし、『場所の指定』をクリックします。

⑤　場所に「A:\WIN98_95」と入力して、『OK』をクリックします。

●ガイド●

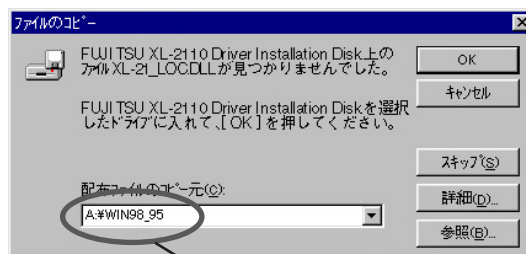
NEC Windows ではフロッピードライブが B:¥ の場合があります。

❹　以降、プリンタウィザードの指示に従って設定をします。

① プリンタの名前を設定し、『はい』をクリックします。

② 『完了』をクリックします。

③ ファイルのコピー元に「A:\WIN98_95」と入力して、『OK』をクリックします。この画面は表示されない場合があります。

●ガイド●

NEC Windowsではフロッピードライブが B:¥の場合があります。

❺ インストールが終了すると、プリンタのアイコンが表示されます。

◆印刷条件を設定する

❶　用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法を設定します。

使用する用紙サイズなどの設定は、『マイコンピュータ』→『プリンタ』→『XL-2110』アイコンを右クリックし、『プロパティ』で設定します。
詳細は、プリンタドライバの機能（89 ページ）を参照します。

●ガイド●

- 設定は、Windows での設定が優先され、プリンタのオペレータパネルの設定は無視されます。
- アプリケーションによっては、アプリケーションでの設定が、プリンタドライバの設定より優先されることがあります。
- アプリケーションで表示される『用紙設定』の項目は、アプリケーションによって異なる場合があります。各アプリケーションのマニュアルの印刷方法の項目を参照してください。
- 性能向上のために、プリンタドライバの機能の一部が変更されることがあります。詳細はオンラインヘルプをご覧ください。
- プリンタドライバで設定した用紙サイズと、プリンタにセットされている用紙サイズは、必ず同じサイズにしてください。

注）バージョンアップなどにより、プリンタドライバの内容と本書の記載が異なる場合があります。

❷ Windows 95から印刷します。
印刷方法はアプリケーションによって異なります。
詳しくは、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

●ガイド●

- ギザギザのないきれいな文字を印刷するために、MS明朝、MSゴシックなどのTrue Typeアウトラインフォントを指定してください。
- Windowsからの印刷を中止した直後にDOSのアプリケーションからの印刷を行おうとすると、ESC/Pによる印刷が正常に行えない場合があります。このような場合にはプリンタの電源を入れ直してください。

Windows 3.1 から印刷する

●プリンタドライバの動作環境

MS-DOS 上で動作する Windows 3.1 日本語版エンハンスドモードの動作するパーソナルコンピュータ

IBM PC/AT 互換機、PC-98 シリーズで IEEE1284 に準拠した双方向パラレルポートをサポートしている機種

486DX2 66MHz/RAM 8MB 以上

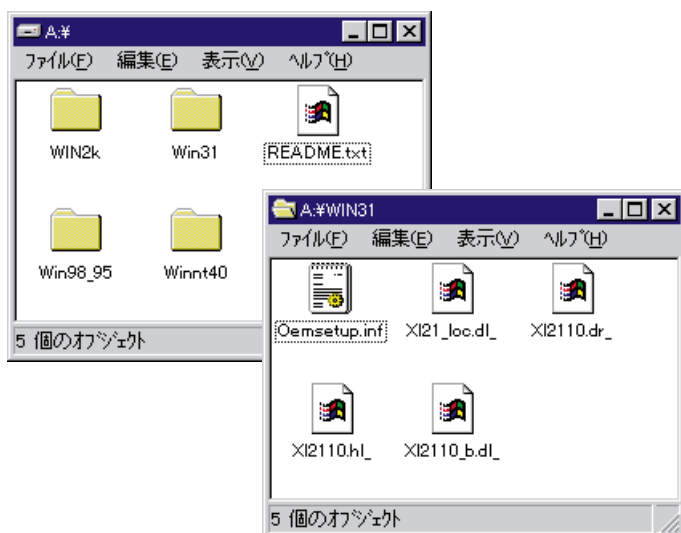
ハードディスクの空き 16MB 以上（スプールに使用）

快適な印刷環境を得るために、Pentium 133MHz 以上／ RAM 16MB 以上を推奨します。

●ガイド●

- Windows 3.1は、最新バージョンにアップデートすることをお勧めします。
- Windows 3.1英語版では動作しません。

●プリンタドライバディスクの構成

●ガイド●

- README.TXT には、プリンタドライバを使用する上で、最新の注意事項が記述されています。必ずお読みください。
- プリンタに添付されているフロッピィディスクは 1.44MBです。1.2MB のドライブで使用するときは、1.2MB のフロッピィにコピーしてからご使用ください。

◆プリンタドライバをインストールする

説明の中では、フロッピィディスクドライブは、Ａ：ドライブを例に、インストールするものとします。

お願い

FUJITSU XL-2110がすでに登録されている場合は、一旦削除して、コンピュータを再起動してからセットアップしてください。

❶ Windows 3.1を起動します。

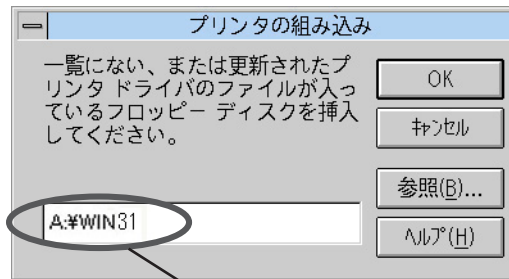
❷ 『コントロールパネル』の『プリンタ』をダブルクリックします。

❸ 『追加（A)』をクリックします。

① 『追加（A)』を選択します。

② 『一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み』を選択し、『組み込み(I) ...』をクリックします。

❹　フロッピーディスクから、プリンタドライバをインストールします。

①　プリンタドライバディスクをセットし、「A:\WIN31」と入力して『ＯＫ』をクリックします。

②　『FUJITSU XL-2110』を選択し、『ＯＫ』をクリックします。

❺　通常使うプリンタに設定します。

①　『組み込まれているプリンタ（P）』の『FUJITSU XL-2110-LPT1』をクリックします。

②　『通常使うプリンタとして設定（E）』をクリックします。

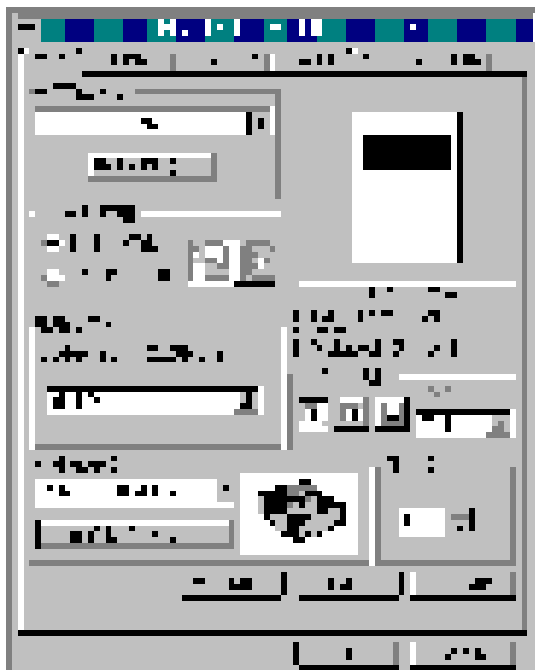
❻　コントロールパネルを終了します。

◆印刷条件を設定する

❶　用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法を設定します。
使用する用紙サイズなどの設定は、『コントロールパネル』の『プリンタ』を選択し、『設定 (S) 』をクリックして設定します。
詳細は、プリンタドライバの機能（89 ページ）を参照します。

●ガイド●

- 設定は、Windows での設定が優先され、プリンタのオペレータパネルの設定は無視されます。
- アプリケーションによっては、アプリケーションでの設定が、プリンタドライバの設定より優先されることがあります。
- アプリケーションで表示される『用紙設定』の項目は、アプリケーションによって異なる場合があります。各アプリケーションのマニュアルの印刷方法の項目を参照してください。
- 性能向上のために、プリンタドライバの機能の一部が変更されることがあります。詳細はオンラインヘルプをご覧ください。
- プリンタドライバで設定した用紙サイズと、プリンタにセットされている用紙サイズは、必ず同じサイズにしてください。

注）バージョンアップなどにより、プリンタドライバの内容と本書の記載が異なる場合があります。

❷ Windows 3.1から印刷します。
印刷方法はアプリケーションによって異なります。
詳しくは、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

●ガイド●

- ギザギザの無いきれいな文字を印刷するために、MS明朝、MSゴシックなどのTrue Typeアウトラインフォントを指定してください。
- Windowsからの印刷を中止した直後にDOSのアプリケーションからの印刷を行おうとすると、ESC/Pによる印刷が正常に行えない場合があります。このような場合にはプリンタの電源を入れ直してください。

Windows 2000 から印刷する

●プリンタドライバの動作環境

Windows 2000 Professional 日本語版もしくは Windows 2000 Server 日本語版の動作するパーソナルコンピュータ

IBM PC/AT 互換機、PC-9821 シリーズで IEEE1284 に準拠した双方向パラレルポートをサポートしている機種

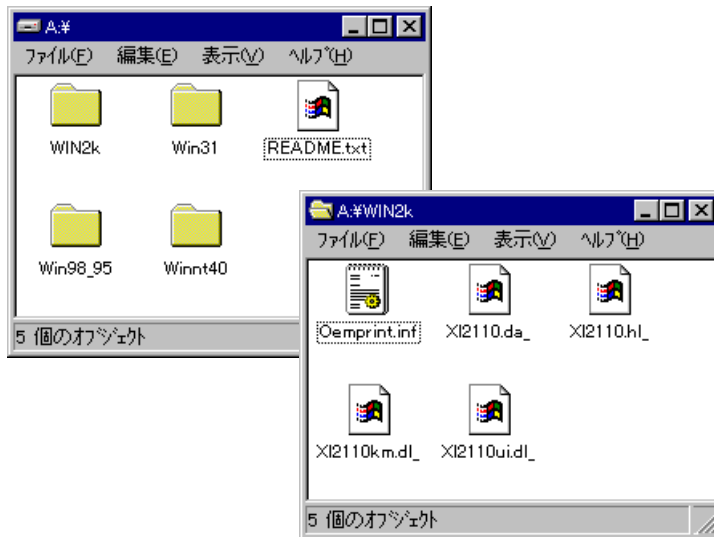
Pentium 133MHz/RAM 32MB 以上

ハードディスクの空き 20MB 以上（スプールに使用）

快適な印刷環境を得るために、Pentium 166MHz 以上 /RAM 64MB 以上を推奨します。

●ガイド●

Windows 2000英語版では動作しません。

●プリンタドライバディスクの構成

●ガイド●

- README.TXT には、プリンタドライバを使用する上で、最新の注意事項が記述されています。インストール前に必ずお読みください。
- 拡張子が .dll、.drv のファイルは隠しファイルになっているため、ウィンドウに表示されない場合があります。

◆プリンタドライバをインストールする

説明の中では、フロッピィディスクドライブは、Ａ：ドライブを例に、インストールするものとします。

お願い

『プリンタ』フォルダに『XL-2110』がすでに登録されている場合は、『XL-2110』のアイコンを右クリックして『削除』を行い、コンピュータを再起動してからセットアップしてください。

---

❶ プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源をオンにしてから、Windows 2000を起動します。

お願い

ログインは、管理者グループのメンバーで行ってください。

---

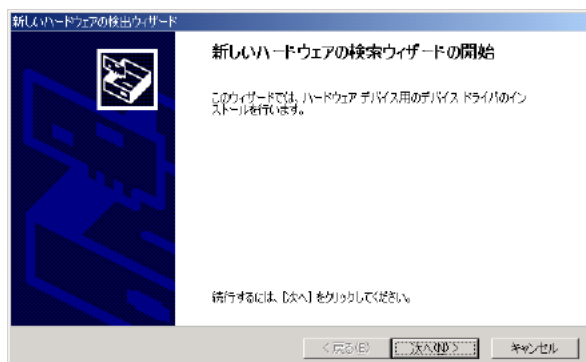
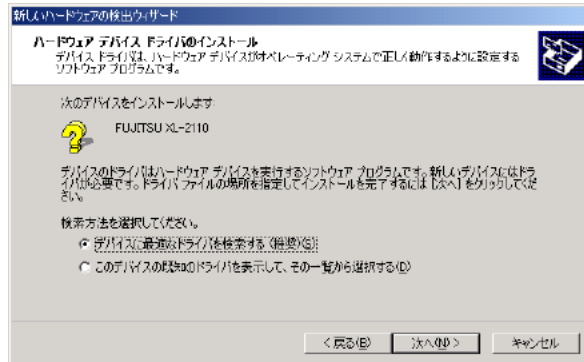
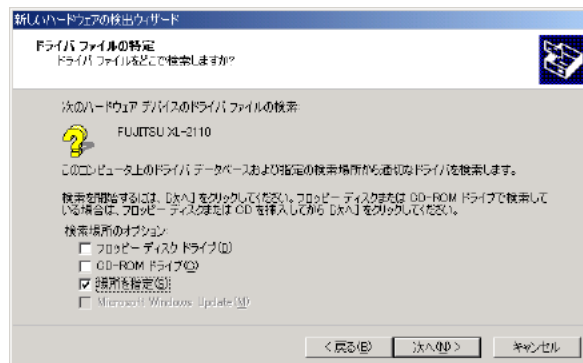
❷ 新しいハードウェアが検出されます。

お願い

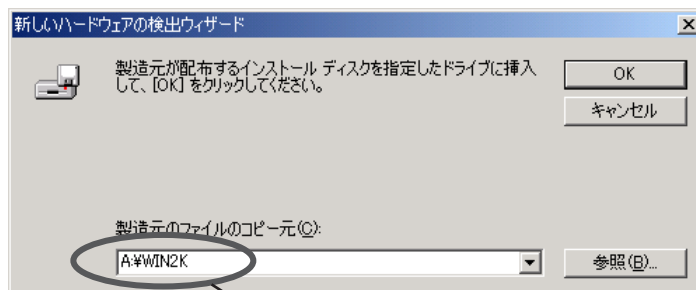
- 新しいハードウェアが検出されない場合は、『プリンタの追加ウィザード』からセットアップしてください。『マイコンピュータ』→『コントロールパネル』→『プリンタ』→『プリンタの追加』アイコンをダブルクリックして、画面の指示に従ってセットアップを進めてください。
- 出力ポートはLPT1を選択してください。COMポートはサポートしていません。

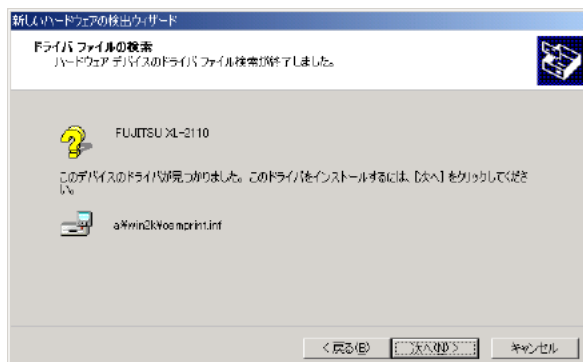
---

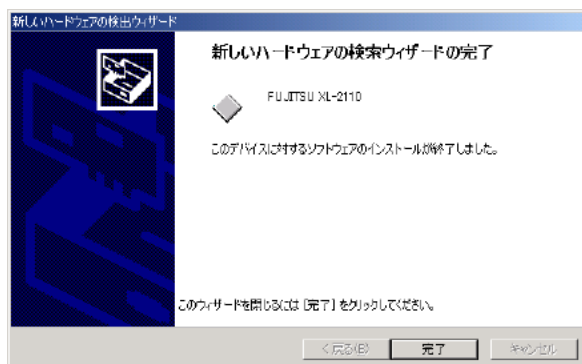
❸ プリンタドライバをインストールします。

① 『新しいハードウェアの検出ウィザード』ダイアログが表示されたら、『次へ』をクリックします。

② 『デバイスに最適なドライバを検索する（推奨)』を選択し、『次へ』をクリックします。

③ プリンタドライバディスクをセットし、『フロッピーディスクドライブ』および『CD-ROM ドライブ』のチェックを外し、『場所を指定』を選択後、『次へ』をクリックします。

④ 『製造元のファイルのコピー元』に「A:\WIN2K」と入力して、『 OK』をクリックします。

●ガイド●

NEC Windows ではフロッピードライブが B:¥ の場合があります。

❹　以降、プリンタウィザードの指示に従って設定をします。

①　ドライバが検出されたら、『次へ』をクリックします。

②　『デジタル署名が見つかりませんでした』という警告が表示されたら、『はい』をクリックします。

③　『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面が表示されたら、『完了』をクリックします。

❺　インストールが終了すると、プリンタのアイコンが表示されます。

◆印刷条件を設定する

❶　用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法を設定します。

使用する用紙サイズなどの設定は、『マイコンピュータ』→『コントロールパネル』→『プリンタ』→『XL-2110』アイコンを右クリックし、『印刷設定』で設定します。詳細は、プリンタドライバの機能（89 ページ）を参照します。

●ガイド●

- 設定は、Windows での設定が優先され、プリンタのオペレータパネルの設定は無視されます。
- アプリケーションによっては、アプリケーションでの設定が、プリンタドライバの設定より優先されることがあります。
- アプリケーションで表示される『用紙設定』の項目は、アプリケーションによって異なる場合があります。各アプリケーションのマニュアルの印刷方法の項目を参照してください。
- 性能向上のために、プリンタドライバの機能の一部が変更されることがあります。詳細はオンラインヘルプをご覧ください。
- プリンタドライバで設定した用紙サイズと、プリンタにセットされている用紙サイズは、必ず同じサイズにしてください。

注）バージョンアップなどにより、プリンタドライバの内容と本書の記載が異なる場合があります。

❷ Windows 2000から印刷します。
印刷方法はアプリケーションによって異なります。
詳しくは、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

●ガイド●

- ギザギザのないきれいな文字を印刷するために、MS 明朝、MS ゴシックなどの True Type アウトラインフォントを指定してください。
- Windows からの印刷を中止した直後に DOS のアプリケーションからの印刷を行おうとすると、ESC/P による印刷が正常に行えない場合があります。このような場合にはプリンタの電源を入れ直してください。

Windows NT4.0 から印刷する

●プリンタドライバの動作環境

Windows NT Server 4.0 日本語版もしくは Windows NT Workstation 4.0 日本語版の動作するパーソナルコンピュータ

IBM PC/AT 互換機、PC-9821 シリーズで IEEE1284 に準拠した双方向パラレルポートをサポートしている機種

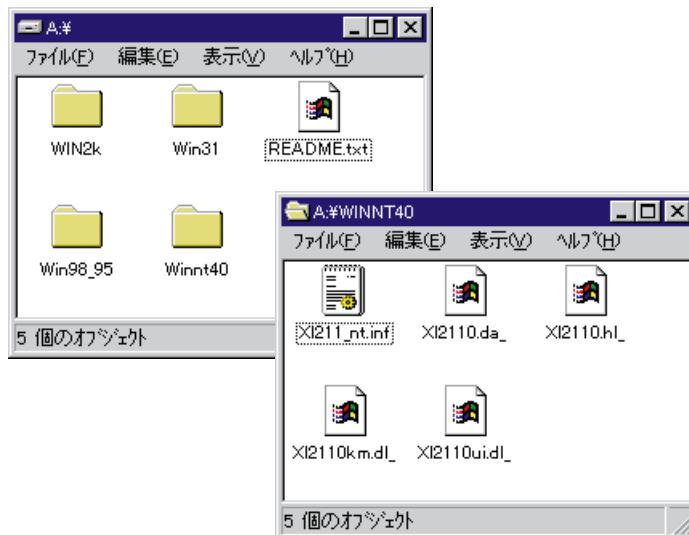
Pentium 90MHz/RAM 32MB 以上

ハードディスクの空き 20MB 以上（スプールに使用）

快適な印刷環境を得るために、Pentium 133MHz 以上／ RAM 64MB 以上を推奨します。

●ガイド●

Windows NT4.0 英語版では動作しません。

●プリンタドライバディスクの構成

●ガイド●

- README.TXT には、プリンタドライバを使用する上で、最新の注意事項が記述されています。インストール前に必ずお読みください。
- 拡張子が .dll、drv のファイルは隠しファイルになっているため、ウィンドウに表示されない場合があります。

◆プリンタドライバをインストールする

説明の中では、フロッピィディスクドライブは、A：ドライブを例に、インストールするものとします。

お願い

『プリンタ』フォルダに『XL-2110』がすでに登録されている場合は、『XL-2110』のアイコンを右クリックし、『削除』を行ってからセットアップしてください。

❶ Windows NT4.0を起動し、管理者グループのメンバーとしてログインします。

❷ プリンタウィザードを起動します。
『マイコンピュータ』→『プリンタ』→『プリンタの追加』で起動します。

❸ プリンタドライバをインストールします。
① 『このコンピュータ』をチェックし［次へ］をクリックします。
② ポートを選び［次へ］をクリックします。

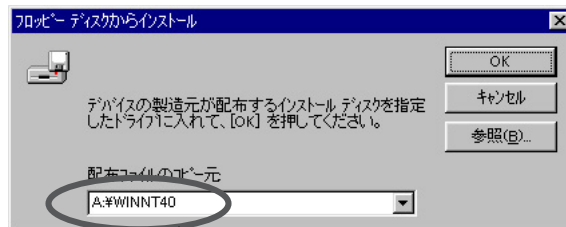
お願い

出力ポートは LPT1 を選択してください。COM ポートはサポートしていません。

③ ［ディスク使用］をクリックします。

④　プリンタドライバディスクをセットし、「配布ファイルのコピー元」に「A:\WINNT40」と入力して「ＯＫ」をクリックします。

●ガイド●

NEC Windowsではフロッピードライブが B:\ の場合があります。

❹　引き続き、プリンタウィザードの指示にしたがって、適切な項目を選びます。

①　プリンタの名前を設定し、『はい』をクリックします。

②　『次へ』をクリックします。

③　『共有しない』をクリックします。

④　『次へ』をクリックします。

⑤　必要に応じてテスト印刷の設定を変更します。
⑥『完了』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

---

❺ インストールが終了すると、プリンタのアイコンが表示されます。

テストページを選択した場合はテストページが正しく印刷されたら『はい』をクリックし、インストールを終了します。

◆印刷条件を設定する

❶　用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法を設定します。

使用する用紙サイズなどの設定は、『プリンタ』ウィンドウからドライバアイコンをクリックし、『ファイル』メニューの『ドキュメントの既定値』で設定します。

詳細は、プリンタドライバの機能（89 ページ）を参照します。

●ガイド●

- 設定は、Windows での設定が優先され、プリンタのオペレータパネルの設定は無視されます。
- アプリケーションによっては、アプリケーションでの設定が、プリンタドライバの設定より優先されることがあります。
- アプリケーションで表示される『礦紙設定』の項目は、アプリケーションによって異なる場合があります。各アプリケーションのマニュアルの印刷方法の項目を参照してください。
- 性能向上のために、プリンタドライバの機能の一部が変更されることがあります。詳細はオンラインヘルプをご覧ください。
- プリンタドライバで設定した用紙サイズと、プリンタにセットされている用紙サイズは、必ず同じサイズにしてください。

注）バージョンアップなどにより、プリンタドライバの内容と本書の記載が異なる場合があります。

❷ Windows NT4.0から印刷します。
印刷方法はアプリケーションによって異なります。
詳しくは、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

●ガイド●

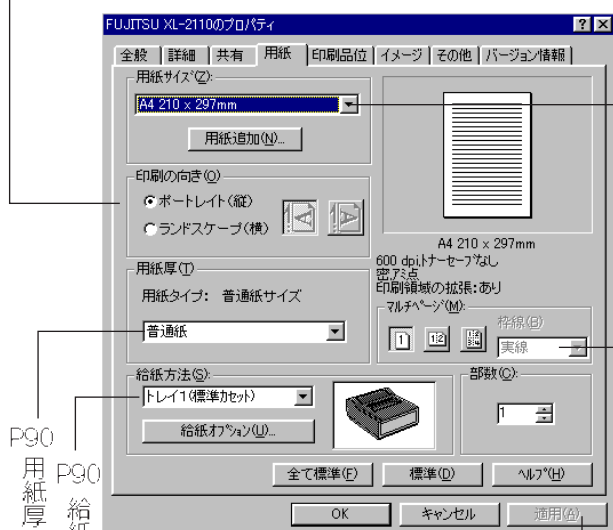
- ギザギザのないきれいな文字を印刷するために、MS 明朝、MS ゴシックなどの True Type アウトラインフォントを指定してください。
- Windows からの印刷を中止した直後に DOS のアプリケーションからの印刷を行おうとすると、ESC/P による印刷が正常に行えない場合があります。このような場合にはプリンタの電源を入れ直してください。

プリンタドライバの機能

Windows Me/98/95 用プリンタドライバを例に説明します。詳細は「ヘルプ」をご覧ください。

◆用　紙

印刷の向き
印刷する用紙方向を指定します。

用紙サイズ
用紙サイズを選択します。
一覧にない用紙サイズは用紙追加ボタンをクリックして追加できます。

P90 用紙厚へ

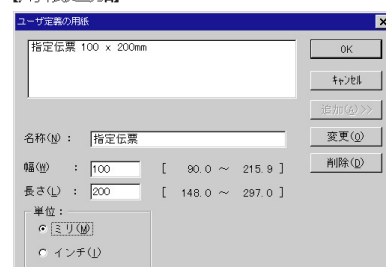
P90 給紙方法へ

設定を更新します。
Windows Me/95/98/2000の場合のみ表示されます。

マルチページ
1 枚の用紙に複数のページを縮小して印刷します。

●ガイド●

A3→A4、B4→A4を選択した場合は、印刷可能領域（余白領域）が変化します。

【用紙追加】

ユーザ定義サイズを設定します。
ここで定義された用紙は用紙サイズ一覧の最後尾に追加されます。追加できる用紙の数は、32までです。

●ガイド●

- マルチページは次の用紙が選択されている場合に有効です。
  A4、A5、A6、B5、レター、エグゼクティブ、往復はがき
- この機能は、1ページの印刷領域内に2ページまたは、4ページ分のデータを縮小して印刷しているだけで、用紙の中央が正確に合わない場合があります。印刷可能領域（余白領域）が多少異なります。綴じ代などについても考慮されておりませんのでご了承ください。
- 枠線は印刷用紙の印刷可能範囲いっぱいに描画されますが、1枚の用紙に印刷される各ページの印刷可能範囲は、枠線と等しくありません。
- 1ページに4ページ分の印刷を行う場合、ポートレート（縦）とランドスケープ（横）でページ配置が異なります。

●ガイド●

A5より小さい用紙に印刷するときは、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上に向けて排紙する」（40ページ）参照）

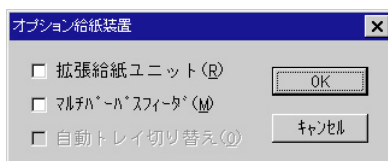
用紙厚
印刷する用紙の厚さを選択します。

給紙方法
給紙方法を選択します。
トレイ２（拡張給紙ユニット）とMPF（マルチパーパスフィーダ：給紙トレイ）はオプションのため通常は表示されません。

●ガイド●

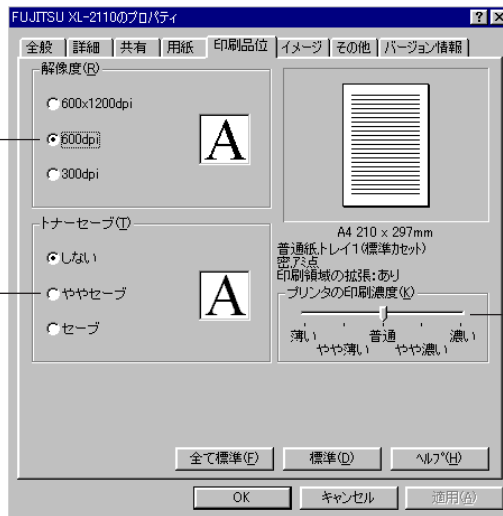
- 用紙サイズを選択すると、自動的に最適な用紙厚が選択されます。印刷した用紙にしわが生じるときは、「薄い紙」の方へ、トナーの定着が悪いときは「厚い紙」の方へ設定を変えてください。変更した結果は記憶されます。出荷時の最適値に戻すには「標準」ボタンをクリックしてください。
- 〔用紙タイプ〕は、用紙サイズで選択されている用紙のタイプを表示します。
  ユーザにより設定される用紙厚は、表示されている用紙タイプに含まれる全ての用紙サイズに対して有効となります。

普通紙サイズ	A4、A5、A6、B5、レター、エグゼクティブ、A3→A4、B4→A4、追加された用紙
はがきサイズ	はがき、往復はがき

［給紙オプション］

拡張給紙ユニット、給紙トレイを装着した場合、チェックを付けてください。
「自動トレイ切り替え」は、各トレイの用紙がなくなった場合に、別のトレイから自動的に給紙を行う機能です。
各トレイには同じサイズの用紙を入れておく必要があります。
ただし、拡張給紙ユニットで使用できるサイズの用紙に限られます。
また、拡張給紙ユニット、給紙トレイを装着していない場合、給紙方法が手差しの場合は設定できません。

◆印刷品位

解像度
解像度を選択します。

プリンタの印刷濃度
印刷する濃さを調節します。
〔薄い〕から〔濃い〕までの5段階を設定します。

トナーセーブ
印刷に使用するトナーを節約して印刷します。

●ガイド●
トナーセーブの設定時には、印刷品質は保証できませんのでご注意ください。

●解像度について●

・オートマティックフォールダウン（自動解像度調整）機能
　プリンタドライバで〔600×1200dpi〕または〔600dpi〕に設定した場合、複雑なグラフィックや写真などのイメージ、細かな文字を多く使用したページを印刷すると、まれにプリンタのメモリが不足することがあります。このような場合、メモリ不足を予測して、複雑なページに対して自動的に解像度を調整して印刷するオートマティックフォールダウン機能が働きます。
　複数のページを印刷した場合、オートマティックフォールダウン機能が働くのはメモリの不足が予測されるページのみであり、それ以外のページは設定した解像度で印刷されます。

・「メモリオーバーフロー」エラーが発生するとき
　プリンタドライバで〔600×1200dpi〕に設定した場合、ごくまれにオペレータパネルに「メモリオーバーフロー」と表示されて印刷ができなくなる場合があります。
　このような場合は、プリンタドライバの設定を〔600dpi〕または〔300dpi〕に手動で設定して印刷してください。

・罫線が印刷されないとき
　プリンタドライバで〔600×1200dpi〕に設定した場合、罫線が細すぎて印刷されない場合があります。
　このような場合は、罫線を太くするか、プリンタドライバの設定を〔600dpi〕または〔300dpi〕に手動で設定してください。

◆イメージ

ディザリング
ディザリングとは、中間色をドットの組み合わせで表現することです。選んだディザリングの設定によって、グラフィックイメージがどの程度に細かく印刷されるかが決まります。

白以外を黒にする
白以外の色で設定された文字やグラフィックをディザリングせずに黒色にします。

明暗の調整
ブライトネスにより印刷結果全体の明るさを、コントラストにより印刷結果の明暗の差を調節します。

印刷効果
左右反転（横反転）、上下反転（縦反転）、白黒反転（パターン反転）を行い印刷します。

拡大・縮小
25%～400%の間で拡大・縮小できます。拡大するときは100より大きな値を、縮小するときは100未満の値を入力します。
拡大・縮小率を設定するときは、一覧を「なし」から「カスタム」に変更してください。

一覧には、あらかじめ用意されている拡大・縮小率を用紙サイズで表現したリストが表示され、このリストから拡大・縮小率を指定できます。たとえば、「A5→A4」を選択するとA5サイズの文書をA4サイズに拡大して印刷するのに適した拡大・縮小率となります。なお、用紙サイズは変更されませんので必要に応じて印刷する用紙サイズを設定してください。
拡大・縮小率にかかわらず、印刷に使われる用紙の領域は変わりません。そのため、縮小すると用紙にたくさんの情報が印刷されます。拡大すると、用紙に印刷される情報が少なくなります。印刷される合計ページ数は、文書のサイズと設定した拡大・縮小率によって決まります。

●ガイド●

・この機能は印刷データを拡大・縮小するもので、用紙サイズは変更されませんので必要に応じて印刷する用紙サイズを設定してください。拡大・縮小により、印刷可能領域（余白領域）も変化します。
・アプリケーションによっては予期しない結果になる場合があります。正しく印刷できないときは、「なし」に設定してください。

●ガイド●

「解像度」、「ディザリングのパターン」、「ディザリングの密度」、「明暗の調整」の設定によって、文書のグラフィックスの印刷結果が総合的に決まります。場合によっては、希望する結果が得られるまで、これらの項目にいろいろな設定をしてみる必要があります。

◆その他

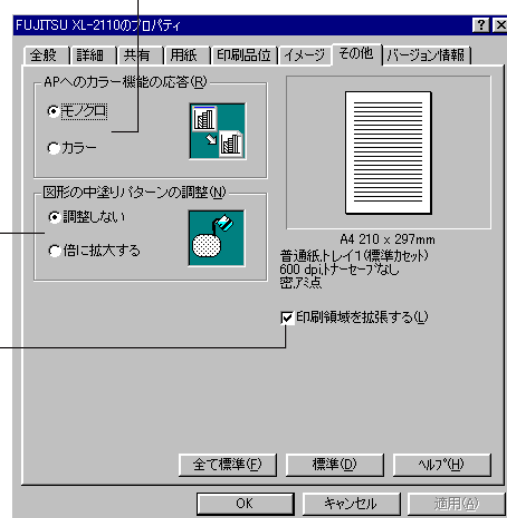
図形の中塗りパターンの調整
ハッチブラシ、パターンブラシを使用した場合の密度を選択します。中塗りのパターンは、カラー表現のディザリングとは異なります。

●調整しない
解像度に関係なくハッチブラシ、パターンブラシのパターンは、そのまま使います。

●倍に拡大する
解像度に関係なくハッチブラシ、パターンブラシのパターンは、倍にして使います。

APへのカラー機能の応答
プリンタのカラー処理情報を調べて、カラーデータの処理を変えるアプリケーションの為の設定です。ディスプレイの表示に近い印刷結果を得るために使います。
通常はモノクロを選択してください。

●ガイド●

解像度が600×1200dpiのときには、この設定は印刷結果に反映されません。

印刷領域を拡張する
チェックボックスが有効（チェックする）な場合（デフォルト）は、上下左右の余白サイズは5.08mmとなります。またチェックボックスが無効（チェックを外す）な場合は、上端／左端の余白サイズは6.5mm、下端／右端の余白サイズは7.0mmとなります。

●ガイド●

・XL-1200やXL-1200EドライバのV1.0.0版、XL-2110ドライバのV1.1.2版以前と同じ印刷領域仕様で利用する場合は、印刷領域の拡張なし(チェックを外す)としてください。
　また、XL-1510やXL-2500、GLシリーズプリンタ、XLシリーズのA3機プリンタと同じ印刷領域仕様で利用する場合はデフォルト状態(チェックを行う)でそのままご使用ください。

・各タブ上にある〔全て標準〕〔標準〕ボタンの操作により本機能の設定状態が標準に戻ることはありません。
　上記利用方法に合わせてドライバのインストール直後に１回だけ設定を実施することをお奨めします。

・余白領域に指定されたデータに対しては印刷結果が保証されません。
　余白サイズをアプリケーション側で設定可能な場合は、本装置の余白サイズ以上の値を設定してご使用ください。

DOSから印刷する

◆プリンタの設定をする

DOS環境で印刷するときは、ESC/Pモードを使用します。プリンタドライバのセットアップは必要ありません。アプリケーション上で、プリンタ名を選択します。

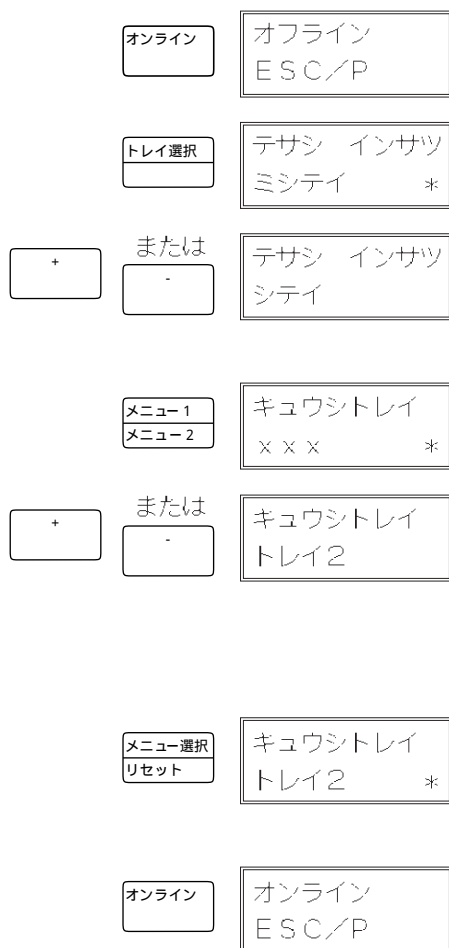
❶ プリンタで給紙トレイを設定します。

オンライン
オフライン
ＥＳＣ／Ｐ

１．「オンライン」スイッチを押し、〔オフライン〕を表示します。

トレイ選択
テサシ　インサツ
ミシテイ　＊

２．「トレイ選択」スイッチを押します。

＋　または　－
テサシ　インサツ
シテイ

３．手差しで印刷する場合は、「＋」または「－」スイッチを押し、〔テサシ　インサツ　シテイ〕を表示します。
手順６に進みます。

メニュー１
メニュー２
キュウシトレイ
×××　＊

＋　または　－
キュウシトレイ
トレイ２

注　手差し以外から印刷する場合は、〔テサシ　インサツ　ミシテイ〕にメニュー確定マーク〔＊〕が表示されている必要があります。〔テサシ　インサツ　シテイ〕にメニュー確定マーク〔＊〕が表示されているときには「＋」または「－」スイッチを押し、〔テサシ　インサツ　ミシテイ〕を表示して、「メニュー選択」スイッチを押してください。

メニュー選択
リセット
キュウシトレイ
トレイ２　＊

４．トレイから印刷する場合は、「メニュー１」スイッチを押し、〔キュウシトレイ〕を表示します。
５．「＋」または「－」スイッチを押し、給紙したいトレイを表示します。

オンライン
オンライン
ＥＳＣ／Ｐ

注　オプションの拡張給紙ユニット、マルチパーパスフィーダを装着した場合に、選択できます。

６．「メニュー選択」スイッチを押し、給紙トレイを確定します。
確定するとメニュー確定マーク〔＊〕が表示されます。
７．「オンライン」スイッチを押し、〔オンライン〕表示に戻します。

❷　プリンタで用紙サイズを設定します。

1．「オンライン」スイッチを押し、〔オフライン〕を表示します。

2．「用紙選択」スイッチを押します。

3．「メニュー１」スイッチを押し、給紙するトレイを表示します。

4．「＋」または「－」スイッチを押し、使用する用紙サイズを表示します。

5．「メニュー選択」スイッチを押し、用紙サイズを確定します。
確定するとメニュー確定マーク〔＊〕が表示されます。

6．「オンライン」スイッチを押し、〔オンライン〕表示に戻します。

●ガイド●

プリンタ内に未印刷データがあるときは、リセットを行うまで設定内容の変更は反映されません。

◆アプリケーションで設定する

❶　プリンタ名を選択します。

優先順位	プリンタ名
1	ESC/P24-J84
2	VP-1000/3000

❷　プリンタと同じように、用紙サイズ、印刷方向を設定します。

❸　アプリケーションから印刷します。

●ガイド●

ESC/P モードでの解像度は 300dpiと 600dpiです。

第5章　日常のメンテナンス

この章では、用紙の補給、トナーカートリッジやプロセスカートリッジの交換のしかた、プリンタの清掃のしかたなど、日常のメンテナンスに必要なことがらについて説明します。

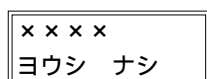
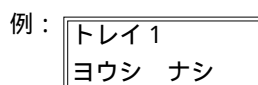
用紙の補給

選択されている給紙口に用紙がなくなると、プリンタはオフラインとなり液晶ディスプレイに次のように表示されます。該当する用紙を補給してください。

××××
ヨウシ　ナシ

（××××：給紙口）

例：

トレイ１
ヨウシ　ナシ

●用紙を補給する

「ヨウシ　ナシ」のメッセージは、次の状態のときに表示されます。

・給紙カセットがセットされていない
・給紙カセット、または給紙トレイに用紙がない

ただし、手差しトレイの場合には「ヨウシ　セット」と表示されます。
該当する用紙を補給するか、給紙カセットをセットしてください。

【給紙カセットの場合】

給紙カセットがセットされていなければ、給紙カセットをセットします。
給紙カセットの用紙がなければ、給紙カセットを取り出して用紙を補給し、セットします。（「給紙カセットへの用紙のセット」（29 ページ）参照）

【手差しトレイの場合】

手差しトレイを使用しての印刷は、１枚ごとの手差し印刷です。
用紙は１枚ずつセットしてください。（「手差しトレイおよび給紙トレイへの用紙のセット」（35 ページ）参照）

【給紙トレイ（オプション品）の場合】

給紙トレイに用紙がなければ、用紙を補給します。
一度にセットできる枚数は、官製はがきで約 50 枚、普通紙（重量 64g/m^2）で約 100 枚です。（「手差しトレイおよび給紙トレイへの用紙のセット」（35 ページ）参照）

●印刷を再開させる

用紙の補給が完了すると、プリンタはオンライン状態になります。プリンタ内に未印刷データがあり、印刷起動が行われていれば、印刷を続行します。

トナーカートリッジの交換

１本のトナーカートリッジで印刷できる枚数の目安は、Ａ４サイズの用紙で約 2,000 枚です。ただし、以下の場合、これより少ない枚数でトナーがなくなることがあります。

・印字率５％以上の場合（印刷内容による）

・新しいプロセスカートリッジに交換した直後の１本目（約半分の枚数）

液晶ディスプレイに『トナー　ロー』と表示されたら、トナーカートリッジを交換します。そのまま印刷を続けると『トナー　コウカン　シテクダサイ』を表示して、印刷を停止します。

お願い

・トナーカートリッジの交換時には、ＬＥＤヘッドの清掃を同時に行ってください。(106ページ) ＬＥＤヘッド面が汚れていると、印刷時にカスレや白いすじが入ったり、文字がにじんだりします。

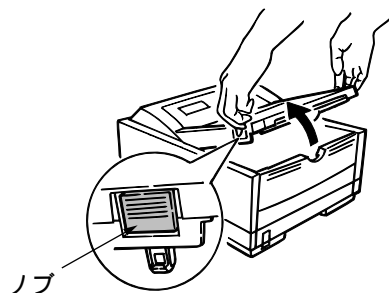
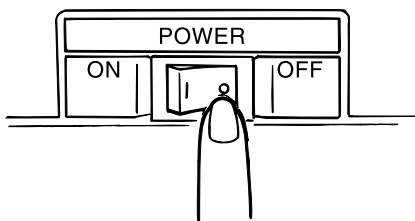
・ＬＥＤヘッドの清掃は、トナーカートリッジに添付されている、ＬＥＤレンズクリーナを使います。

◆トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換のしかたについて説明します。
以下の手順に従って交換してください。

❶　電源をＯＦＦ（○側)にし、スタッカカバーを開ける

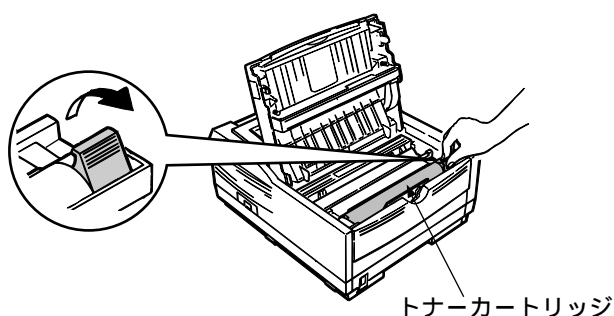
スタッカカバー両側のノブを押し、ロックを外します。そのまま静かにスタッカカバーをいっぱいに開けます。

⚠注意

やけど　スタッカカバーを開けると「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。

❷ 使用済のトナーカートリッジを取り出す

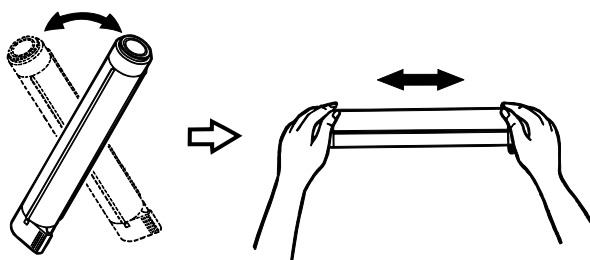
① 使用済のトナーカートリッジの右側のノブを手前（矢印方向）にいっぱいに止まるまで回します。

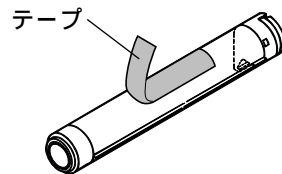
② 使用済のトナーカートリッジの右側を持ち上げ、外します。

③ 使用済みのカートリッジは、無償で回収しております。
❸で残った包装袋に包んだ状態で『エコ受付センター』（10ページ）までご連絡ください。回収便にて引き取りにうかがいます。

❸ 新しいトナーカートリッジを用意する

① 包装袋を開けて新しいトナーカートリッジを取り出します。

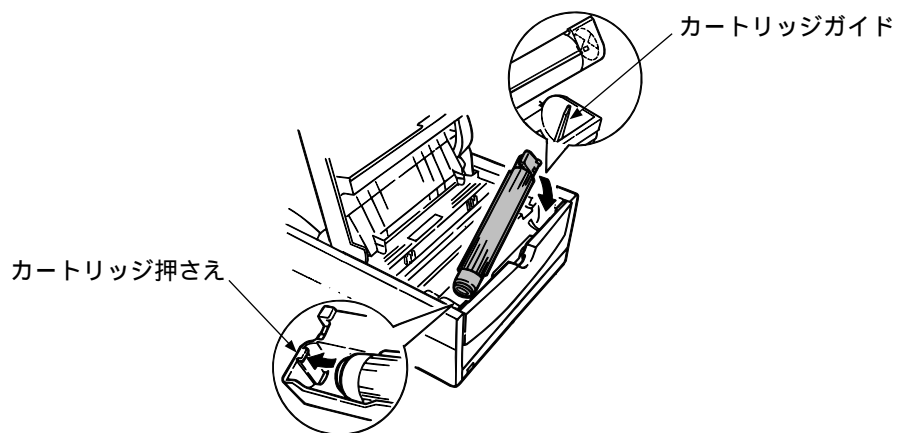
② トナーカートリッジを図のように縦と横にして、それぞれ数回振ります。

お願い

この操作は、トナーの状態を均一にするために必要です。必ず行ってください。
トナーが均一になっていないと印字品質が低下することがあります。

③ トナーカートリッジを水平にし、テープをゆっくりとはがします。

---

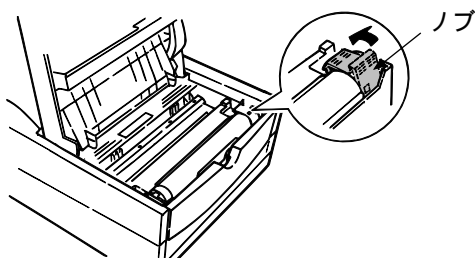
❹ トナーカートリッジをプロセスカートリッジにセットする

① テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの左側のガイドをプロセスカートリッジのカートリッジ押さえの下に差し込みます。

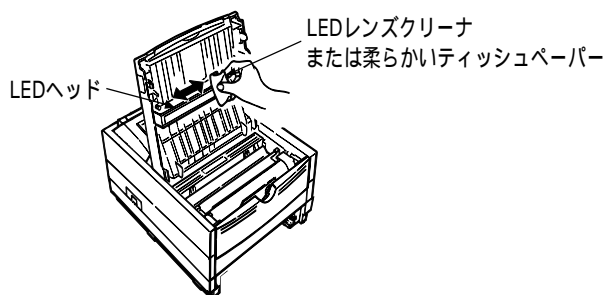
② トナーカートリッジ右側のガイド溝をプロセスカートリッジのカートリッジガイドに合わせ、しっかりと押し込みます。

---

❺　トナーカートリッジの右側のノブを回す

トナーカートリッジの右側のノブを矢印方向へいっぱいに止まるまで回します。

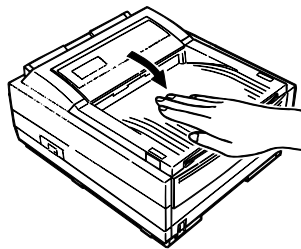
お願い

トナーカートリッジをきちんと固定してください。きちんと固定されていないと、印字品質が低下することがあります。

❻　ＬＥＤヘッドを清掃する

トナーカートリッジに添付しているＬＥＤレンズクリーナを取り出し、細長いＬＥＤヘッド面全体を軽く拭きます。

お願い

アルコールやシンナーなどの溶剤は、ＬＥＤレンズ面を痛めますのでお使いにならないでください。

❼　スタッカカバーを閉じる

スタッカカバーの中央を、『カチッ』と音がしてロックされるまで押し下げます。
両側のノブがロックされたことを確認してください。

●ガイド●

トナーカートリッジの交換または取り付け後に、「トナー　ロー」または「トナーコウカン」の表示が消えないことがありますが、故障ではありません。この場合、スタッカカバーの開閉を行い、プリンタのモータが動作後、「トナーロー」または「トナーコウカン」の表示が消えることをご確認ください。
５～６回、スタッカカバーの開閉を行い、プリンタのモータが動作しても、「トナーロー」または「トナーコウカン」表示が消えないときは、トナーカートリッジをセットし直してください。

◆トナーカートリッジの保管

トナーカートリッジを保管するときは、以下の点にご注意ください。

・ご使用になるまで開封しないでください。
・直射日光をさけ、次の温度、湿度の範囲にある場所で保管してください。
　　温度：０～35℃　　　湿度：20～85％RH
・周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所はさけてください。
・幼児の手が届かない所に保管してください。

プロセスカートリッジの交換

プロセスカートリッジ内の感光ドラムの寿命が近づくと、液晶ディスプレイに『ト゛ラム　コウカン』と表示されます。
『ト゛ラム　コウカン』と表示されたらプロセスカートリッジとトナーカートリッジを一緒に交換します。
プロセスカートリッジは、１本あたりの目安としてＡ４サイズの用紙で約 20,000 枚の印刷ができます。ただし、これは連続で印刷したときの枚数で、一度に１枚ずつ印刷する場合には、ドラムの寿命は約半分になることがあります。

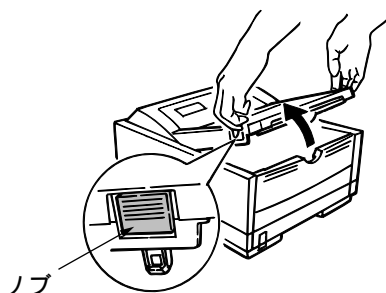
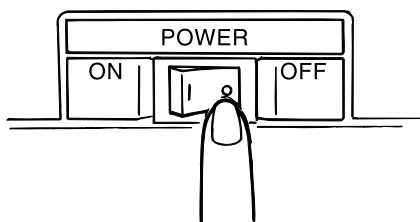
お願い

・ プロセスカートリッジの交換時には、ＬＥＤヘッドの清掃を同時に行ってください。ＬＥＤヘッド面が汚れていると、印刷時にカスレや白いすじが入ったり、文字がにじんだりします。ＬＥＤヘッドの清掃にはトナーカートリッジに添付されているＬＥＤレンズクリーナを使います。
・ プロセスカートリッジを交換した直後は、印刷がかすれる場合があります。

◆プロセスカートリッジを交換する

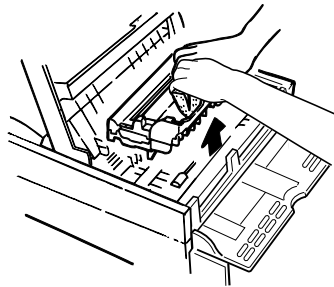
プロセスカートリッジの交換のしかたについて説明します。
以下の手順に従って交換してください。

❶ 電源をＯＦＦ（○側）にし、スタッカカバーを開ける
スタッカカバー両側のノブを押し、ロックを外します。そのまま静かにスタッカカバーをいっぱいに開けます。

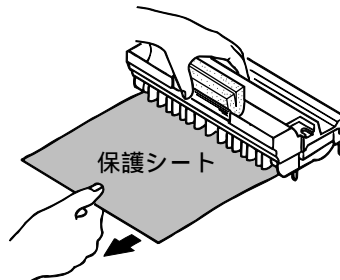
⚠注意

やけど　スタッカカバーを開けると「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。

❷ 使用済のプロセスカートリッジを取り出す

手差しトレイを開け、プロセスカートリッジを落とさないよう両手で持ち、ゆっくり取り出します。トナーカートリッジも一緒に取り出されます。プロセスカートリッジとトナーカートリッジは無償で回収しております。取り扱いについては『エコ受付センター』（10ページ）までご連絡ください。

お願い

プロセスカートリッジを取り出すときは、傾けず水平に取り出してください。

❸ 新しいプロセスカートリッジを用意する

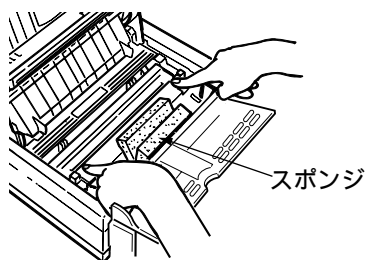
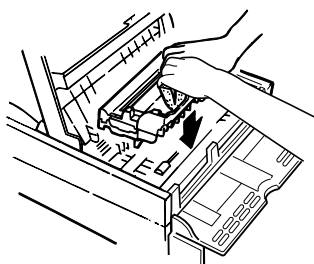
①新しいプロセスカートリッジを梱包箱から取り出します。
②平らなテーブルの上に置き、保護シートを引き抜きます。

お願い

プロセスカートリッジは光に対して非常に敏感です。交換に際しては、次の点に注意してください。

・直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明りの下でも５分以上は放置しないでください。
・感光ドラム（緑の筒）は非常に傷つきやすいため、絶対に手を触れないでください。

❹　プロセスカートリッジをセットする

①プロセスカートリッジを落とさないよう両手で持ち、プリンタに静かに載せます。
②プロセスカートリッジ上面の「PUSH」と書かれた部分（２ヵ所）を指で押します。
③プロセスカートリッジからスポンジを取り出します。
④手差しトレイを閉じます。

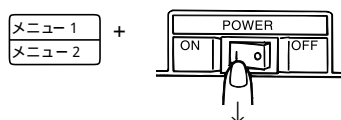
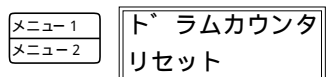
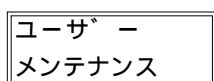
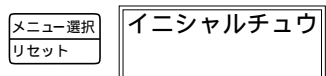
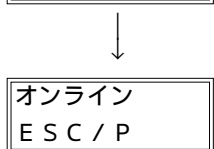
お願い

・ プロセスカートリッジをセットするときは、傾けず水平に入れてください。
・ 感光ドラム（緑の筒）は非常に傷付きやすいため、絶対に手を触れないでください。

❺　トナーカートリッジを取り付け、ＬＥＤヘッドを清掃する

トナーカートリッジを取り付け、ＬＥＤヘッドを清掃します。詳細は、「トナーカートリッジの交換」の❸〜❼（100ページ）をご覧ください。

❻　ドラムカウンタをクリアする

ドラムカウンタクリアを実行して、プロセスカートリッジを交換したことを設定します。

ドラムカウンタクリアを実行するためには、以下の操作を行ってください。

①「メニュー１」スイッチを押したまま電源をＯＮ（｜側）にします。
『ユーザーメンテナンス』が表示されたら、「メニュー１」スイッチをはなします。

②「メニュー１」スイッチを３回押し、『ドラムカウンタ　リセット』を表示します。

③「メニュー選択」スイッチを押し、ドラムカウンタクリアを実行します。

④処理が終わるとオンライン状態表示になります。

❼　「ト゛ラム　コウカン」表示が消えたことを確認する

液晶ディスプレイの「ト゛ラム　コウカン」という表示が消えたことを確認します。

お願い

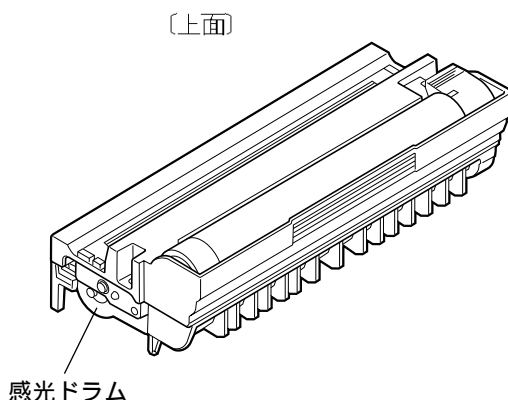
- 「ト゛ラム　コウカン」表示は、ドラムカウンタクリアを実行しないと消えません。プロセスカートリッジを交換したときは、必ずこの設定をしてください。
- プロセスカートリッジ交換時以外にこの操作をすると、交換時期が正しく表示されません。プロセスカートリッジ交換時以外は、操作しないでください。
- プロセスカートリッジを交換した後に、「トナーロー」または「トナーコウカン」の表示が消えないことがありますが、故障ではありません。この場合、スタッカカバーの開閉を行い、プリンタのモータが動作後、「トナーロー」または「トナーコウカン」の表示が消えることをご確認ください。
  ５～６回、スタッカカバーの開閉を行い、プリンタのモータが動作しても、「トナーロー」または「トナーコウカン」表示が消えないときは、トナーカートリッジをセットし直してください。

◆プロセスカートリッジの取り扱いと保管

プロセスカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

●プロセスカートリッジの取り扱い

プロセスカートリッジを取り扱うときは、以下の点にご注意ください。

・下図のように、平らなところに置いてください。

・直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上) に当てないでください。
室内の照明の下でも、５分以上放置しないでください。
・寒い場所から暖かい場所に移動させたときは、周囲の温度になじむまで（１時間程度）使用しないでください。
・感光ドラム（緑色の筒）は傷つきやすいため、触れないでください。

●プロセスカートリッジの保管

プロセスカートリッジを保管するときは、以下の点にご注意ください。

・ご使用になるまで開封しないでください。
・直射日光を避け、次の温度、湿度の範囲にある場所で保管してください。
・また、周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所は避けてください。
温度：０～ 35℃
湿度：20 ～ 85%ＲＨ
・アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所、空気中に塩分が多量に含まれている場所は避けてください。
・立てたり、裏返したりして置かないでください。
・幼児の手が届かない所に保管してください。

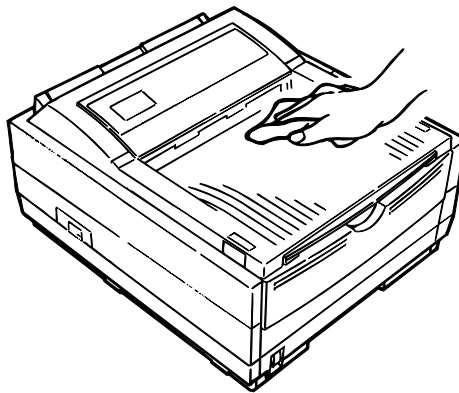
プリンタの清掃

日常の手入れが必要なプリンタ各部の清掃について説明します。

お願い

清掃に際しては、以下の点に注意してください。
・電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
・水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。
・本プリンタには油をさす必要はありません。注油はしないでください。
・定着器周辺は熱くなっていますので、電源スイッチを切ってから１時間は、定着器周辺には手を触れないでください。

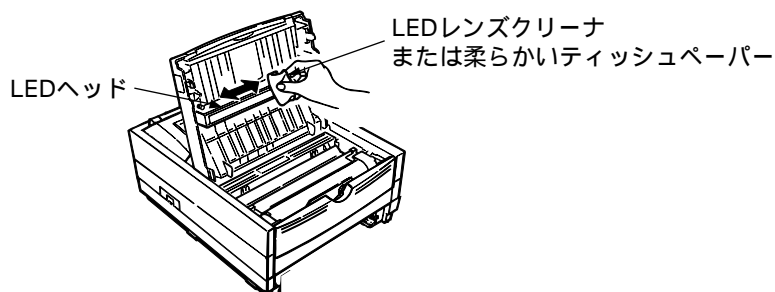
◆プリンタ表面の清掃

プリンタ表面の汚れは、水または中性洗剤を含ませてかたく絞った布で拭き取ります。そのあと、柔らかい乾いた布で拭きます。

◆プリンタ内部の清掃

入口で紙づまりが頻発するときは、以下の手順でプリンタ内部を清掃します。

❶　清掃の準備をする

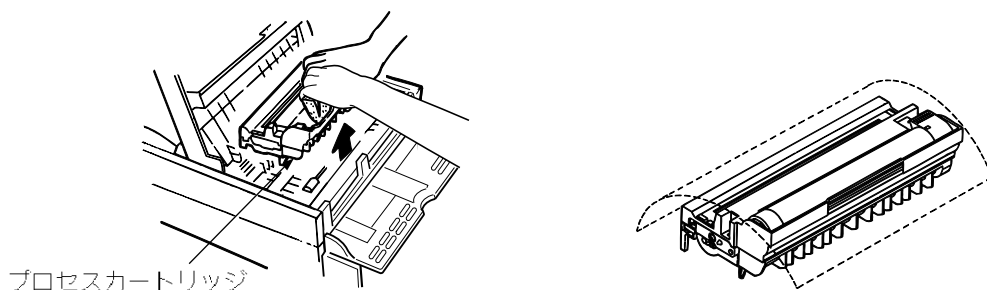
①電源をＯＦＦ（○側）にし、電源コードを抜きます。（41ページ）
②給紙カセットをプリンタから外します。（29、32ページ）
③スタッカカバー両側のノブを押し、スタッカカバーを開けます。（24ページ）

❷　ＬＥＤヘッドを清掃する

お願い

メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、ＬＥＤレンズ面を傷めますのでお使いにならないでください。

❸　プロセスカートリッジを取り出します

手差しトレイを開いて、プロセスカートリッジを落とさないよう両手で持ち、静かに取り出します。

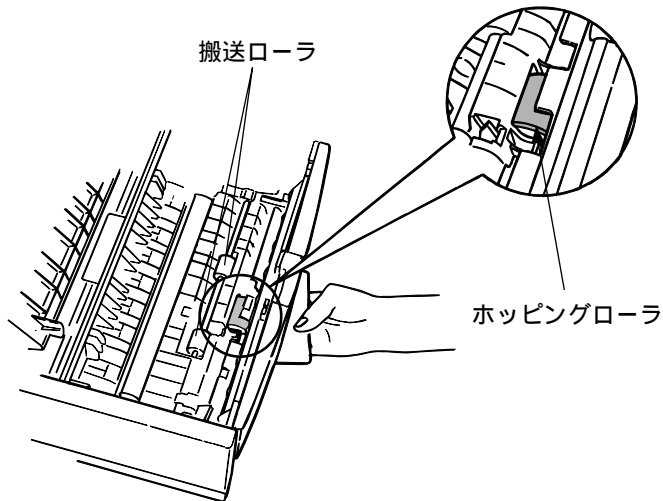
お願い

取り外したプロセスカートリッジは図のように平らな所に置き、添付のポリエチレン袋（黒）に入れるか、黒い紙などをかぶせて光が当たらないようにしてください。

❹ ホッピングローラと搬送ローラを清掃する

水を含ませてかたく絞った布で、ホッピングローラと搬送ローラの汚れを拭き取ります。

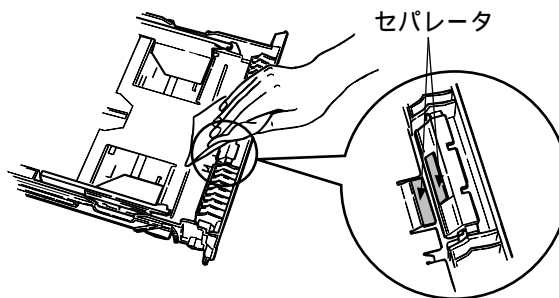
お願い

布には、水以外は使用しないでください。

ホッピングローラの清掃は、給紙カセットの取り付け口から行います。
プロセスカートリッジ取り付け部から汚れが取れたかどうかを確認してください。

❺ 給紙カセットのセパレータを清掃する

給紙カセットの用紙を取り出し、水を含ませてかたく絞った布で、セパレータを清掃します。

お願い

布をしぼる場合は、水以外は使用しないでください。

❻ プリンタを使用可能な状態にする

① プロセスカートリッジを戻し、スタッカカバーを閉じます。（99 ページ）

② 給紙カセットに用紙を戻し、プリンタに取り付けます。（31 ページ）

クリーニングページ

プロセスカートリッジ内のローラに付着した汚れを取り除きます。周期的な黒点や黒・白斑点が入る場合に行ってください。

●ガイド●

１回のクリーニングで汚れが取り除けない場合は、数回クリーニングを繰り返してください。それでも汚れが取れない時は、柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。

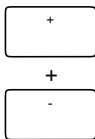
お願い

必ずA4の用紙を使用してください。

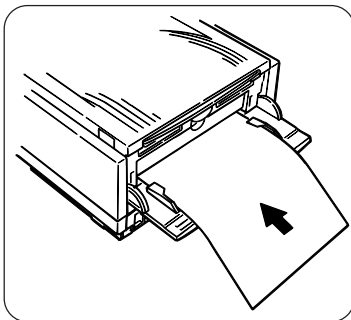
オンライン

オフライン
ＥＳＣ／Ｐ

①「オンライン」スイッチを押し、〔オフライン〕を表示します。

＋ ＋ －

クリーニング
Ａ４　サイズ

②「＋」スイッチと、「－」スイッチを同時に２秒以上押します。

「クリーニング　A4　サイズ　ヨウシセット」と表示されます。

③手差しトレイにA4用紙をセットします。

クリーニング印刷をはじめます。

オンライン

オンライン
ＥＳＣ／Ｐ

④印刷が終わったら「オンライン」スイッチを押して〔オンライン〕表示に戻します。

第６章　設定値を変える

この章では、プリンタの動作情報を設定する方法について
説明します。

メニューの設定を行う

メニューモードは、プリンタの動作情報を変えるときに行います。
設定可能なメニューモードは、クイック、レベル１、レベル２の３種類からなります。

◆クイックメニュー

① [オンライン] スイッチを押し、〔オフライン〕を表示します。

② [トレイ選択] または [用紙選択/メニュー印刷] スイッチを押します。

それぞれ、〔トレイセンタク〕カテゴリ、〔ヨウシセンタク〕カテゴリに入ります。

③ [メニュー１/メニュー２] スイッチを押し、設定する項目を表示します。

④ [＋] または [－] スイッチを押し、設定する内容を表示します。

⑤ [メニュー選択/リセット] スイッチを押し、設定したメニューを確定します。

確定するとメニュー確定マーク〔＊〕が表示されます。

⑥ [オンライン] スイッチを押し、メニューモードを終了します。

ディスプレイ表示部の網かけ部は、工場出荷時の設定です。

○：設定が有効　　×：設定は無効

カテゴリ	ディスプレイ表示		機能	ESC/P	Win
	上段	下段			
トレイセンタク	ﾃｻｼ ｲﾝｻﾂ	ｼﾃｲ	手差しトレイから印刷します	○	×
		ﾐｼﾃｲ	手差しトレイから印刷しません		
	ｷｭｳｼﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ1	給紙するトレイを選択します	○	×
		ﾄﾚｲ2	＊トレイ1、2、MPFから給紙するときは、〔テサシインサツ〕を〔ミシテイ〕にしてください。		
	注1,3)	MPF			
	ｵｰﾄ ﾄﾚｲ	ﾕｳｺｳ	オートトレイ機能を設定します	○	×
	注2)	ﾑｺｳ			
ヨウシセンタク	ﾄﾚｲ1	LETTER	トレイ1の用紙サイズを選択します	○	×
		EXEC 注5)			
		A4 ｻｲｽﾞ			
		A5 ｻｲｽﾞ			
		A6 ｻｲｽﾞ			
		B5 ｻｲｽﾞ			
		ﾌﾘｰ			

カテゴリ	ディスプレイ表示 上段	ディスプレイ表示 下段	機能	ESC/P	Win
ヨウシセンタク	ﾄﾚｲ2	LETTER	トレイ2の用紙サイズを選択します	○	×
		EXEC　注5)			
		A4　ｻｲｽﾞ			
		A5　ｻｲｽﾞ			
		B5　ｻｲｽﾞ			
	注1, 3, 4)	ﾌﾘｰ			
	ﾃｻﾞｼ	LETTER	手差しの用紙サイズを選択します	○	×
		EXEC　注5)			
		A4　ｻｲｽﾞ			
		A5　ｻｲｽﾞ			
		A6　ｻｲｽﾞ			
		B5　ｻｲｽﾞ			
		ﾌﾘｰ			
		ﾊｶﾞｷ			
		ｵｳﾌｸ			
	MPF	LETTER	給紙トレイの用紙サイズを選択します	○	×
		EXEC　注5)			
		A4　ｻｲｽﾞ			
		A5　ｻｲｽﾞ			
		A6　ｻｲｽﾞ			
		B5　ｻｲｽﾞ			
		ﾌﾘｰ			
		ﾊｶﾞｷ			
	注1)	ｵｳﾌｸ			
	ﾌﾘｰﾖｺ	90 mm	フリーサイズの横寸法を1mm単位で設定します	○	×
		～			
		210 mm			
		～			
	注4)	216 mm			
	ﾌﾘｰﾀﾃ	148 mm	フリーサイズの縦寸法を1mm単位で設定します	○	×
		～			
	注3)	297 mm			

注１）装着していない給紙機構は表示されません。

注２）〔オートトレイ〕機能は、トレイ 1、トレイ 2、MPF に同じサイズの用紙をセットした場合、現在使用しているトレイの用紙がなくなると別のトレイから印刷する機能です。オプションの拡張給紙ユニット、給紙トレイを付けたときのみ使用可能です。〔ヨウシセンタク - トレイ 1〕、〔ヨウシセンタク - トレイ 2〕、〔ヨウシセンタク -MPF〕の設定は、同じ用紙サイズにしている必要があります。

注３）トレイ 2 の縦寸法は最小 210 mm です。フリータテが 210 mm 未満に設定されているときに、〔キュウシトレイ〕をトレイ 2 に変更した場合は自動的に 210 mm に変更します。

注４）トレイ 2 の横寸法は最小 148 mm です。Windows プリンタドライバでは、用紙幅の最大は 215.9mm です。

注５）EXEC はエグゼクティブサイズを省略したものです。

◆レベル１メニュー

レベル１メニューの項目の変更は、下記の手順で行います。

① 〔オンライン〕 スイッチを押し、〔オフライン〕を表示します。

② 〔メニュー1／メニュー2〕 スイッチを押し、レベル１メニューモードに入ります。

③ 〔メニュー1／メニュー2〕 スイッチを押し、目的のカテゴリを表示します。

④ 〔メニュー選択／リセット〕 スイッチを押し、カテゴリに入ります。

⑤ 〔メニュー1／メニュー2〕 スイッチを押し、設定する項目を表示します。

⑥ 〔＋〕 または 〔−〕 スイッチを押し、設定する内容を表示します。

⑦ 〔メニュー選択／リセット〕 スイッチを押し、設定したメニューを確定します。

確定するとメニュー確定マーク〔＊〕が表示されます。

⑧ 〔オンライン〕 スイッチを押し、メニューモードを終了します。

ディスプレイ表示部の網かけ部は、工場出荷時の設定です。

カテゴリ	ディスプレイ表示		機能	ESC/P	Win
	上段	下段			
トレイ　センタク	テサシ　インサツ	シテイ	手差しトレイから印刷します	○	×
		ミシテイ	手差しトレイから印刷しません		
	キュウシトレイ	トレイ1	給紙するトレイを選択します	○	×
		トレイ2	※トレイ1、2、MPFから給紙するときは、〔テサシインサツ〕を〔ミシテイ〕にしてください。		
	注1,3)	MPF			
	オート　トレイ	ユウコウ	オートトレイ機能を設定します	○	×
	注2)	ムコウ			
ヨウシサイズ	トレイ1	LETTER	トレイ1の用紙サイズを選択します	○	×
		EXEC　注7)			
		A4　サイズ			
		A5　サイズ			
		A6　サイズ			
		B5　サイズ			
		フリー			

カテゴリ	ディスプレイ表示		機能	ESC/P	Win
	上段	下段			
ヨウシサイズ	ﾄﾚｲ2	LETTER	トレイ2の用紙サイズを選択します	○	×
		EXEC　注7)			
		A4　ｻｲｽﾞ			
		A5　ｻｲｽﾞ			
		B5　ｻｲｽﾞ			
	注1,3)	ﾌﾘｰ			
	ﾃｻｼ	LETTER	手差しの用紙サイズを選択します	○	×
		EXEC　注7)			
		A4　ｻｲｽﾞ			
		A5　ｻｲｽﾞ			
		A6　ｻｲｽﾞ			
		B5　ｻｲｽﾞ			
		ﾌﾘｰ			
		ﾊｶﾞｷ			
		ｵｳﾌｸ			
	MPF	LETTER	給紙トレイの用紙サイズを選択します	○	×
		EXEC　注7)			
		A4　ｻｲｽﾞ			
		A5　ｻｲｽﾞ			
		A6　ｻｲｽﾞ			
		B5　ｻｲｽﾞ			
		ﾌﾘｰ			
		ﾊｶﾞｷ			
	注1)	ｵｳﾌｸ			
	ﾌﾘｰﾖｺ	90 mm ～ 210 mm ～	フリーサイズの横寸法を1mm単位で設定します	○	×
	注4)	216 mm			
	ﾌﾘｰﾀﾃ	148 mm ～	フリーサイズの縦寸法を1mm単位で設定します	○	×
	注3)	297 mm			

カテゴリ	ディスプレイ表示		機能	ESC/P	Win
	上段	下段			
ヨウシアツ	ﾄﾚｲ1	ｳｽｲｶﾐ	トレイ1の用紙厚さを設定します	○	×
		ﾌﾂｳｼ			
		ﾔﾔｱﾂｲｶﾐﾞ			
		ｱﾂｲｶﾐ			
		ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ			
	ﾄﾚｲ2	ｳｽｲｶﾐ	トレイ2の用紙厚さを設定します	○	×
		ﾌﾂｳｼ			
		ﾔﾔｱﾂｲｶﾐﾞ			
		ｱﾂｲｶﾐ			
	注 1)	ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ			
	ﾃｻﾞｼ	ｳｽｲｶﾐ	手差しの用紙厚さを設定します	○	×
		ﾌﾂｳｼ			
		ﾔﾔｱﾂｲｶﾐﾞ			
		ｱﾂｲｶﾐ			
		ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ			
		OHP			
	MPF	ｳｽｲｶﾐ	給紙トレイの用紙厚さを設定します	○	×
		ﾌﾂｳｼ			
		ﾔﾔｱﾂｲｶﾐﾞ			
		ｱﾂｲｶﾐ			
		ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ			
	注 1)	OHP			
ﾖｳｼｻｲｽﾞ ﾁｪｯｸ	ｻｲｽﾞ ﾁｪｯｸ	ﾕｳｺｳ	メニューで設定した用紙サイズと給紙された用紙サイズが異なる場合にメッセージを表示するかを設定します	○	×
		ﾑｺｳ			
ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ	ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ	1 ～ 999	コピー枚数を指定します	○	×
ﾌｫﾝﾄ &ｼﾝﾎﾞﾙ	ｶﾝｼﾞ ｼｮﾀｲ	ｼﾞﾄﾞｳ	ホストからの漢字書体コマンドによります	○	×
		ﾐﾝﾁｮｳ	平成明朝固定		
		ｶｸｺﾞｼｯｸ	平成角ゴシック固定		
	ANKｼｮﾀｲ	ｼﾞﾄﾞｳ	ホストからのANK書体コマンドによります	○	×
		ﾛｰﾏﾝ	ローマン固定		
		ｻﾝｾﾘﾌ	サンセリフ固定		
	ANKｺｰﾄﾞ	ｶﾀｶﾅ	カタカナ	○	×
		ｸﾞﾗﾌｨｯｸ	拡張グラフィックス		
	ANKｾﾞﾛ	0	0	○	×
		Ø	スラッシュのついた0		

カテゴリ	ディスプレイ表示		機能	ESC/P	Win
	上段	下段			
ﾍﾟｰｼﾞ ﾚｲｱｳﾄ 1	ｼｭｸｼｮｳ	ﾄｳﾊﾞｲ	原寸で印刷	○	×
		A4×2→A4	A4の2ページを1ページに縮小		
		B4→A4	B4をA4に縮小		
		15"→A4	15"×10"の連帳をA4横に縮小		
		10"→A4	10"×11"の連帳をA4縦に縮小		
	ｱﾀﾏﾀﾞｼｲﾁ 注5)	8.5 mm	頭出し位置を8.5mmに設定	○	×
		22 mm	頭出し位置を22mmに設定		
		5 mm	頭出し位置を5mmに設定		
	ﾐｷﾞﾏｰｼﾞﾝ 注6)	ﾖｳｼﾊﾊﾞ	右マージンを用紙幅に設定	○	×
		136ｹﾀ	右マージンを136桁目に設定		
	CR ｷﾉｳ	CRﾉﾐ	CRコード受信時の動作を設定します	○	×
		CR+LF			
	ｵｰﾄﾌｯｶｲ	CR+LF	ライトマージンオーバーのとき自動的に復帰+改行します	○	×
		ｳｹｽﾃ	ライトマージンオーバーのデータは受け捨てます		
ﾍﾟｰｼﾞ ﾚｲｱｳﾄ 2	ｲﾝｻﾂﾎｳｺｳ	ﾀﾃ	印刷方向を設定します	○	×
		ﾖｺ			

注１）装着されていない給紙機構は表示されません。
注２）〔オートトレイ〕機能は、トレイ 1、トレイ 2、MPF に同じサイズの用紙をセットした場合、現在使用しているトレイの用紙がなくなると別のトレイから印刷する機能です。オプションの拡張給紙ユニット、給紙トレイを付けたときのみ使用可能です。〔ヨウシセンタク - トレイ 1〕、〔ヨウシセンタク - トレイ 2〕、〔ヨウシセンタク -MPF〕の設定は、同じ用紙サイズにしている必要があります。
注３）トレイ 2 の縦寸法は最小 210 mm です。フリータテが 210 mm 未満に設定されているときに、〔キュウシトレイ〕をトレイ 2 に変更した場合は自動的に 210 mm に変更します。
注４）トレイ 2 の横寸法は最小 148mm です。Windows プリンタドライバでは、用紙幅の最大は 215.9mm です。
注５）頭出し位置は± 2mm 程度の範囲で変化する場合があります。専用フォームに印刷するときは、注意してください。
注６）右マージンを超える文字がある場合、〔オートフッカイ〕で設定した処理を行います。また〔136 ケタ〕設定で、用紙幅が 136 桁より狭いときは用紙幅を超える文字は印刷されません。
注７）EXEC はエグゼクティブサイズを省略したものです。

◆レベル 2 メニュー

レベル 2 メニューの項目の変更は、下記の手順で行います。

① オンライン スイッチを押し、〔オフライン〕を表示します。

② メニュー1／メニュー2 スイッチを 2 秒以上押し、レベル 2 メニューモードに入ります。

③ メニュー1／メニュー2 スイッチを押し、目的のカテゴリを表示します。

④ メニュー選択／リセット スイッチを押し、カテゴリに入ります。

⑤ メニュー1／メニュー2 スイッチを押し、設定する項目を表示します。

⑥ ＋ または － スイッチを押し、設定する内容を表示します。

⑦ メニュー選択／リセット スイッチを押し、設定したメニューを確定します。

確定するとメニュー確定マーク〔＊〕が表示されます。

⑧ オンライン スイッチを押し、メニューモードを終了します。

ディスプレイ表示部の網かけ部は、工場出荷時の設定です。

カテゴリ	ディスプレイ表示		機能	ESC/P	Win
	上段	下段			
プリントモード	ｶｲｿﾞｳﾄﾞ	600	解像度を設定します	○	×
		300			
ｵｰﾄｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ	ｴﾗｰｶｲｼﾞｮ	ｵﾌ	メモリオーバーフロー発生時、自動的にプリンタを復旧させるかを設定します	○	○
		ｵﾝ			
	ﾀｲﾑｱｳﾄ	ｵﾌ 5ﾋﾞｮｳ 〜 90ﾋﾞｮｳ 〜 300ﾋﾞｮｳ	データを受信しなくなってから強制印刷するまでの時間を設定します	○	○
ｲﾝｻﾂﾉｳﾄﾞ	ｲﾝｻﾂﾉｳﾄﾞ	0	印刷濃度を調整します	○	×
		+1			
		+2			
		-2			
		-1			

カテゴリ	ディスプレイ表示		機能	ESC/P	Win
	上段	下段			
パワーセーブ	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	0ﾋﾞｮｳ	待機状態へ移行するまでの時間を設定します	○	○
		1ﾌﾝ			
		8ﾌﾝ			
		30ﾌﾝ			
		ﾑｺｳ			
ﾄﾅｰ ｴﾗｰﾄﾞｳｻ	ﾄﾅｰ ｴﾗｰ	ｹｲｿﾞｸ	トナーロー時のオンライン/オフラインを設定します テイシにすると、「オンライン」スイッチを押すまで待機状態になります	○	○
		ﾃｲｼ			
トナーセーブ	ﾄﾅｰｾｰﾌﾞ	ﾑｺｳ	トナーの使用量を節約するかどうかを設定します	○	×
		ﾔﾔ ｾｰﾌﾞ			
		ｾｰﾌﾞ			
ｾﾝﾄﾛｲﾝﾀﾌｪｰｽ	ｿｳｼﾝｿｸﾄﾞ	ｺｳｿｸ	ビジー信号のオン時間を設定します コウソクにするとビジーのオン時間が短くなります	○	○
		ﾌﾂｳ			
	ｿｳﾎｳｺｳ	ﾕｳｺｳ	双方向セントロの有効／無効を設定します	○	○
		ﾑｺｳ			
	I-PRIME	ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ	I-PRIME信号の有効/無効を設定します	○	○
		ﾑｼ			

◆ユーザーメンテナンスメニュー

①電源スイッチを OFF にします。

② [メニュー1/メニュー2] スイッチを押したまま、電源スイッチを ON にします。

③〔ユーザーメンテナンス〕と表示されるまで [メニュー1/メニュー2] スイッチを押し続けます。

④ [メニュー1/メニュー2] スイッチを押し、設定する項目を表示します。

⑤〔メニューセッテイリセット〕を選択したときは、 [メニュー選択/リセット] スイッチを押します。

⑥ [＋] または [－] スイッチを押し、設定する内容を表示します。

⑦ [メニュー選択/リセット] スイッチを押し、項目を実行もしくは設定を確定します。

⑧ [オンライン] スイッチを押し、メニューモードを終了します。

ディスプレイ表示部の網かけ部は、工場出荷時の設定です。

ディスプレイ表示		機能	ESC/P	Win
項目	設定			
ﾒﾆｭｰｾｯﾃｲﾘｾｯﾄ	ﾚﾍﾞﾙ1	レベル 1 メニューを工場出荷時設定に初期化します	○	○
	ｾﾞﾝｺｳﾓｸ	全項目のメニューを工場出荷時設定に初期化します		
HEX DUMP 注 1)	-	受信したデータを 16 進表示で印刷します プリンタの電源を OFF にすると解除されます	○	○
ﾄﾞﾗﾑｶｳﾝﾀﾘｾｯﾄ 注2)	-	ドラムカウンタを0に戻します	○	○
ｼﾞｭｼﾝBUF	ｼﾞﾄﾞｳ	受信バッファサイズを設定します	○	○
	8KB			
	20KB			
	50KB			
	100KB			
	1MB			
ﾒﾆｭｰｿｳｻ	ﾕｳｺｳ	操作パネルのメニュー機能（クイックメニュー、レベル 1/2メニュー）の有効／無効を設定します	○	○
	ﾑｺｳ			
X ﾎｾｲ 注3)	-2.00mm ～ 0.00mm ～ ＋20.00mm	全体の印刷位置を横方向に補正します 値が 10 未満は 0.25mm 単位、10 以上は 0.5mm 単位で設定します	○	○

ディスプレイ表示		機能	ESC/P	Win
項目	設定			
Y ﾎｾｲ 注3)	-15.00mm ∫ 0.00mm ∫ 15.00mm	全体の印刷位置を縦方向に補正します 値が10未満は0.25mm単位、10以上は0.5mm単位で設定します	○	○
SETTING	-2 -1 0 +1 +2	温度による印刷のばらつきを補正します 高温高湿度の環境下で、印刷にかすれが発生する場合は、設定を上げてください 低温低湿度の環境下で、黒点、白点が現れる場合は、設定を下げてください	○	○

注１）「HEX DUMP モード」にするときは、必ず A4 の用紙を使用してください。また、レベル1メニューの「トレイセンタク」でA4用紙がセットされているトレイを選択してください。

注２）ドラムカートリッジ交換時以外にこの操作をすると、交換時期が正しく表示されません。

注３） Win モード時は、「X ホセイ」「Y ホセイ」とも +2.00mm 〜 -2.00mm まで有効となり、+2.00mm 以上または -2.00mm 以下を設定した場合は、それぞれ +2.00mm、-2.00mm の補正となります。ESC/P モード時は、「X ホセイ」は -1.00mm まで有効となり -1.00mm 以下を設定した場合は -1.00mm の補正となります。また、「Y ホセイ」は〔ページレイアウト１ーアタマダシ　イチ〕と加算した結果が 4.08mm 未満になる設定はできません。

実際の印刷位置は、± 2mm 程度の範囲で変化する場合があります。専用のフォームに印刷するときは、注意してください。

第7章　こんなときには

この章では、アラーム表示されたときや、故障が発生したと思われるとき、および紙づまりのときなどの処置のしかた、ヘキサダンプ印刷のしかたなどについて説明します。

アラームが表示されるとき

異常が発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。ここで説明する処置をしても良くならない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、『ハードウェア修理相談センター』(172ページ)へご連絡ください。

◆動作状態に関するメッセージ

以下の表示は、プリンタの動作状態を示すもので、エラーではありません。

液晶ディスプレイの表示	内　容
オンライン ＥＳＣ／Ｐ	オンライン状態(データを受信できる状態)です。 エミュレーションを自動的に認識します。
オフライン ＥＳＣ／Ｐ	オフライン状態です。
■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■	液晶ディスプレイのテストを行っています。 電源投入時に表示されます。
イニシャルチュウ	プリンタの初期化を行っています。
リセット	プリンタをリセットしています。リセット後は、オンライン状態になります。
インサツチュウ	印刷動作を行っています。
メニュー インサツチュウ	メニュー印刷を行っています。
クリーニング インサツチュウ	クリーニング印刷を行っています。
ショリチュウ	受信したデータの処理を行っています。
デ ータ　アリ	未印刷データが残っていますが、印刷開始条件が整っていないため待機しています。 オフライン状態にして「排出」スイッチを押します。
パ ワーセーブ	プリンタはパワーセーブ(省電力)モードに入っています。この状態では、データ受信するのに最低限必要な回路以外の電力消費がカットされています。
ＨＥＸ　ＤＵＭＰ	ＨＥＸ(ヘキサ)ダンプモードになっています。 電源を入れ直すと通常モードに戻ります。

◆用紙関係のエラー

液晶ディスプレイ	原　　因	処　　置	参照ページ
×××× ハイシジ゛ャム	用紙排出中に紙づまりが起きました。	スタッカカバーを開き、つまっている用紙を取り除いてからカバーを閉めてください。	132
×××× ソウコウシジ゛ャム	用紙走行中に紙づまりが起きました。 手差し口から用紙を引き込めませんでした。	スタッカカバーを開き、つまっている用紙を取り除いてからカバーを閉めてください。	132
×××× キュウシ　ミス	xxxxから用紙を引き込めませんでした。	スタッカカバーを開き、つまっている用紙を取り除いてからカバーを閉めてください。	132
×××× サイズ゛　エラー	xxxxからプリンタドライバ（Win時）またはメニュー（ESC/P時）で設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙が給紙されました。 xxxxから２枚以上の用紙が給紙（重送）されました。	スタッカカバーを開き、つまっている用紙を取り除いて、正しいサイズの用紙と交換してからカバーを閉めてください。	132
×××× ヨウシ　ナシ	xxxxの用紙がありません。	用紙を補充してください。	98
	給紙カセットの取り付けが不完全です。	給紙カセットを正しく取り付けてください。	29
テサシ ｙｙヨウシセット	手差し口に用紙が入っていません。	ｙｙサイズの用紙を手差し口にセットしてください。	35

・xxxx＝ トレイ１：標準カセット
　　　　トレイ２：拡張給紙ユニット
　　　　ＭＰＦ　：給紙トレイ
　　　　テサシ　：手差し
・yy　＝Ａ４　サイズ
　　　　Ａ５　サイズ
　　　　Ａ６　サイズ
　　　　Ｂ５　サイズ
　　　　フリー
　　　　LETTER ：レター
　　　　EXECUTIV*1：エグゼクティブ
　　　　ハガキ
　　　　オウフク

*1： EXECUTIVEが正確な名称ですが、液晶ディスプレイ上ではEXECUTIVと表示しています。

◆メモリ関係のエラー

液晶ディスプレイ	原　　因	処　　置	参照ページ
メモリ オーバ　ーフロー	印刷データが複雑すぎてメモリが不足しています。	「オンライン」スイッチを押してください。 解像度を下げて印刷してください。	7，91
	ＥＳＣ／Ｐの文字定義（ダウンロード）、外字定義に使用するメモリが不足しています。	「オンライン」スイッチを押してください。現在の設定で処理できた部分を印刷します。 ESC/P　の文字定義・外字定義の数を減らしてください。	―

◆カバーオープン関係のエラー

液晶ディスプレイ	原　　因	処　　置	参照ページ
スタッカカバ　ーオープ゜ン	スタッカカバーが開いています。	スタッカカバーを閉じてください。	27
トレイ2カバ　ーオープ゜ン	拡張給紙ユニットのフロントカバーが開いています。	フロントカバーを閉じてください。	150

◆ハードウェア故障関係のエラー

液晶ディスプレイ	原　因	処　置	参照ページ
ＥＲＲＯＲ　０ｍａａａａａａａａ	プリンタのコントローラに故障が発生しました。	①表示されている内容を正確にメモしてください。 ②電源を入れ直してください。 ③同じエラーが発生するようであれば、表示のメモを添付してご購入元または「ハードウェア修理相談センター」へ修理を依頼してください。	―
ＥＲＲＯＲ　ｎｎ	プリンタのハードウェアに故障が発生しました。	①表示されている内容を正確にメモしてください。 ②電源を入れ直してください。 ③同じエラーが発生するようであれば、表示のメモを添付してご購入元または「ハードウェア修理相談センター」へ修理を依頼してください。	―
トナー　センサ	トナーセンサ異常が発生しました。	電源をOFFにし、プロセスカートリッジをセットし直し、再度電源をONにしてください。 それでも復旧しない場合は、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」へ修理を依頼してください。	―

◆その他のエラー

液晶ディスプレイ	原　因	処　置	参照ページ
トナー　ロー	トナーが不足しています。	新しいトナーカートリッジと交換してください。	99
トナー　コウカンシテクダ゛サイ	〔トナー　ロー〕のまま使用すると表示されます。また、〔トナー　コウカン〕のまま使用すると１枚印刷毎に表示されます。	新しいトナーカートリッジと交換してください。なお、「オンライン」スイッチを押すか、スタッカカバーの開閉で、一時的に〔トナー　コウカン〕表示になり、印刷が可能になります。	99
トナー　コウカン	〔トナー　コウカン　シテクダサイ〕表示後も、新しいトナーカートリッジと交換せずに使用すると表示されます。	新しいトナーカートリッジと交換してください。	99
ト゛ラムコウカン	プロセスカートリッジの寿命です。	新しいプロセスカートリッジとトナーカートリッジに交換してください。	104

紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると液晶ディスプレイに『サイズ゛　エラー』、『ハイシ　ジ゛ャム』、『ソウコウ　ジ゛ャム』もしくは『キュウシ　ミス』と表示されます。次の要領でつまった用紙を取り除いてください。

⚠注意

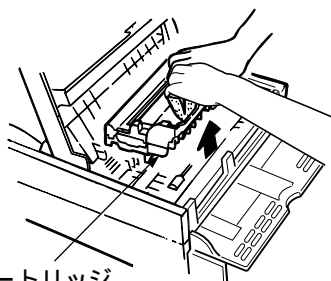
やけど　プリンタを使用した直後は、定着器および排紙ガイドが熱くなっています。つまった用紙を取り除くときは、手を触れないよう十分に注意してください。やけどの原因となることがあります。

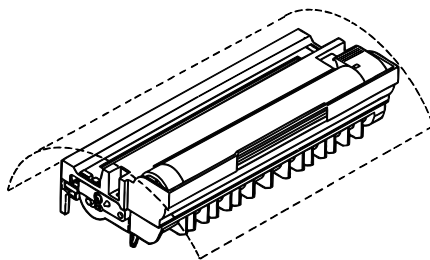
❶ スタッカカバーを開ける（24ページ参照）

スタッカカバー両側のノブを押し、ロックを外します。そのまま静かにスタッカカバーをいっぱいに開けます。

❷ プロセスカートリッジを取り外す

手差しトレイを開いてプロセスカートリッジを落とさないよう両手で持ち、ゆっくり取り出します。

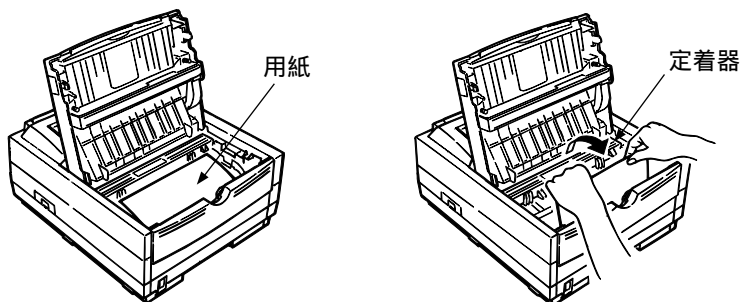
お願い

・プロセスカートリッジを取り出すときは、傾けず水平に取り出してください。

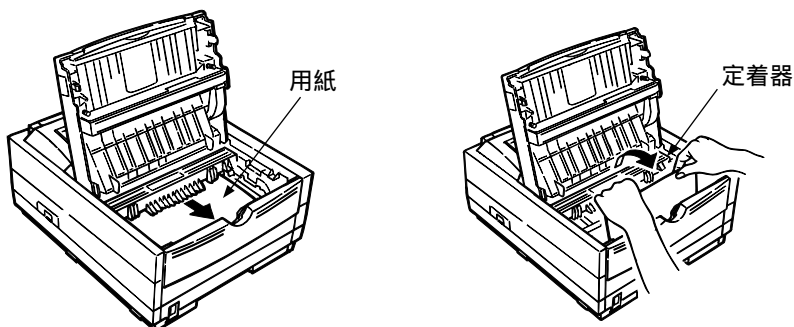
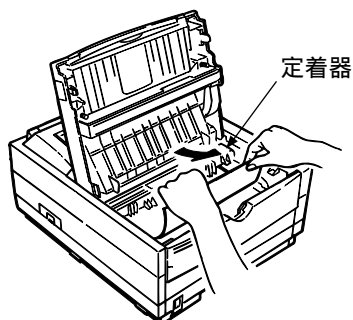
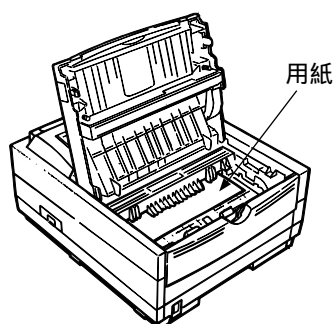
・取り外したプロセスカートリッジは右図のように平らな所に置き、添付のポリエチレン袋（黒）に入れるか、黒い紙などをかぶせて光が当たらないようにしてください。

❸用紙を取り除く

つまっている用紙の状態によって、それぞれの方法で用紙を取り除きます。

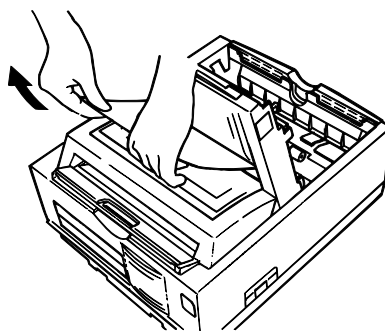
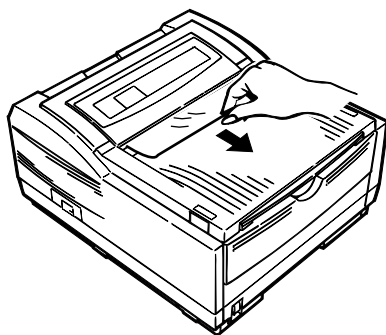
⚠警告	誤　飲　用紙上の文字は定着していないので、触れるとトナーが手に付きます。用紙を取り除くとき、手や服がトナーで汚れないよう注意してください。トナーがついてしまったときは、すぐに水で洗ってください。 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

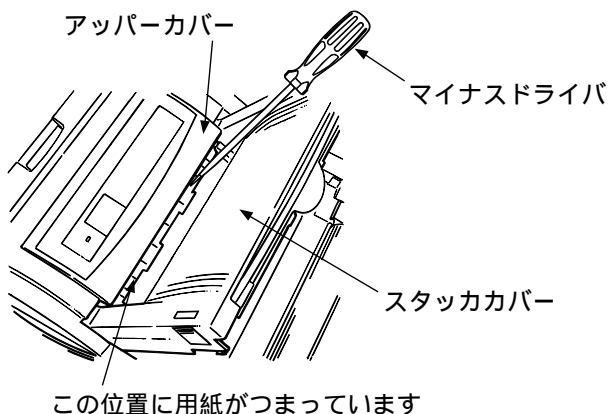
●用紙の先端が見えている場合

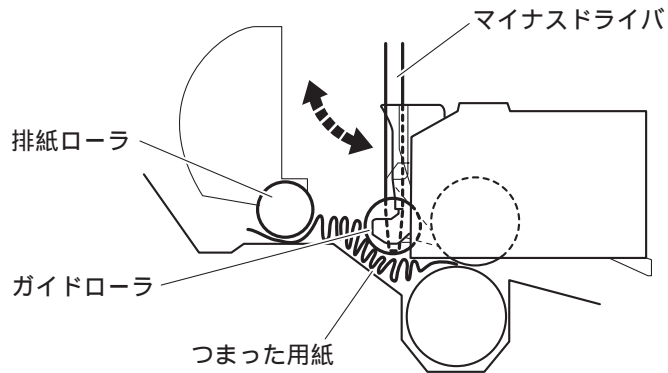
つまっている用紙をゆっくり引き出して取り除きます。

●用紙の先端が見えない場合

用紙の先端が見えるまで矢印方向にずらし、ゆっくり引き出して取り除きます。

●用紙の後端が見えている場合
つまっている用紙をゆっくり引き出して取り除きます。

お願い
用紙を強く引き出さないでください。用紙が破れプリンタ内部に残ってしまいます。

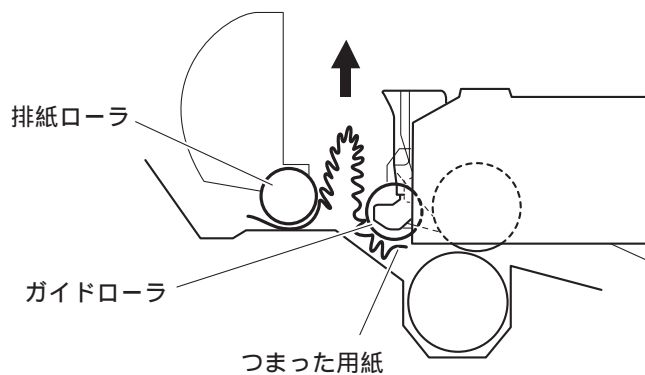
●用紙の後端が見えない場合

フェイスアップスタッカへ排紙しているとき	フェイスダウンスタッカへ排紙しているとき
スタッカカバーを開けたまま、フェイスアップスタッカの排出口から用紙をゆっくり引き出します。	スタッカカバーを開けたまま、フェイスダウンスタッカの排出口から用紙をゆっくり引き出します。

●用紙の後端が見えず、用紙先端が少ししか出ていない場合
プロセスカートリッジを装置から外した状態でスタッカカバーを一旦閉じ、電源をONにし、モータが回転を始めたら用紙先端をつかんで引き出してください。

●用紙の先端も後端も見えない場合
ガイドローラと排紙ローラの間に用紙がつまった場合は、プロセスカートリッジを外しても用紙は見えません。また、用紙の先端もプリンタの外部からは見えません。

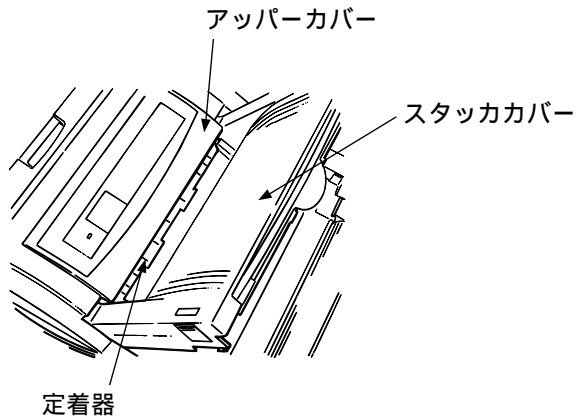
次の手順で取り除いてください。
①アッパーカバーとスタッカカバーの間からマイナスドライバを差し込みます。

② つまっている用紙を、マイナスドライバで排紙ローラ側に少しずつ送ります。

お願い

このとき、用紙を破らないように十分注意してください。

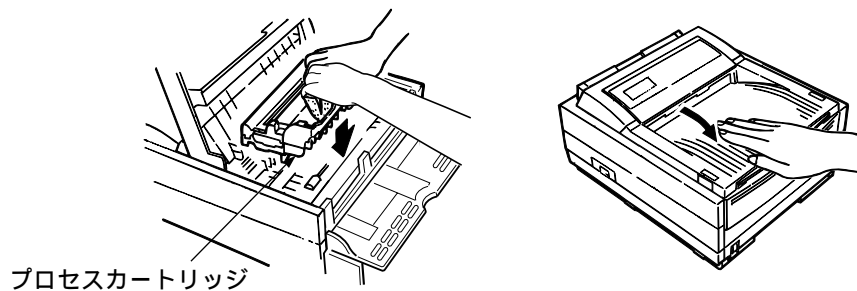
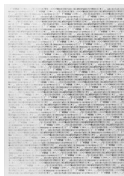
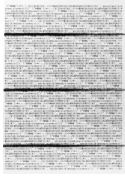
③ 用紙の後端が５個のガイドローラから外れたら、アッパーカバーとスタッカカバーの間から用紙をゆっくり引き出して取り除きます。

お願い

このとき、用紙を破らないように十分注意してください。

❹ 残留用紙がないか確認する

アッパーカバーとスタッカカバーの間から、定着器に用紙が残っていないことを確認します。

❺ プリンタを印刷可能な状態にする

プロセスカートリッジを落とさないよう両手で持ってプリンタ内に戻し、手差しトレイを閉じます。スタッカカバーを閉じ、両側のフックがロックされていることを確認してください。

お願い

プロセスカートリッジをセットするときは、傾けず水平に入れてください。

●ガイド●

- つまった用紙を取り除いてスタッカカバーを閉じてもメッセージ表示が消えないときは、用紙が完全に取り除かれていません。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。
- 拡張給紙ユニット、給紙トレイから給紙したときに紙づまりが発生したときは、それぞれの用紙走行部に用紙が残っていないかチェックしてください。
- 拡張給紙ユニットから給紙しているときに「キュウシミス」が発生したときは、スタッカカバーまたは拡張給紙ユニットのフロントカバーをいったん開けないと、アラーム表示を解除できません。

印刷品質が低下したとき

印刷が不鮮明な原因は、プリンタのハード的問題と考えられますが、ソフトウェアが原因の場合もあります。プリンタの状態を把握するため、メニュー印刷をして印刷の状態を確かめてください。また、次の項目を確認し、処置をしても直らない場合は、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口へご連絡ください。

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
給紙方向に縦の白いスジが入る。給紙方向に縦にかすれる。	ＬＥＤヘッドが汚れています。	ＬＥＤレンズクリーナ、または水を含ませてかたく絞った布で拭いてください。	106
	トナーが少なくなっています。　注1）	トナーカートリッジを交換してください。	99
	異物がつまっています。	プロセスカートリッジを交換してください。	104
部分的にかすれる。	LEDヘッドが汚れています。	LEDレンズクリーナ、または水を含ませてかたく絞った布で拭いてください。	106
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。	17
	トナーが少なくなっています。　注1）	トナーカートリッジを交換してください。	99
	プリンタに適さない用紙で印刷されました。	推奨用紙をお使いください。	10
黒ベタを印刷すると、部分的に薄くなる。	黒ベタ印刷にトナーを十分供給できない場合があります。	黒ベタ部分の割合を減らしてください。	－
印刷が非常に薄い。	トナーカートリッジがきちんとセットされていません。	トナーカートリッジをきちんとセットしてください。	101
	プロセスカートリッジがきちんとセットされていません。	プロセスカートリッジをきちんとセットしてください。	106
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。	17
	プリンタに適さない用紙で印刷されました。	推奨用紙をお使いください。	10
	トナーが残り少なくなっています。　注1）	トナーカートリッジを交換してください。	99

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
給紙方向に縦の黒いスジ状の汚れが出る。	プロセスカートリッジに傷がついています。	プロセスカートリッジを交換してください。	104
	トナーが少なくなっています。 注1)	トナーカートリッジを交換してください。	99
周期的に横の黒いスジや点が入る。	約94mm周期の場合は、感光ドラムに傷または汚れがついています。	傷の場合はプロセスカートリッジを交換してください。 汚れの場合はクリーニングページを行ってください。1回のクリーニングで直らないときは、数回クリーニングを繰り返してください。それでも直らないときは柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。	104,113 110
	約62mm周期の場合は、定着器に傷がついています。	「ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。	—
	約30mm周期の場合は、プロセスカートリッジ内にゴミが混入しています。	クリーニングページを行ってください。	113
	感光ドラムが光にさらされました。	プロセスカートリッジを外し、数時間暗いところに保管してください。 それでも直らない場合は、プロセスカートリッジを交換してください。	108,104
白地の部分が薄く汚れる。	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度に保管した用紙をお使いください。	17
	厚すぎる用紙で印刷されました。	プリンタにあった用紙をお使いください。	12
	プロセスカートリッジがきちんとセットされていません。	プロセスカートリッジをきちんとセットしてください。	106
	トナーが少なくなっています。 注1)	トナーカートリッジを交換してください。	99

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
文字の周辺がにじむ。	ＬＥＤヘッドが汚れています。	ＬＥＤレンズクリーナ、または水を含ませてかたく絞った布で拭いてください。	110
	印刷濃度が濃く設定されています。	印刷濃度を薄く設定してください。	91
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。	17
はがきを印刷すると、全面が薄く汚れる。擦ると文字の周囲が汚れる。	本プリンタは、ハガキを印刷すると全面に薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	プリンタの実力ですので、ご了承ください。	－
	トナーの固着が不完全です。	手差しから間隔をおいて印刷してください。	－
		プリンタドライバの「用紙厚」を「より厚い紙」に設定してください。	90
用紙先端が部分的にかすれる。	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙をお使いください。	17
黒ベタを印刷すると、白点が現れる。	低湿環境で用紙が乾燥しています。	ユーザーメンテナンスメニューの「SETTING」を「－1」あるいは「－2」にしてください。	125

注１）本プリンタは、使用状況によって〔トナーロー〕の表示が遅れる場合があります。

用紙に異常がでたとき

用紙送りは、プリンタが設置してある環境、用紙の保管状態によって、大きく違ってきます。用紙は適切な温度、湿度でお使いください。
以下に用紙に関する異常が発生した場合の原因とその処置方法を示します。

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
紙づまりが頻繁に発生する。 〔ハイシジャム〕 〔ソウコウジャム〕 〔キュウシミス〕	カセットに入っている用紙が多すぎます。	カセット内の指定した位置を超えないように用紙を入れてください。	30
	厚すぎる用紙、または薄すぎる用紙で印刷されました。	プリンタにあった用紙をお使いください。	12
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙をお使いください。	17
	折り目やしわのある用紙で印刷されました。	プリンタにあった用紙をお使いください。	12
		適切な温度、湿度に保管した用紙をお使いください。	17
	一度印刷した用紙で印刷されました。	新しい用紙をお使いください。	ー
用紙が２枚以上一緒に引き込まれる。 〔サイズ　エラー〕	カセットに入っている用紙が多すぎます。	カセット内の指定した位置を超えないように用紙を入れてください。	30
	厚すぎる用紙、または薄すぎる用紙で印刷されました。	プリンタにあった用紙をお使いください。	12
	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度に保管した用紙をお使いください。	17
	一度印刷した用紙で印刷されました。	新しい用紙をお使いください。	ー
	用紙がうまくさばかれていません。	もう一度、用紙をさばいてください。	28
用紙にしわがよる。	薄すぎる用紙で印刷されました。	プリンタドライバの「用紙厚」を「薄い紙」に設定してください。	90
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙をお使いください。	17

故障かなと思ったとき

故障かなと思ったときは、次の該当するところをご覧になり、確認してください。それでも直らないときは、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口にご連絡ください。

現　象	原　因	処　置	参照ページ
電源が入らない。	電源コードが抜けている。	プリンタの電源スイッチをオフにして電源コードをしっかり差し込んでください。	41
	停電している。	お使いのコンセントだけ停電していることもあります。ブレーカーが落ちていないか確認してください。	－
全くデータを受信しない。	プリンタケーブルが抜けている。	プリンタケーブルが外れていないか確認してください。	50
	パソコンの出力ポートの選択がちがう。	パソコンの出力ポートが正しく選択されているか確認してください。	－
	オフライン状態になっている。	「オンライン」スイッチを押してオンライン状態にしてください。	7
	プリンタケーブルの断線。	プリンタケーブルが断線していないか確認してください。	50
データが欠ける。 受信途中でパソコンが送出をやめてしまう。	プリンタケーブルの断線。	プリンタケーブルが断線していないか確認してください。	50
	パソコンのタイムアウト時間の設定が短すぎる。	リトライで送出を続行するようならパソコンのタイムアウト時間の設定を長くしてください。	－

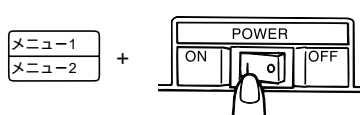
現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
記号の羅列が印刷される。	エミュレーションの選択がちがう。	パソコンのプリンタ設定を確認してください。	—
	エミュレーションの自動切替。	オフラインにしてパソコンの印刷を終了（削除）してから「リセット」スイッチを２秒以上押して、プリンタをリセットし再印刷してください。	6
	I-PRIMEの設定がコンピュータに合っていない。	レベル２メニューの「I-PRIME」の項目を「データクリア」に設定してください。　注１）	123
	プリンタケーブルの断線。	プリンタケーブルが断線していないか確認してください。	50
	パソコンのタイムアウト時間の設定が短すぎる。	リトライで送出を続行するようならパソコンのタイムアウト時間の設定を長くしてください。	—
「データアリ」を表示したまま印刷しない。	印刷開始条件が揃っていない。	オフラインにして「排出」スイッチを押してください。	7
異常音がする。	プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある。	プリンタ内部を点検してください。	132
	給紙カセットの装着が不完全。	給紙カセットを完全に装着してください。	31
ウォーミングアップ動作が長い。	クリーニング動作を行っている。	故障ではありません。印刷品位を良くするために組み込まれている動作です。	—
データを受信しても、すぐに印刷を開始しない。	プリンタがパワーセーブモードに入っている。	故障ではありません。パワーセーブモードから復帰するときのプリンタのウォーミングアップに必要な時間です。	—
		レベル２メニューのパワーセーブ項目を「ムコウ」に設定してください。	123
	定着器の温度を調整している。	故障ではありません。用紙に最適な温度を制御しています。印刷を始めるまで、９０秒程度かかることがあります。	—

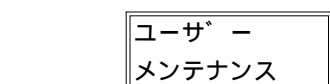
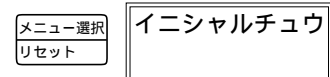
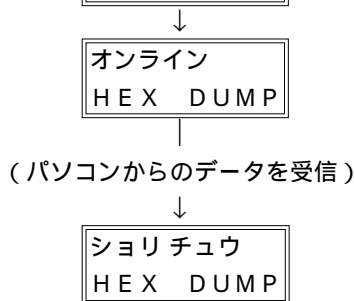
注１）　一部のDOS/V、PC-98シリーズでは、「I-PRIME」の設定を「データクリア」にする必要があります。

ＨＥＸ（ヘキサ）ダンプ印刷の設定

パソコンからのデータが、プリンタに正しく転送されているかどうかを確認する場合などにＨＥＸダンプを設定します。

ＨＥＸ（ヘキサ）ダンプとは、パソコンからプリンタに送られた印刷データを、アルファベットや漢字などの文字ではなく、16 進数のデータで印刷する機能です。

ＨＥＸダンプを設定するためには、以下の操作を行ってください。

①　電源をＯＦＦ（○側）します。

②　「メニュー1」スイッチを押したまま電源をＯＮ（｜側）にします。
『ユーザーメンテナンス』が表示されたら、「メニュー１」スイッチをはなします。

③　「メニュー１」スイッチを２回押し、『ＨＥＸ ＤＵＭＰ』を表示します。

④　「メニュー選択」スイッチを押し、ＨＥＸダンプ機能を設定します。

お願い

・ＨＥＸダンプモードを解除するときは、プリンタの電源をＯＦＦにしてください。
・ＨＥＸダンプモードをするときは、必ずＡ４の用紙を使用してください。

以下にＨＥＸダンプ印刷の例を示します。

```
        +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F

000000  00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0E 0F   ................
000010  10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1A 1B 1C 1D 1E 1F   ...........↑....
000020  20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F    !"#$%&'()*+,-./
000030  30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F   0123456789:;<=>?
000040  40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F   @ABCDEFGHIJKLMNO
000050  50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F   PQRSTUVWXYZ[\]^_
```

第 8 章　オプションの取り付け

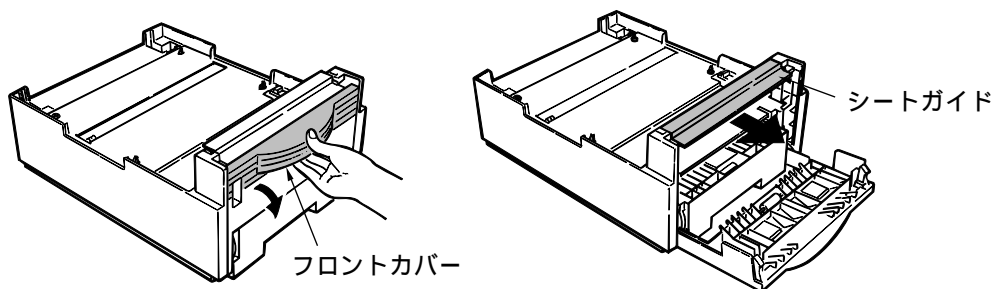
この章では、オプション品の拡張給紙ユニット、および給紙トレイの取り付けかたについて説明します。

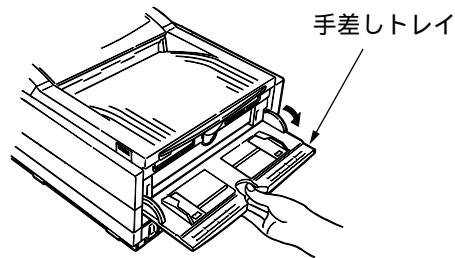
拡張給紙ユニットの取り付け

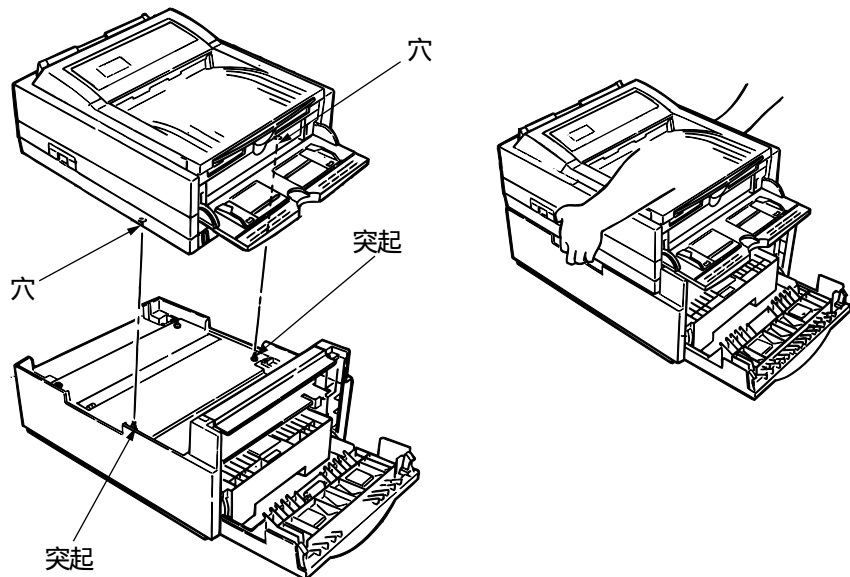
⚠警告	感　電	・拡張給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチがＯＦＦ（○側）に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。 感電または故障の原因となります。 ・拡張給紙ユニットは、当社推奨品以外は接続しないでください。感電や火災または故障の原因となります。

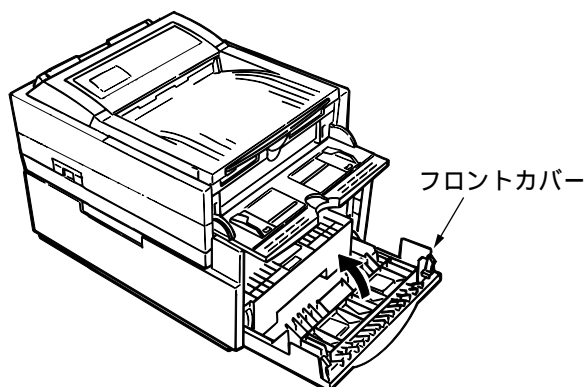
⚠注意	け　が	・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は十分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。 ・プリンタ本体と拡張給紙ユニットの間に指をはさまないように注意してください。けがの原因となることがあります。 ・拡張給紙ユニットの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。 指定された場所以外のネジを外すと、ケガの原因または故障の原因となることがあります。

❶ 拡張給紙ユニットのフロントカバーを倒す

フロントカバー内部の把手を握って手前へ引くと、フロントカバーが倒れます。
シートガイドを手で矢印方向へ押し、いっぱいまで移動させます。

❷ ケーブル類を外しプリンタの手差しトレイを開く

電源コードおよびプリンタケーブルをコネクタから外します。
手差しトレイを開いていっぱいに倒します。

❸ 拡張給紙ユニットにプリンタを載せる

プリンタ底面の穴と拡張給紙ユニットの突起を合わせながら、拡張給紙ユニットにプリンタを載せます。

❹　フロントカバーを閉じる

❶で開けたフロントカバーを元に戻します。

●拡張給紙ユニットを取り外す

拡張給紙ユニットの取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。

取り外す前に、必ずプリンタの電源をＯＦＦ（○側）にして、電源コードおよびプリンタケーブルを外してください。

給紙トレイの取り付け

⚠警告

感　電　・給紙トレイを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチがＯＦＦ（○側）に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
感電または故障の原因となります。
・給紙トレイを接続する場合には、当社推奨品以外は接続しないでください。感電や火災または故障の原因となります。

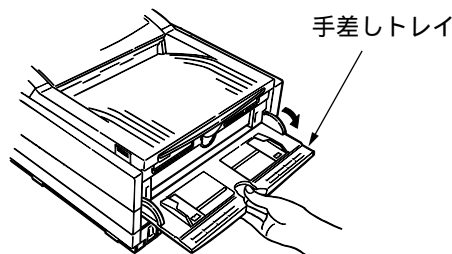
⚠注意

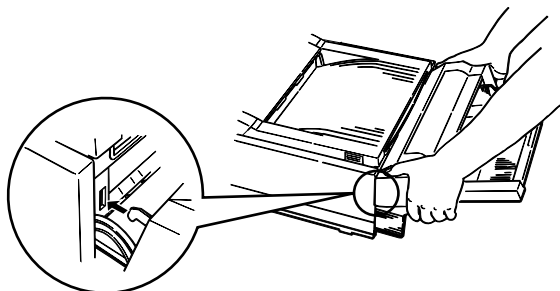
け　が　・給紙トレイの金属部分に手を触れる場合は十分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。
・プリンタ本体と給紙トレイの間に指をはさまないように注意してください。けがの原因となることがあります。
・給紙トレイの装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、ケガの原因または故障の原因となることがあります。

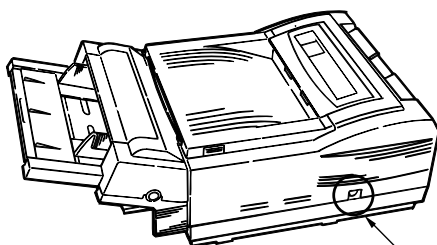
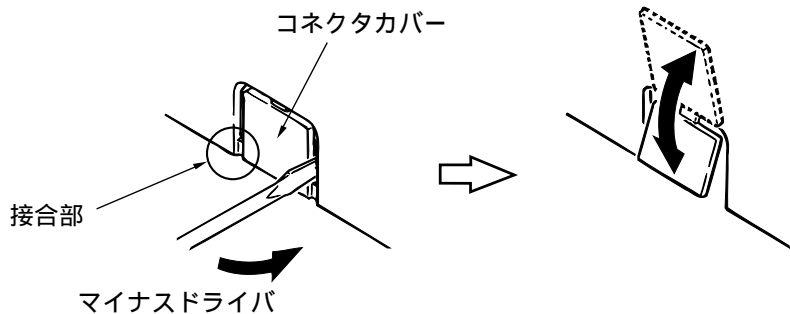
●ガイド●

給紙トレイをプリンタドライバやプリンタのメニュー設定では、MPF（マルチパーパスフィーダ）と表示します。

プリンタ本体への給紙トレイの取り付けかたを説明します。
オプション品の拡張給紙ユニットと併用する場合は、先に拡張給紙ユニットを取り付けてください。(「拡張給紙ユニットの取り付け」(148 ページ）参照)

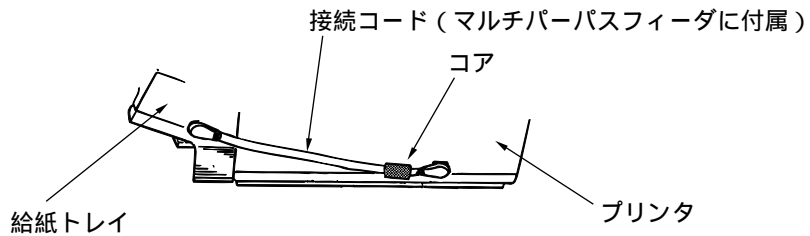
❶　手差しトレイを開く
手差しトレイを開いていっぱいに倒します。

❷　給紙トレイを取り付ける

給紙トレイのフック（2ヵ所）を、プリンタの穴に差し込みます。

❸　コネクタカバーを折り欠く

プリンタ本体側面のコネクタカバーを折り欠きます。

コネクタカバーとプリンタカバーの間にマイナスドライバを差し込み、そのまま矢印方向にマイナスドライバを倒し、左右の接合部を外します。次にコネクタカバーを手で上下に折り曲げ、コネクタカバーが外れるまで繰り返します。

お願い

マイナスドライバをねじらないでください。ねじるとプリンタカバーに傷が付きます。

❹　接続コードを取り付ける

接続コード（給紙トレイに添付）のコア側をプリンタに差し込みます。次に接続コードのもう一方を給紙トレイに差し込みます。

お願い

プリンタ本体に給紙トレイを取り付けた状態で、持ち運ばないでください。
持ち運ぶ際は、必ず給紙トレイを外してください。

●給紙トレイを取り外す

給紙トレイの取り外しは、取付けと逆の手順で行ってください。
取り外す前に、必ずプリンタの電源をＯＦＦ（○側）にしてください。

付　録

本プリンタの仕様、ESC/Pコマンドおよびキャラクタ一覧、JIS-90 第一／第二水準漢字一覧、アプリケーションソフトおよびアフターサービスについて記載します。

プリンタの仕様

◆基本仕様

以下に、本プリンタの仕様を示します。

印刷方式	：ＬＥＤを露光光源とする電子写真方式
印刷速度（連続コピー最大）	：標準給紙カセット：12 枚 / 分、拡張給紙ユニット：10 枚 / 分、給紙トレイ：9.5 枚／分（A4 サイズ）
印刷幅	：最大 216mm
メモリ	：4MB
解像度	：600 × 600 ドット／インチ 600 × 1200 ドット／インチ
用紙サイズ	：A4、B5、A5、A6、フリー、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき
給紙方式 *1	：カセットによる自動給紙 (収容枚数 250 枚、拡張給紙ユニット使用により 750 枚) 手差しによる給紙 給紙トレイによる自動給紙（収容枚数 100 枚）
排紙方式 *1	：フェイスダウンスタッカ（スタック枚数 150 枚) フェイスアップスタッカ (スタック枚数 50 枚)
使用環境条件	：温度　10℃～ 32℃ 湿度　20%～ 80%
標準使用条件	：3000 枚 ／ 日
電源・電源周波数	：AC100V ± 10 V 、50/60 Hz ± 1 Hz
消費電力	：動作時　550W 以下、節電時　15W 以下
騒音	：動作時　50dB(A) 以下、節電時 38dB(A) 以下
外形寸法	：幅 330mm、奥行き 395mm、高さ 200mm (標準装備)
重量	：約 9.5kg（標準装備)
OS	：Windows Me/98/95/3.1/2000/NT4.0 日本語版
インタフェース	：IEEE 1284 パラレルポート
パソコン	：IBM PC/AT 互換機
プリンタシーケンス *2	：Windows 専用プリンタドライバ、ESC/P
文字・書体	：明朝体／ゴシック体 アウトラインフォント
耐用期間	：５年（８時間／日）または 18 万枚印刷 (A4)
用紙	：普通紙 64g/m^2 ～ 87g/m^2 (55kg ～ 75kg) 、厚紙 官製はがき、ＯＨＰフィルム（レーザプリンタ用） ラベル紙（レーザプリンタ用）

*1：収容枚数は 64g/m^2 にて換算

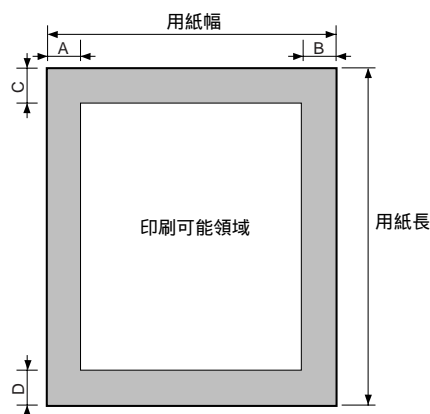
*2：データ処理解像度

Windows	600dpi×1200dpi 600dpi× 600dpi 300dpi× 300dpi
ESC/P	600dpi× 600dpi 300dpi× 300dpi

◆印刷可能領域と印刷方向

・この項で説明する印刷可能領域は、プリンタが印刷できる最大領域です。
・実際の印刷領域は、アプリケーションプログラムにより異なることがあります。アプリケーションにより余白設定が可能な場合は、下記に示す余白サイズ以上に設定し、ご使用ください。
・実際に印刷される位置は±２mm程度の誤差が生じることがあります。

●Ｗｉｎｄｏｗｓ

このプリンタドライバで使用できる用紙サイズおよび印刷範囲は次のとおりです。
余白部分に指定されたデータの印刷結果は保証されません。
アプリケーションにより余白設定が可能な場合は、下記に示す余白サイズ以上の設定でご使用ください。

単位：mm用紙

用紙	縦（ポートレイト）		横（ランドスケープ）		余白領域							
					印刷領域の拡張あり				印刷領域の拡張なし			
					左	右	上	下	左	右	上	下
	用紙長	用紙幅	用紙長	用紙幅	A	B	C	D	A	B	C	D
A4	297.0	210.0	210.0	297.0	5.08	5.08	5.08	5.08	6.5	7.0	6.5	7.0
A5	210.0	148.0	148.0	210.0	5.08	5.08	5.08	5.08	6.5	7.0	6.5	7.0
A6	148.0	105.0	105.0	148.0	5.08	5.08	5.08	5.08	6.5	7.0	6.5	7.0
B5	257.0	182.0	182.0	257.0	5.08	5.08	5.08	5.08	6.5	7.0	6.5	7.0
フリー　注）	297.0	210.0	210.0	297.0	5.08	5.08	5.08	5.08	6.5	7.0	6.5	7.0
レター	279.4	215.9	215.9	279.4	5.08	5.08	5.08	5.08	6.5	7.0	6.5	7.0
エグゼクティブ	266.7	184.2	184.2	266.7	5.08	5.08	5.08	5.08	6.5	7.0	6.5	7.0
はがき	148.0	100.0	100.0	148.0	5.08	5.08	5.08	5.08	6.5	7.0	6.5	7.0
往復はがき	200.0	148.0	148.0	200.0	5.08	5.08	5.08	5.08	6.5	7.0	6.5	7.0

注）この値は初期値です。トレイ1、手差し、MPFでは長辺148～297mm、短辺90～215.9mmの間で、トレイ2では長辺210～297mm、短辺148～215.9mmの間で設定可能です。

●ガイド●

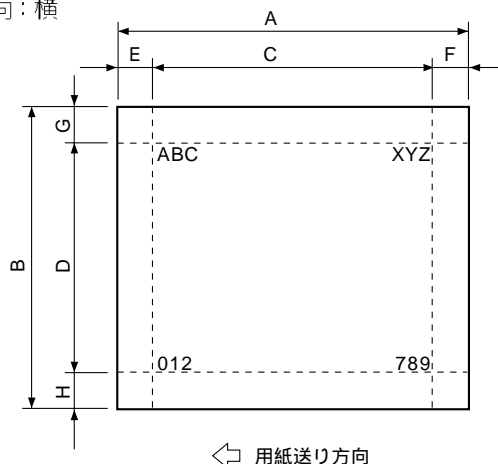
以下の場合、印刷可能領域（余白領域）が異なることがありますので、必要に応じてアプリケーションで余白の大きさを設定し直してください。
・マルチページのとき。
・拡大・縮小設定のとき。
・用紙サイズで「A3→A4」、「B4→A4」を選択したとき。

● ESC/P モード

単位：mm

用紙	用紙寸法		印刷可能領域		余白領域			
					左	右	上	下
	A	B	C	D	E	F	G	H
A４	210.0	297.0	199.84	283.42	5.08	5.08	8.50	5.08
A５	148.0	210.0	137.84	196.42	5.08	5.08	8.50	5.08
A６	105.0	148.0	94.84	134.42	5.08	5.08	8.50	5.08
B５	182.0	257.0	171.84	243.42	5.08	5.08	8.50	5.08
フリー（*）	210.0	297.0	199.84	283.42	5.08	5.08	8.50	5.08
LETTER	215.9	279.4	205.74	265.82	5.08	5.08	8.50	5.08
EXECUTIVE	184.2	266.7	173.99	253.12	5.08	5.08	8.50	5.08
ハガキ	100.0	148.0	89.84	134.42	5.08	5.08	8.50	5.08
往復ハガキ	148.0	200.0	137.84	186.42	5.08	5.08	8.50	5.08

●ガイド●

- 「頭出し位置」の設定によりトップ(G)と印刷可能領域(D)が変化します。
- 「X補正」、「Y補正」により、印刷可能領域が変化します。
- フリー（*）はトレイ1、手差し、MPFでは90×148 (mm)～216×297 (mm)で、トレイ2では148×210(mm)～216×297 (mm)の間で任意のサイズが指定できますが、用紙端から5.08mmまでの領域には印刷しないでください。この領域に印刷すると印刷品位が劣化することがあります。

印刷方向：横（ランドスケープ）
頭出し位置＝8.5mm

単位：mm

用紙	用紙寸法		印刷可能領域		余白領域			
					左	右	上	下
	A	B	C	D	E	F	G	H
A４	297.0	210.0	286.84	196.42	5.08	5.08	8.50	5.08
A５	210.0	148.0	199.84	134.42	5.08	5.08	8.50	5.08
A６	148.0	105.0	137.84	91.42	5.08	5.08	8.50	5.08
B５	257.0	182.0	246.84	168.42	5.08	5.08	8.50	5.08
フリー（*）	297.0	210.0	286.84	196.42	5.08	5.08	8.50	5.08
LETTER	279.4	215.9	269.24	202.32	5.08	5.08	8.50	5.08
EXECUTIVE	266.7	184.2	256.54	170.57	5.08	5.08	8.50	5.08
ハガキ	148.0	100.0	137.84	86.42	5.08	5.08	8.50	5.08
往復ハガキ	200.0	148.0	189.84	134.42	5.08	5.08	8.50	5.08

●ガイド●

- 「頭出し位置」の設定によりトップ(G)と印刷可能領域(D)が変化します。
- 「X 補正」、「Y 補正」により、印刷可能領域が変化します。
- フリー（*）はトレイ 1、手差し、MPF では 90 × 148 (mm)～ 216 × 297 (mm) で、トレイ 2 では 148 × 210(mm)～ 216 × 297 (mm)の間で任意のサイズが指定できますが、用紙端から 5.08mm までの領域には印刷しないでください。この領域に印刷すると印刷品位が劣化することがあります。

◆インタフェース仕様

パソコンとのインタフェースは、IEEE 1284の仕様に準拠した双方向パラレルインタフェースを採用しています。

●インタフェースコネクタ

プリンタ側：36極コネクタ（メス）アンフェノール　57-40360相当品
ケーブル側：36極コネクタ（オス）アンフェノール　57-30360相当品

●ケーブル

最長1.5 m以下のケーブルを使用してください。
（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。）

●信号レベル

LOW　：0.0V ～＋ 0.4V
HIGH　：＋ 2.4V ～＋ 5.0V

●データ転送方式

８ビットパラレル

●コネクタピン配列

ピン番号	信号名称	発信元
1	*Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	*Ack	プリンタ
11	Busy	プリンタ
12	PError	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	*AutoFd	パソコン
15	−	−
16	SG	−
17	FG	−
18	+5VSignal	プリンタ

ピン番号	信号名称	発信元
19	-RET	−
20	-RET	−
21	-RET	−
22	-RET	−
23	-RET	−
24	-RET	−
25	-RET	−
26	-RET	−
27	-RET	−
28	-RET	−
29	-RET	−
30	-RET	−
31	*Init	パソコン
32	*Fault	プリンタ
33	-RET	−
34	−	−
35	HILEVEL	プリンタ
36	*SelectIn	パソコン

注）“ ＊ ”は、負論理信号であることを示します。

ESC/P コマンド一覧

このプリンタでサポートしているＥＳＣ／Ｐモードのコマンドを以下に示します。

●書式設定・実行

機　　能	コマンド
行単位ページ長設定	ESC C
インチ単位ページ長設定	ESC C 0
右マージン設定	ESC Q
左マージン設定	ESC L
1/8インチ改行量設定	ESC 0
1/6インチ改行量設定	ESC 2
n/180インチ改行量設定	ESC 3
n/60インチ改行量設定	ESC A
垂直タブ位置設定	ESC B
水平タブ位置設定	ESC D
印字復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
n/180インチ順方向紙送り	ESC J
n/180インチ逆方向紙送り	ESC j
水平タブ実行	HT
垂直タブ位実行	VT
絶対位置指定	ESC $
相対位置指定	ESC ¥

●ＡＮＫテキスト処理

機　　能	コマンド
12CPI指定	ESC M
10CPI指定	ESC P
15CPI指定	ESC g
国際文字選択	ESC R
スーパー／サブスクリプト指定	ESC S
スーパー／サブスクリプト解除	ESC T
文字品位選択	ESC x
書体選択	ESC k
プロポーション指定／解除	ESC p
文字コード表選択	ESC t
ダウンロード文字セット指定／解除	ESC %
ダウンロード文字定義	ESC &
文字セットコピー	ESC :
文字間スペース量指定	ESC SP
縦倍拡大指定／解除	ESC w
縮小指定	SI
縮小解除	DC2
アンダーライン指定／解除	ESC -

●ＡＮＫ・漢字テキスト処理

機　　能	コマンド
自動解除付き倍幅拡大指定	SO
	ESC SO
	FS SO
自動解除付き倍幅拡大解除	DC4
	FS DC4
倍幅拡大指定／解除	ESC W
強調指定	ESC E
強調解除	ESC F
二重印字指定	ESC G
二重印字解除	ESC H
文字スタイル選択	ESC q
イタリック指定	ESC 4
イタリック解除	ESC 5
一括指定	ESC!

●漢字テキスト処理

機　　能	コマンド
縦書き指定	FS J
横書き指定	FS K
半角縦書き２文字指定	FS D
４倍角指定／解除	FS W
漢字アンダーライン指定／解除	FS -
漢字一括指定	FS !
漢字モード指定	FS &
漢字モード解除	FS .
半角文字指定	FS SI
半角文字解除	FS DC2
1/4角文字指定	FS r
漢字書体選択	FS k
外字定義	FS 2
全角文字スペース量設定	FS S
半角文字スペース量設定	FS T

●補助機能

機　　能	コマンド
初期化	ESC @
カットシートフィーダ制御	ESC EM
デバイスコントロール１	DC 1
デバイスコントロール３	DC 3
上位側コントロール解除	ESC 6
上位側コントロール指定	ESC 7
位置揃え指定	ESC a
VFUタブ位置指定	ESC b
VFUチャンネル選択	ESC /
半角文字スペース量補正	FS U
半角文字スペース量補正解除	FS V
データ抹消	CAN
一文字削除	DEL
後退	BS
MSB＝0指定	ECC =
MSB＝1指定	ESC >
MSBコントロール解除	ESC #

●ビットイメージ処理

機　　能	コマンド
ビットイメージ選択	ESC *
ビットイメージ変換	ESC ?
8ドット単密度ビットイメージ	ESC K
8ドット倍密度ビットイメージ	ESC L
8ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC Y
8ドット４倍密度ビットイメージ	ESC Z

ＥＳＣ／Ｐキャラクタコード一覧表

ＥＳＣ／Ｐモードのキャラクタコードは以下のとおりです。

●カタカナコード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p		·		ー	タ	ミ	ー	×
1			!	1	A	Q	a	q	▁	▔	。	ア	チ	ム	└	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▂	·	「	イ	ツ	メ	┼	年
3			#	3	C	S	c	s	▃	-	」	ウ	テ	モ	┐	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▄		、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▅		・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▆		ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	▇		ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	-	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	-	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍		ェ	コ	ハ	レ	◆	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	-	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l			▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	∷
F	SI		/	?	O		o		·	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

注）＜２３＞16、＜２４＞16、＜４０＞16、＜５Ｂ＞16～＜５Ｅ＞16、＜６０＞16、＜７Ｂ＞16～＜７Ｅ＞16のコードは、国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à		ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
デンマークⅠ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@		＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマークⅡ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

●拡張グラフィックコード

上位／下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á		╵	‖	α	
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í		┴	┬	ß	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	⁚	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú		│	└	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	─	─	╵	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	│	┌	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	┤	├	┌	μ	÷
7			'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	┐	├	┼	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	┤	╵	┼	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö		╣	╔	┘	θ	∙
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	'	│	┴	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	┬	┬	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	î	£	¼	╛	╞	▄	∞	ⁿ
D	CR			=	M	]	m	}	ì	¥	¡	┘	─	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╵	┼	▐	≡	■
F	SI		/	?	O	_	o		Å	ƒ		─	┴	▀	∩	SP

注）＜２３＞16、＜２４＞16、＜４０＞16、＜５Ｂ＞16～＜５Ｅ＞16、＜６０＞16、＜７Ｂ＞16～＜７Ｅ＞16のコードは、国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

コード16進／国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
フランス	#	$	à		ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
デンマークⅠ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@		\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@		¥	]	^	`	{		}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマークⅡ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

ＪＩＳ-90 第一水準漢字一覧表

区$	区	20 (0)	21 (1)	22 (2)	23 (3)	24 (4)	25 (5)	26 (6)	27 (7)	28 (8)	29 (9)	2A (10)	2B (11)	2C (12)	2D (13)	2E (14)	2F (15)	30 (16)	31 (17)	32 (18)	33 (19)	34 (20)	35 (21)	36 (22)	37 (23)	38 (24)	39 (25)	3A (26)	3B (27)	3C (28)	3D (29)	3E (30)	3F (31)
20	0																																
21	1		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																																
2F	15																																
30	16		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	17		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	18		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	19		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	20		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	21		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	22		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	23		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	24		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	25		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	26		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	27		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	28		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	29		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	30		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	31		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	32		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	33		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	34		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	35		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	36		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	37		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	38		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	39		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	40		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	41		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	42		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	43		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	44		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	45		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	46		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	47		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

区$ (区) \ 点$ (点)	40/32	41/33	42/34	43/35	44/36	45/37	46/38	47/39	48/40	49/41	4A/42	4B/43	4C/44	4D/45	4E/46	4F/47	50/48	51/49	52/50	53/51	54/52	55/53	56/54	57/55	58/56	59/57	5A/58	5B/59	5C/60	5D/61	5E/62	5F/63
20 (0)																																
21 (1)	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22 (2)	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23 (3)		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
24 (4)	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25 (5)	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26 (6)		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27 (7)	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28 (8)	╂																															
29 (9)																																
2A (10)																																
2B (11)																																
2C (12)																																
2D (13)	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻
2E (14)																																
2F (15)																																
30 (16)	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31 (17)	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32 (18)	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33 (19)	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34 (20)	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35 (21)	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36 (22)	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37 (23)	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38 (24)	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39 (25)	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A (26)	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B (27)	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C (28)	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D (29)	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E (30)	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F (31)	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40 (32)	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41 (33)	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42 (34)	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43 (35)	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44 (36)	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45 (37)	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46 (38)	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47 (39)	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48 (40)	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49 (41)	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A (42)	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B (43)	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C (44)	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D (45)	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E (46)	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F (47)	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

区 $	区	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
点		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8																															
29	9																															
2A	10																															
2B	11																															
2C	12																															
2D	13	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E	14																															
2F	15																															
30	16	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	17	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	18	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	19	樫	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	20	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	21	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	22	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	23	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	24	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	25	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	26	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	27	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	28	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	29	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	30	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	31	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	32	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	33	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	34	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	35	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	36	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	37	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	38	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	39	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	40	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	41	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	42	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	43	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	44	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	45	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	46	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F	47																															

JIS-90 第二水準漢字一覧表

区 $	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
点 $		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
50	48		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	49		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
52	50		辨	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	51		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54	52		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55	53		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56	54		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57	55		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58	56		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59	57		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	58		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B	59		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C	60		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D	61		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E	62		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F	63		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60	64		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61	65		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62	66		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63	67		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64	68		筐	筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴
65	69		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66	70		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67	71		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68	72		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69	73		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A	74		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B	75		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C	76		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D	77		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E	78		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F	79		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70	80		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	81		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	82		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	84		堯	槇	遙	瑤																											
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区＼点	40 (32)	41 (33)	42 (34)	43 (35)	44 (36)	45 (37)	46 (38)	47 (39)	48 (40)	49 (41)	4A (42)	4B (43)	4C (44)	4D (45)	4E (46)	4F (47)	50 (48)	51 (49)	52 (50)	53 (51)	54 (52)	55 (53)	56 (54)	57 (55)	58 (56)	59 (57)	5A (58)	5B (59)	5C (60)	5D (61)	5E (62)	5F (63)
50 (48)	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51 (49)	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52 (50)	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53 (51)	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54 (52)	埒	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55 (53)	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56 (54)	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57 (55)	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58 (56)	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59 (57)	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A (58)	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B (59)	杰	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C (60)	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D (61)	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E (62)	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F (63)	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60 (64)	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61 (65)	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62 (66)	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63 (67)	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64 (68)	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65 (69)	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66 (70)	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67 (71)	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68 (72)	萓	董	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69 (73)	蘋	藾	蘭	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A (74)	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B (75)	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C (76)	貎	貅	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D (77)	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E (78)	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F (79)	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70 (80)	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71 (81)	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72 (82)	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73 (83)	鷃	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74 (84)																																
75 (85)																																
76 (86)																																
77 (87)																																
78 (88)																																
79 (89)																																
7A (90)																																
7B (91)																																
7C (92)																																
7D (93)																																
7E (94)																																

区$ \ 点$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
区 \ 点	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
50 48	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51 49	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52 50	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53 51	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54 52	壥	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55 53	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56 54	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57 55	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58 56	憓	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59 57	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A 58	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B 59	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C 60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D 61	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E 62	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F 63	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60 64	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61 65	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62 66	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63 67	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64 68	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65 69	縲	縺	繆	繃	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66 70	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67 71	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68 72	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69 73	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A 74	袱	袿	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B 75	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C 76	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D 77	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E 78	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F 79	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70 80	鞋	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71 81	驃	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72 82	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73 83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74 84																															
75 85																															
76 86																															
77 87																															
78 88																															
79 89																															
7A 90																															
7B 91																															
7C 92																															
7D 93																															
7E 94																															

アプリケーションソフトについて

アプリケーションソフトにおけるプリンタの選択基準について説明します。

●Ｗｉｎｄｏｗｓ対応ソフト
添付のプリンタドライバをインストールしてください。

●ＥＳＣ／Ｐ対応ソフト
以下の順で選択してください。

優先順位	プリンタ名
１	ＥＳＣ／Ｐ２４－Ｊ８４
２	ＶＰ－１０００／３０００

保守・サービス

◆プリンタドライバのダウンロードサービス

最新版のプリンタドライバをインターネット上でご提供するサービスです。
下記の手順に従ってプリンタドライバをご入手ください。（2001年4月現在）

ウェブブラウザを起動します。	▶ 下記アドレスにアクセスします。 http://www.fmworld.net/index.html/	▶ ご希望のプリンタドライバをダウンロードします。

◆アフターサービスについて

- お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保存してください。
- 保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より6か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- 保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後6年です。ご了承ください。
- 分解、改造などをしないでください。無償保証期間内でも、無償修理を受けられないことがあります。
- プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作、および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 故障の際は、「ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。

『ハードウェア修理相談センター』
フリーダイヤル：0120-422-297
受付時間：平日9：00～17：00
（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

◆持ち込み修理時のお願い

持ち込み修理にあたっては、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」にご連絡ください。

『富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口』
フリーダイヤル：0120-950-222

持ち込みに際しましては、下記の通りにプリンタを梱包していただきますようお願いいたします。

- プリンタ　：必ずプリンタ本体からプロセスカートリッジ（トナーカートリッジ付き）を取り外して、プリンタ本体のみをお持ちいただきますようお願いいたします。

●取り外したプロセスカートリッジ
：取り外したプロセスカートリッジは、添付されているポリエチレン袋（黒）に入れて、直射日光を避けて保管してください。

●他の添付品　：装置より外した上、保管してください。

お願い

● プロセスカートリッジを取り外さずにお持ち込みになりますと、装置内にトナーが飛散することがあります。

● 修理品の持ち込み時にお客様のお取り扱い不備によりトナーが飛散した場合は、修理に長時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

サプライ用品担当窓口一覧

サプライ用品に関するお問い合わせ先：
　富士通コワーコ（株） 営業推進本部 商品企画部 03-3342-5375
　（〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビルディング 20 階）

『富士通コワーコ（株）担当窓口』 2001 年 3 月 12 日現在

支店	電話番号	住　所
北海道支店	011-221-3966	〒 060-0001 札幌市中央区北一条西 2-1（札幌時計台ビル）
盛岡支店	019-626-4773	〒 020-0033 盛岡市盛岡駅前北通り 1-10（東京生命盛岡ビル）
東北支店	022-267-6871	〒 980-0611 仙台市青葉区一番町 2-3-22（仙台ビルディング）
山形出張所	023-641-9766	〒 990-0043 山形市本町 1-4-21（荘銀山形ビル）
福島支店	024-921-1819	〒 963-8001 郡山市大町 1-14-1（協栄生命ビル）
宇都宮支店	028-638-8701	〒 321-0953 宇都宮市東宿郷 4-2-24（センターズビル）
北関東支店	048-643-4080	〒 331-0851 大宮市錦町 682-2（大宮情報文化センター）
群馬支店	027-328-1621	〒 370-0841 高崎市栄町 14-5（内堀ビル）
千葉支店	043-245-0088	〒 260-0025 千葉市中央区問屋町 1-35(千葉ポートサイドタワービル)
神奈川支店	045-225-5630	〒 220-8130 横浜市西区みなとみらい 2-2-1-1 （横浜ランドマークタワー 30 階）
川崎支店	044-244-4450	〒 210-0005 川崎市川崎区東田町 8（パレール三井ビルディング）
新潟支店	025-225-7730	〒 951-8055 新潟市礎町通二の町 2077 （朝日生命新潟万代橋ビル）
静岡支店	054-203-0040	〒 422-8067 静岡市南町 18-1（サウスポット静岡）
浜松出張所	053-458-5124	〒 430-0944 静岡県浜松市田町 330 番地 5 号(遠鉄田町ビル 5 階)

支店	電話番号	住　所
名古屋支店	052-204-1245	〒 460-0003 名古屋市中区錦一丁目 6 番 18 号（J・伊藤ビル 6 階）
三河支店	052-204-1245	〒 460-0003 名古屋市中区錦一丁目 6 番 18 号（J・伊藤ビル 6 階）
長野支店	026-224-1380	〒 380-0936 長野市岡田町 215-1（日本生命長野ビル）
富山支店	076-433-2527	〒 930-0005 富山市新桜町 2-21（富士通ビル）
北陸支店	076-232-2471	〒 920-0918 金沢市尾山町 1-8（朝日生命金沢ビル）
京都支店	075-222-1184	〒 604-8171 京都市中京区烏丸通御池下ル虎屋町 566-1 （井門明治生命ビル）
大阪支店	06-6881-6800	〒 530-6007 大阪市北区天満橋 1-8-30（OAP タワー）
神戸支店	078-392-2561	〒 650-0033 神戸市中央区江戸町 95（井門神戸ビル）
岡山支店	086-233-7441	〒 700-0826 岡山市磨屋町 10-12（交通オアシスビル）
広島支店	082-567-6790	〒 732-0814 広島市南区段原南 1-3-53（広島イーストビル）
松江出張所	0852-25-0313	〒 690-0826 松江市学園南 2-10-14（タイムプラザビル）
四国支店	087-851-1822	〒 760-0023 高松市寿町 2-1-1（高松第一生命ビル新館）
松山出張所	089-946-4033	〒 790-0022 松山市永代町 13（松山第 2 電気ビル）
九州支店	092-451-2433	〒 812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-20-1（大博多ビル）
南九州支店	099-225-6290	〒 892-0844 鹿児島市山之口町 2-30（鹿児島第一・海上ビル）

お問い合わせチェックシート

お問い合わせの内容によっては以下の情報が必要になります。お問い合わせになる前に、該当する項目にご記入ください。

●プリンタの環境

■ 機種名　　　　　　　　　　■ 製造番号

■ 購入月：　　　年　　　月　　　蜓ｖリンタの背面と保証書に記載してあります

プリンタケーブル名：　　　　　　　メーカ名：

●ホストコンピュータの環境

■ パソコンメーカ／機種名：

メモリ容量：　　　　MB　ハードディスク容量：　　　　MB

拡張オプション（ボード）：なし　・　利用　（メーカ名：　　　　）

（メーカ名：　　　　）

（メーカ名：　　　　）

●オペレーションシステム

■ Windows バージョン：

■ その他のOS：　　　　　　メーカ名：

●プリンタドライバ

■ プリンタドライバ名：　　　　　バージョン：

●アプリケーションソフト

■ アプリケーションソフト名：　　　　バージョン：

■ 使用フォント名：

索　引

【か　行】

【さ　行】

【た　行】

【な　行】

【は　行】

【ま　行】

【や　行】

【ら　行】